

収録語リスト

※参照文献は巻末にまとめて記載している。

(1)absent	(31)confidence	(61)invalid
(2)accommodate	(32)contribute	(62)letter
(3)accord	(33)convention	(63)level
(4)administration	(34)credit	(64)life
(5)adapt & adopt	(35)cross	(65)lift
(6)alien	(36)curious	(66)likely
(7)approach	(37)custom	(67)long
(8)agent	(38)date	(68)lose
(9)argue	(39)decline	(69)maintain
(10)assimilate	(40)deliberate	(70)manage
(11)associate	(41)derive	(71)manner
(12)attach	(42)discharge	(72)mark
(13)attain	(43)draft	(73)mass
(14)authority	(44)element	(74)material
(15)back	(45)ever	(75)matter
(16)bare	(46)exclude	(76)mean
(17)bargain	(47)face	(77)merge & emerge
(18)bind	(48)fashion	(78)mind
(19)board	(49)fine	(79)nurse
(20)book	(50)force	(80)offense
(21)branch	(51)fortune	(81)once
(22)business	(52)gather	(82)otherwise
(23)but	(53)given	(83)part
(24)care	(54)handle	(84)past
(25)case	(55)hang	(85)physical
(26)challenge	(56)hot	(86)picture
(27)check	(57)identify	(87)plain
(28)claim	(58)idle	(88)plant
(29)coin	(59)implement	(89)positive
(30)conduct	(60)institution	(90)prevail

(91)prompt	(124)while
(92)provide	(125)will
(93)rate	(126)wonder
(94)reconcile	(127)wrong
(95)relieve	
(96)resolve	
(97)resource	
(98)respect	
(99)room	
(100)rule	
(101)save	
(102)secure	
(103)significant	
(104)spoil	
(105)state	
(106)store	
(107)strain	
(108)strange	
(109)submit	
(110)sum	
(111)suppose	
(112)suspend	
(113)time	
(114)tongue	
(115)trial	
(116)trick	
(117)upset	
(118)urge	
(119)utter	
(120)view	
(121)volume	
(122)way	
(123)well	

(1)absent

absent の『核』のイメージは「目の前に(存在して)いない」です。

④ 「ab(～から離れて)+sent(存在している)」が語源。ab が「～から離れて」という意味になるのは abnormal が「正常な状態(normal)から離れて → 異常な」となることからわかるはず。

absent で一番おなじみなのは、(形容詞の absent の)「欠席(勤)して」「不在の」「(その場に)居合わせていない」という意味ですが、これらは『核』のイメージから簡単に類推できますね。ちなみにこの absent の反意語が present(出席している、居合わせている)です。

(ex) the absent people その場にはいない人々、欠席している人々

He was absent from school that day. その日彼は学校を欠席した

④ absentは、「いて当然の時にいない」「本来ならいるべき場所にいない」という意味なので、約束せず突然に訪問して相手がいないときには absent は用いず、以下のように言う。

(ex) He is cut[not in/ not at home].

これ以外の形容詞の absent の意味もまとめてみましょう。

①[A is absent from B] 「A(精神・感情・物・事等)がB(心・生活等)に欠けている」

(ex) Excitement is absent from my life. 私の生活には刺激がない

Mercy is entirely absent from her character.

彼女の性格には慈悲の心が全く欠けている

② 「(物が～に)ない」

(ex) The tail is absent in this type of monkey.

この種のサルにはしっぽがありません

Snow is absent in Okinawa. 沖縄では雪は降りません

③ [前から名詞を修飾して] 「(表情・様子等が)放心状態の、ぼんやりした」

(ex) She looked at me in an absent way. 彼女はぼんやりと私見つめた

④ 「心がいなくなってしまう → 放心状態の、ぼんやりした」。

absent-minded で言い換えられる。

absent は形容詞以外に他動詞としても用いられます。その場合、以下のような意味・語法で使われます。

[A absent oneself from B] 「A(人)がB(学校・会合等)を欠席する、欠勤する、
～を留守にする」

(ex) She absented herself from class(es) today. 彼女は今日授業を休んだ

更に absent の名詞形は absence で「不在・欠如・放心」という意味になります。
要するに「目の前に(存在して)いないこと」です。

(ex) I came home after an absence of three years. 私は3年ぶりに家に帰った
An absence of rain caused the forest fire.

雨不足でその山火事が起きた

absence of mind 放心(状態)、うわの空 ⇔ presence of mind

You mustn't speak badly of others in their absence.

かげで他人の悪口を言ってはならない

(2)accommodate

accommodate の『核』のイメージは「(両者が)一緒になる・合うようにする」です。

☞ 「ac(～に)+ccm(一緒に)+modate(測る)」が語源。

accommodate には「(ホテル等が客を)宿泊させられる」「(病院が患者を)収容できる」「(乗り物が人を)乗せられる」という意味がありますが、これは「客・患者・人の人数に収容能力を合わせる(合うようにする)」ということです。

(ex) This hotel can accommodate over 4,000 guests.

このホテルは4000人以上の客を収容できる

This minivan accommodates six people. このミニバンには6人が乗れる

また accommodate には

「(～の)便宜を図る、(必要に)応じる」

「(人の)面倒を見る、(人に)親切にする」

「(～に合うように)調節する、適応させる」

という意味がありますが、これらは「人・要求・願い・計画等に合わせる(合うようにする)」ということです。

(ex) They accommodated the customer. 彼らはその客の便宜を図った

The bank accommodated our company with a loan.

銀行は我が社に融資をしてくれた

We had to accommodate our plan to these new circumstances.

我々の計画をこの新しい事態に適応させねばならなかった

I soon accommodated myself to the new class.

私は新しいクラスにすぐ慣れた

◎「自分自身を新しいクラスに合わせた」ということ。

ちなみに名詞形の accommodation は「宿泊設備」「宿泊」「(ホテル・乗り物等の)収容能力」「(列車・旅客機等の)座席」を指すことが多いですね。

◎アメリカでは accommodations となることが多い。

(ex) I booked[reserved] accommodation at the hotel.

そのホテル(の宿泊)を予約しました

The hotel has accommodation(s) for two hundred.

そのホテルは200人の客を収容できる設備がある

(3)accord

accord の『核』のイメージは「(～の方向に向かって進み)～と一つになる」です。そこからまず「協定、合意」「一致、調和」という名詞の意味が生まれます。つまり一つになった結果として「合意、協定」が生まれ「一致、調和」が生じるわけです。

(ex) The picture got into accord with the atmosphere of the place.

その絵は、その場所の雰囲気になじんだ(調和した)

They reached accord with each other. 彼らは互いに合意に達した

She cleaned the room of[on] her own accord.

彼女は自発的に部屋の掃除をした

◎of[on] one's own accord で「自発的に」。

自動詞として「一つになる → 一致する」という意味にもなります。

(ex) That didn't accord with my principle. それは私の主義に合わなかった
The two reports don't accord. 2つの報告は食い違っている

また accord は他動詞として「O₁にO₂を与える」という意味がありますが、これは「～と一つになる → その結果相手の気持ちをくみ取り、相手の欲する物を与える」となったのです。

(ex) The teacher accorded the children permission to use the library.
その教師は子供たちに図書館の利用許可を与えた

ついでに accord の親戚の accordance と according を用いた以下の決まり文句も覚えましょう。

① in accordance with A 「Aに従って、応じて」

(ex) The ship carpenter built the ship in accordance with the plans.
その船大工は設計図に従って船を作った

② according to A

(1) 「Aによれば」

(ex) According to the paper, there was an earthquake in Mexico.
新聞によればメキシコで地震があったようだ

(2) 「Aに従って、応じて」

(ex) You have only to work according to your ability.

自分の能力に応じて働きさえすればいい

The meeting went off according to plan.

会議は計画通りに運んだ

They arranged the books according to size.

彼らは大きさの順に本を並べた

それから **accordingly** という副詞も覚えておくといいですね。「従って、それ故」「それに応じて」という意味です。

(ex) She was asked to stay there, and accordingly she didn't left.
彼女はそこにとどまるように頼まれた。それ故出かけなかった

These are the rules; act accordingly.

これが規則なのだから、それに従って行動しなさい

(4)administration

administraticn は語源から意味をおさえるといいでしょう。つまり ad(～に向かって)+minister(大臣)+ticion[名詞語尾] で、「国家に対して大臣としての職務を全うすること → 国家を運営(経営)・管理・監督すること → 運営(経営)・管理・監督」となったわけです。

(ex) business administration 企業経営

The company developed under his wise administration.

その会社は彼の賢明な運営によって発展した

Ⓢadministraticn は国家に限らず、監督する者による組織の運営も表す。

更に「国家を運営(経営)・管理・監督している者・状態 → 行政・政府・統治・支配・法の執行」という意味が生まれました。

Ⓢ「経営陣(者)」「理事会」という意味になることもある。

(ex) military administration 軍政

the city administration 市当局

the Obama Administration オバマ政権

The king gave good administration. 国王は善政を施した

(5)adapt & adopt

この両者は非常に区別が付きにくいですね。これらも語源からおさえると意味の整理は簡単です。

まず adapt ですが、これは ad(～の方に)+apt(合う・合わせる)で「～に合うようにする → ～に合わせる、適合させる」となったのです。

Ⓢカタカナ英語の知識を利用するのもいい。電化製品を購入すると、ACアダプターが付属品としてついてるものがあるが、ACアダプターとは、その電化製品が

使えるように(その家電製品用に)電圧を変える(合わせる)器具のこと。そこから adapt を「～に合わせる(適応させる)」と覚えてみる。

(ex) We should adapt the plan to suit new circumstances.

新しい状況に合うように計画を変えるべきだ

④ adapt A to[for] B で「AをBに合わせる(適応させる)・適用する」。

They adapted the bathroom for the use of children.

子供達が使いやすいように彼らは浴室を模様替えした

④ adapt A (to B) で「Aを(Bに)順応させる・改造する」。

自動詞の場合は **adapt to A** で「Aに適応する、順応する」となります。

④これは、元々 adapt oneself to A(自分自身をAに合わせる)だったものが oneself が省略されたと見ればいい。

(ex) Young people are quick to adapt to new environment.

若者は新しい環境に順応するのが速い

adopt は、ad(～の方を)+opt(選択する)で「～の方を選択する → ～を採用する、取り入れる」という意味になったのです

④よく日本語でも「選択(肢・権)」のことを「オプション(option)」というが、opt の名詞形が option。これを引っ掛かりにして opt が「選ぶ」という意味だと覚えるといい。

(ex) They adopted a new method. 彼らは新しい方法を採用した

また「自分の子供として採用する → 養子にする、養子として引き取る」という意味にもなります。

(ex) They adopted the child as their heir. 彼らはその子を跡取りにした

(6)agent

agent の『核』のイメージは「実際に(業務・行為を)行うもの」です。

agent を辞書で調べると、「代理人」「代理権者」「代行者【業】」「代弁者」「斡旋人(あっせんいん)」「仲介人」「取次人」「(特に)不動産仲介人」「(公共機関の)

職員」など、いきなりものすごい数の意味が現れますが、これらは全て「(両者の間に立って)実際にその業務・行為を行う者」ですね。

- (ex) a general agent 総代理人
- a house agent 家屋仲介業者
- an insurance agent 保険代理店
- a travel agent 旅行代理業者
- a diplomatic agent 外交官
- a commercial agent 貿易事務官

また agent は「媒介[仲介]物」「(物理的・化学的な変化を引き起こす)動因」「作因」「因子」「行為者」といった意味もありますが、これらも「実際にその作用・変化(結果)などを起こす(つまり「行う」)もの」ですね。

- (ex) Her son was the agent of her grief. 彼女の悲嘆の原因は彼だった
- natural agents 自然力
- chemical agents 化学薬品
- a bonding agent 接合剤、つなぎとなるもの
- Good laws are said to be an agent of social progress.
良い法律は社会的進歩をもたらすものだと言われている
- Some insects are agents of fertilization.
植物の受精媒介をする昆虫もいる
- Who was the agent of this deed? この行為は誰がやったのか

agent は他に「法の執行官(警官・看守・刑事など)」「(政府などの)特務機関員、情報要員」「スパイ」といった(カタカナ英語でもおなじみの)意味がありますが、ここまで読んでくれれば、なぜこのような意味があるのかおわかりになったでしょう。

- (ex) an FBI agent 連邦検察局員
- the secret agents of a foreign power 外国政府の秘密情報員

(7)alien

alien の『核』のイメージは「(~とは全く)違う・異質の」です。

そこから以下のような意味が生まれました。

① 「外国(人)の」「外国人の法的身分をもつ」

會「自国(民)とは違う → 外国(人)の」。

foreign より堅い語。主に法律上の語と言える。

(ex) an alien resident 居留外国人

He always carries his alien registration card.

彼は常に外国人登録証を携帯している

② 「(～にとって)なじみがない」 =strange

「(～とは)異質な、相容れない」

會「考え・行動等が～とは違う → なじみがない、異質な、相容れない」。

(ex) customs alien to us 私たちになじみのない習慣

His methods was totally alien to curs.

彼のやり方は我々のやり方とは性質が全く違っていた

Dishonesty is alien to his nature. 不正行為は彼の性に合わない

③ 「地球上のものでない、地球外の」

名詞として「外国人、居留外人」「異星人、エイリアン」という意味になることもあります。

(8)approach

approach の『核』のイメージは「～に近づく」です。

実際 approach には「(場所に)近づく」という意味がありますね。

(ex) The bus approached the town. バスは町に近づいた

How can the village be approached? その村にはどう行ったらいいですか

「(外観・性質・状態等が)～に近づく、迫る」という意味でも使われます。

(ex) Can any artist approach Michelangelo in greatness?

その偉大さにおいてミケランジェロに迫るほどの芸術家はいるだろうか

また「(ある目的を持って)人に近づく → 人に話をもちかける、人と交渉を始める」

という意味にもなります。

(ex) The man approached his friend about lending him some money.
その男は金を借りようと友人に話をもちかけた

更に「(解決しようと)問題に近づく → 問題等に取りかかる、取り組む、研究を始める」という意味にもなります。

愈々ここから名詞の「取り組み方」「(研究)方法」等の意味も生まれた。

(ex) The scientist approached the problem with great care.
その科学者は大変慎重にその問題に取りかかった

自動詞として使われることもあります。

(ex) Spring is approaching. 春が近づいている

approach は名詞としても用いられ、以下のような意味になります。

① 「近づくこと、接近」「(~への)近似」

(ex) It got warmer and warmer with the approach of spring.
春が近づくにつれてどんどん暖かくなっていった

② 「近づく道」「入口」「通路」

(ex) All the approaches to the city were blocked up.
市へ入るすべての道はすべて封鎖されていた

③ 「接近方法」

「(問題等の)取り組み方、接し方」

「(~の理解の)手引き」「(研究)方法」

(ex) She made the wrong approach and angered the local people.
彼女は話の切り出し方を間違えたので地元住民の怒りを買った
We have tried various approaches to the matter.
我々はその問題に対して様々なアプローチ(取り組み)を試みてきた

「約」という意味の approximately という語がありますが、これは approach と同語源の語です(出だしのスペルが同じところからもわかると思います)。この語は「~に近付いている、近いところにある」というのが語源です。

(ex) There were approximately four hundred students present.

約400人ぐらいの学生が出席していた

(9) argue

argue の『核』のイメージは「白黒はっきりさせようとする」です。

そこから「～だと主張する」「議論する」「口論する」「～をはっきりと示す」という意味が生まれました。

① 「白黒はっきりさせようとする → ～だと主張する(言い張る)」

(ex) The politician argued that more foreign students should be admitted to Japan.

その政治家は、日本により多くの留学生が受け入れられるべきだと言い張った

The parents argued their son into[out of] studying abroad.

両親は彼に留学する[しない]よう説得した

☞ argue A(人) into[out of] doing～ で「Aに～する[しない]よう説得する」。

② 「(互いに)白黒はっきりさせようとする → (～について)議論する」

(ex) They argued (about[over]) the problem for hours.

彼らは何時間もその問題を論じた

③ 「(互いに)白黒はっきりさせようとする → 口論する、言い争う」

(ex) Don't argue with me, just do what you are told.

口答えしないで言われたことをやりなさい

④ 「～を白黒はっきりさせる → ～をはっきりと示す」

(ex) His manners argue a good upbringing.

彼の行儀作法を見れば育ちのよさがわかる

The result of the experiment argues against your theory.

実験の結果は君の理論が正しくないと証明している

☞ argue against A で「Aに反する証拠を示す」。

argue の名詞形は argument で、以下のような意味になります。

① 「議論、論争」

(ex) They started an argument for[against] smoking.

彼らは喫煙に賛成[反対]する議論を始めた

We won[lost] the argument. 私達は議論に勝った[負けた]

a heated argument 白熱した論争

without argument 異議[疑義]なく

② 「口論、口げんか」

(ex) He had an argument with his wife about which to buy.

どれを買うべきかで彼は奥さんと言い争った

③ 「(賛否の)論点、論拠、理由、主張」

(ex) What are the arguments for accepting the plan?

その計画を受け入れる論拠[理由]は何か

We presented the argument against school segregation.

我々は学校における人種差別に対し反対の主張を表明(提示)した

(10)assimilate

assimilate の『核』のイメージは「吸収して一つにする(なる)」です。

④ 「as(～の方に)+simil(似る)+ate[動詞語尾]」が語源。

そこから「知識・文化等を自分のものとして吸収して一つにする → ～を取り入れる、身につける、吸収する、消化する」という意味が生まれました。

(ex) The painter assimilated many new experiences on his European trip.

その画家はヨーロッパ旅行で数多くの新しい体験を自分のものとした

また「人・習慣・考え方等を文化的に吸収して一つにする → ～を同化[一致・適合・順応]させる」という意味にもなります。

(ex) They assimilated their ways of thinking to those of the native inhabitants.

彼らは自分の考え方をその国の住民のそれに合わせた

The immigrants from Japan assimilated easily and quickly.

日本からの移民はすぐになんまり溶け込んだ

會上例は自動詞なので「一つになる → 同化する、順応する」となる。

吸収して一つになった結果として「(～に)似ている」という意味にもなります。

(ex) This box assimilates to[with] that box in size.

この箱はあの箱と似たような大きさだ

(11)associate

associate の『核』のイメージは「結びつける(つく)」です。

他動詞の場合 **associate A with B** という形でよく用いられ、「AをBと結びつけて考える → BでもってAを連想する、思い出す」という意味になります。

(ex) We associate the name of Einstein with the theory of relativity.

アインシュタインと言えば相対性理論を連想する

What do you associate with spring? 春と言えば何を連想しますか

また同じ **associate A with B** で「AをBの仲間に入れる」「AをB(団体・事業等)に関連させる、連合させる」という意味にもなります。

(ex) We associated him with us in the project.

我々は彼をその計画の仲間に入れた

He is closely associated with that business company.

彼はその商社と密接な関係がある

He associated himself with the political movement.

彼はその政治運動に関わっていた

自動詞では「結びつく」が『核』のイメージ。そこから **associate with A** で「Aと交際する、仲間になる」「Aと提携する」という意味が生まれます。

(ex) You shouldn't associate with dishonest people.

不正直な人たちとは交際すべきではない

associate の名詞形が **association** で以下のような意味になります。

- ① 「(共通の目的のための)協会、組合、団体」 =society
 (ex) the Young Men's Christian Association
 キリスト教青年[女子青年]会 ☞ YMCA のこと。
- ② 「(~との)交際」
 「提携、合同、連合」
 (ex) my association with her 彼女との交際
- ③ 「連想する[される]こと」「連想される物」
 (ex) a city full of historical associations 歴史的連想に満ちた町
- ④ 「関係、つながり、結びつき」

(12)attach

attach の『核』のイメージは「~にしっかりと結びつける」です。

attach A to B という形で用いられることが多いですね。その場合、「AをBにしっかりと結びつける」がそのイメージです。そこから「~を取り(張り)付ける、くっつける」「(署名・注釈等を)書き添える」といった意味が生まれました。

(ex) I attached my photograph to the application with paste.

私はのりで写真を願書に張り付けた

She attach her signature to the document.

彼女はその書類に署名をした

A(人) attach oneself to B(団体・組織) で「自分自身を団体・組織にしっかりと結びつける → 団体・党等に所属している」という意味にもなります。

☞ be attached to ~ と、受け身で用いられることも多い。

(ex) Australia was attached to the British Empire.

オーストラリアは大英帝国に所属していた

また **attach A to B** で「AをBに対して精神的にしっかりと結びつける → AをBに対して愛情[愛着]を持たせる、なつかせる」という意味にもなります。

ただこの意味では多くの場合 **A is attached to B** あるいは **A attach oneself to B**

という形で用いられます(その場合「AはBに対して精神的にしっかりと結びついている → AはBに愛着を感じている」という意味になる)。

(ex) The parents were deeply[very] attached to their children.

その両親は子供たちを深く愛していた

A stray cat attached itself to him. 野良ネコが彼になついた

そして同じ attach A to B で「A(重要性・性質等)をB(人・物・事)と結びつけて考える → AがBにあるものと考え」という意味になることもあります。

⦿attribute A to B で言い換えられる。

(ex) The police attached no[much] importance to what she said.

警察は彼女の証言を重視した[しなかった]

(13)attain

attain の『核』のイメージは「～に到達する」です。

そこから「目標・望み等に到達する → 目標・望み等を達成する、成し遂げる」という意味が生まれます。

(ex) He attained his goal[desire]. 彼は目標[望み]を達成した

「地位・名声等に到達する → 地位・名声等を獲得する、手に入れる」という意味にもなります。

(ex) The man attained the position of President.

その男は大統領の地位を手に入れた

He attained nationwide celebrity by digging up the scandal.

そのスキャンダルを暴き出したことで彼は全国的な名声を得た

また「(人が)場所・年齢・身長等に到達する」「(事が)完成等の域に達する」という意味でも用いられます。

(ex) The king attained the age of 90. 国王は年齢が90歳に達した

(14) authority

authority の『核』のイメージは「強大な権限(を持つ人)」です。

まず「強大な権限 → 権威(のあるもの)、(～する)権限、(～の)許可」という意味があります。

(ex) Parents should have greater authority over[with] their children.

親は子供に対してもっと権威を持つべきだ

the person in authority 権力のある人物

Who gave you the authority to take this measure?

この方策をとる権限をだれがあなたに与えたのですか

Whose authority do you have for doing this?

誰の許可[承認]でこんなことをするのですか

The measure was taken by the authority of the prime minister.

首相の許可を得てその方策が実施された

by the authority of A で「Aの許可を得て」「Aの権威をもって」。

an authority on English grammar 英文法の権威ある本

また「強大な権限を持つ人 → 権威者・大家」という意味が生まれます。

(ex) Mr. Brown is an authority on law. ブラウン氏は法学の権威[大家]だ

更に the authorities で「強大な権限を持つ存在 → 当局・官憲・官庁・その筋」という意味にもなります。

(ex) the authorities concerned made the information public.

関係当局はその情報を公表した

the school authorities 学校当局

そして「強大な権限を持ちうるもの → (信じるに足る)根拠」という意味にもなります。

(ex) You state an opinion on doubtful authority.

あなたは不確かな根拠をもとにして意見を述べている

(15)back

back の『核』のイメージは「背中」です。

(ex) He curved his back. 彼は背を曲げた

I swam on my back. 私は背泳ぎをした

☞「背中を水に接触(cn)させて泳いだ」ということ。

I had a pain in the back. 腰[背中]が痛かった

☞back が「腰」という意味になることもある。

「背中」から転じて、以下のような比喩的な意味でも用いられます。

「(物の)背のような部分」

「(ナイフ 本などの)背」

「(山の)尾根」

「(刀の)峰」

[the back] 「(物の)後部」 =rear

「奥、裏、後ろ」 ⇔ front

「(舞台の)背景」

「(事の)真相」

(ex) the back of a chair[back] いす[本]の背

the back of one's hand 手の甲

the back of a hill 山の尾根

the back of one's head 後頭部、うなじ

the back of a check 小切手の裏

the back of a house 家の裏手

There is an appendix at the back of the book.

巻末には付録が付いている

☞at the back of A で「Aの後ろ[裏手・奥]に」。

スポーツで「後衛」のことを「バックス」と言いますが、英語でもこれは back(s)と言います(逆に「前衛」は forward)。

以下は更に比喩的に用いられる back の例です。

(ex) She speaks ill of her husband behind his back.

彼女は陰で夫の悪口を言う

會behind one's back で「～のいないところで、陰で」。

I wanted to have him at my back. 私は彼に支持してほしかった

會at one's back で「支持して」。

I'm in back of you. 私はあなたを支持します

會in back of A で「Aを支持して」。

副詞として back が用いられると「後ろに(へ)」「後方に(へ)」「元に(へ)」「遡って」「(時間的に)～の前に、～以前に」「お返しに」「おさえて、隠して」等という意味になります。

(ex) The chair is rocking back and forth. いすが前後に揺れている

會back and forth で「前後に、あちこちに」。

Please sit back in your chair. いすに深く掛けてください

Put the book back on the shelf. 本を書棚の元の所に戻しておきなさい

back in 300 B.C. さかのぼって紀元前300年に

several years back 数年前に

I hit him back. 私は彼を殴り返した

She held back (the) tears. 彼女は涙をこらえた

back は動詞としても用いられ、以下のような意味になります。

① 「後退[バック]する、～を後退[バック]させる」

(ex) I backed my car into the garage. 車をバックさせて車庫に入れた

② 「～を後援する、支持する、支援する」

會カタカナ英語でも「バックアップ」と言う。「後ろから押す(押して支える)」ということ。

(ex) I backed the plan. 私はその案を支持した

He backed us up in the case. その事件で彼は我々を支援してくれた

會コンピュータ用語の「データをバックアップする」という場合のバックアップも back up を用いる。

(16)bare

bare の『核』のイメージは「裸の」です。

愈ちなみに「全裸の」は naked。

そこから以下のような意味が生まれました。

①「裸の、むきだしの」

(ex) She ran out of the house in[with] bare feet.

彼女は素足で家を飛び出した

He took it with his bare hands. 彼はそれを素手で取った

We had to sleep on the bare floor.

むきだしの床に寝なければならなかった

②「(土地が)草木の生えていない」「(木・枝が)葉の落ちた」

(ex) The trees will soon be bare. 木はまもなく葉が落ちるだろう

③「空っぽの」「がらんとした」=empty

(ex) He lived in a room bare of furniture.

彼は家具のない部屋で暮らしていた

④「ありのままの」「(事実等が)赤裸々の」

(ex) a bare fact of life 赤裸々の現実

⑤「辛うじての」「ほんのわずかの」「ただ~だけの」=mere

(ex) bare necessities of life なんとか生活していくだけの必需品

We ran away with bare life. 我々は命からがら逃げたのだった

The bare thought of his grandchildren warmed his heart.

孫のことを考えただけでも彼の心は温まった

愈この bare の副詞形が barely で「かろうじて~(する)」。

(ex) The soldier barely escaped death.

その兵士は辛うじて死を免れた

I had barely enough money to buy bread and milk.

パンと牛乳がどうにか買えるだけのお金を持っていた

hardly, scarcely が否定の意味で用いられるのに対して、barely は

肯定的に「やっと[かろうじて]~する」。従って only hardly は不可

だが only barely は可能。ただし時に下の例のように hardly の意味にも用いる。

(ex) a barely furnished room 家具がわずかしか付いていない部屋

また動詞として「裸にする(になる)」「むき出しにする(なる)」、更にそこから転じて「(事実等を)を暴露する、打ち明ける」という意味にもなります。

(ex) He bared his head and greeted us. 彼はかぶりものを脱いで私達に挨拶した

The dog bared it's teeth. その犬は(怒って)歯をむき出した

The typhoon bared the tree of its fruit. 台風で木の実がすっかり落ちた

She bared her heart[soul] to her husband. 彼女は夫に意中を打ち明けた

The newspaper reporter bared the secret of the trading company.

その新聞記者はその商社の秘密を暴いた

(17) bargain

bargain の『核』のイメージは「値切る」です。

「値切る → (人と~について)売買の取り引きをする、商談をする、交渉する」という意味が生まれました。

(ex) We bargained with them for the building.

我々は彼らとその建物の値段について交渉した

また「値切る → 交渉する → ~を取り決める、~するよう交渉で決める、~という協定を結ぶ」という意味にもなります。

(ex) She bargained that she should not have to pay for the car till the next month.

彼女は車の代金を翌月まで払わなくてもよいように取り決めた

bargain は名詞として用いられると「値切ること → 交渉、取引」そこから更に「売買契約、(~するという)約束」という意味になります。

(ex) We made a bargain with him. 私達は彼と取り引きした(契約した)

He made a bargain that he wouldn't dispose of the car.

彼はその車は処分しないと約束をした

また「値切られたもの → (安い)買い物、格安品、見切り品、特売」という意味にもなります。

(ex) a good[bad] bargain 得[損]な買い物

This pen is a real bargain at such a low price.

こんな安い値段ならこのペンは本当に買い得だ

また形容詞的に「格安の、特売の」という意味にもなります。

(ex) a bargain counter 特売品売り場

a bargain hunter 特売品をあさる人

「バーゲンで～を買う」は buy ~ in a sale あるいは buy ~ on sale と言うので注意しましょう。

☞bargain sale という表現はある。

最後に bargain を用いたイディオムをまとめておきましょう。

①at a bargain 「安く、格安で」

(ex) I got this at a bargain. 私はこれを安く買った

②drive a hard bargain 「(自分の利益のために)強硬な取り引きをする」
「強引に値切る」

③It's[That's] a bargain! 「それで決まった(決まりだ)」

(18)bind

bind の『核』のイメージは「縛る(結ぶ)」です。

(ex) The robber bound his hands together. 強盗は彼の両手を縛り合わせた

☞bind の活用は bind - bound - bound.

I was bound hand and foot. 私は手足を縛られた

The girl bound (up) her hair with a ribbon.

その女の子は髪をリボンで束ねた

The nurse bound (up) the wound with gauze.

看護婦は傷にガーゼで包帯をした

The book is bound in leather. その本は革で製本されている

會「本を一つに束ねる → 製本する」となる。

また「精神的に結びつける → (人・心を)団結させる、結びつける」という意味にもなります。

(ex) Friendship binds them together. 友情が彼らをつなげている

=They are bound together by friendship.

「行動を縛る → (人・行動を)束縛する、拘束する、義務づける」という意味にもなります。

(ex) I won't be bound by any promise. 私はいかなる約束にも縛られたくない

We bound him to secrecy. 我々は彼に秘密を守るよう誓わせた

The contract binds you to finish it by tomorrow.

その契約によれば、あなたはそれを明日までに仕上げる義務がある

會「その契約はあなたが明日までにそれを仕上げるよう義務づけている」ということ。

We are bound to obey laws as a good citizen.

私たちは善良な市民として法律を守る義務がある

My father is bound to hear the rumor sooner or later.

父は遅かれ早かれそのうわさをきくと耳にするだろう

會be bound to do[原形]~には「~するよう拘束されている → 必ず~するだろう」という意味もある。

Tim is bound to be in the office. ティムは会社にいるはずだ

This train is bound for Tokyo. この列車は東京行きです

會「この列車は東京に向かうことを義務づけられている」ということ。

ちなみに「(ボール等が)跳ねる」「飛び上がる」という bound は全く別の語源の語。

(ex) The deer bounded away. 鹿は跳ねるように駆け去った

會この bound の活用は bound - bounded - bounded.

At the sight of him, her heart bounded with joy.

彼の姿を見て、彼女はうれしくて心がはずんだ

また bound には「境界(線)」「(物事の)限界」というまた更に別語源の意味もある。
ゴルフの CB は cut of bounds の略で「規定の区域を外れて(た)」という意味。

(ex) The case was beyond the bounds of common sense.

その事件は常識の範囲を越えていた

When she heard the news, her joy knew no bounds.

その知らせを聞いたとき、彼女はむしように喜んだ

(19)board

board の『核』のイメージは「板」です。カタカナ英語でも「ボード」は「(平たい)板」ですね。

(ex) a board fence 板塀

a diving board 飛び込み台

その「板」から転じて「黒板、掲示板、伝言板」「食卓、テーブル」「板紙(段ボール)」といった意味が生まれました。

(ex) a bulletin[notice] board 掲示板

a book bound in boards ボール紙の表紙を付けた本

a groaning board ごちそう山盛りの食卓

この「食卓」という意味が転じて「食事」「食費」となることもあります。

(ex) I pay weekly for my board and lodging.

私は毎週食費と部屋代を払っている

The room rent is \$500 with board.

この部屋は食事付きで 500 ドルです

They boarded me for 70,000 yen a month.

そこは賄い付きで1か月7万円だった

會上例のように「(食事付きで)下宿させる」という動詞として用いられることもある。

また board には「板 → (船の)甲板」という意味が生まれ、on board で「(船に)乗

船して」というイディオムがあります。on board は実際船だけでなく、今では飛行機や列車等に「乗って」「機内で(の)、車内で(の)」という意味でも使われます。

(ex) go[get] on board 乗船する、列車[飛行機]に乗る

on board は aboard で言い換え可能。

The President is on board one of those ships.

あの船の1隻に大統領が乗っている

on board は直後に名詞を取って「A(船等)に乗って」という用法もある。

この場合は on board をワンセットで一つの前置詞と考えたらいい。

We enjoyed the life on board. 私達は船の生活を楽しんだ

また動詞として「(乗り物等に)乗り込む」という意味もあります。

(ex) They boarded the train here. 彼らはここで列車に乗った

Jim boarded a plane for London at Narita.

ジムは成田でロンドン行きの飛行機に乗った

それから「テーブル」という board は「テーブルを囲んで行われるもの → 会議、委員会」更に「(官庁等の)省・庁・局・部」といった意味にもなります
集合的に「委員たち」という意味になることもある。

(ex) a board of directors 重役会、理事会

a board of education 教育委員会

the Board of Health (州や都市の)保健局、衛生局

Ms. White is a member of the executive board.

ホワイトさんは実行[執行]委員の一人です

The board is[are] meeting the day after tomorrow.

委員会は明後日開かれる予定です

(20)book

book の『核』のイメージは「文字を書き込むもの」です。

book と言えば「本」という意味は誰でも知っていますが、動詞で「予約する」という意味があるのは知っていましたか? これは「台帳に書き込む(載せる) → 予約す

る」となったのです。

(ex) He booked a seat on the train. 彼はその列車の席を予約した

會 reserve や make a reservation の方が一般的な表現。

They booked me a room at the hotel.

彼らは私にホテルの部屋をとってくれた

會 book O₁ O₂ で「O₁ にO₂を予約してやる」。

もちろん動詞の book には「～を書き込む」という意味もあります。

(ex) The waiter booked orders. ウェイターは注文を書き込んだ

名詞の book には books で「帳簿、会計簿」「名簿」という意味もあり、keep[do] the books は「帳簿をつける」、bookkeeping は「簿記」のことです。

(21)branch

branch の『核』のイメージは「枝」です。

會「幹」は trunk、「根」は root。

(ex) a dead branch 枯れ枝

比喩的に「枝状のもの」、更に「(枝状に)派生した物」という意味にもなります。

(ex) the branch of a deer's antler シカの枝角の1つ

この「枝状に派生したもの」という branch が更に発展して、以下のような意味でも用いられます。

①「支流、支脈、支線」 =branch line

(ex) The river has two main branches. その川には2本の主要な支流がある

②「支店、支局、支部」「分家」

會形容詞的にも使われる。ちなみに「支…」に対する「本…」は main, head, trunk 等になる。

(ex) the Nagoya branch of our company 我が社の名古屋支店
a branch office 支店 ⇔ head office 本店

③ 「部門、分科(野)」

(ex) Physics is a branch of science. 物理学は科学の一部門だ

(22)business

business の『核』のイメージは「忙しいこと」です。

🔍 「busy+ness[名詞語尾]」が語源。

business と言えば「仕事」「商売」「実業(界)」「取引」という意味がおなじみですが、それ以外の意味も多々あるのでしっかり整理しましょう。

① 「景気」

(ex) How's business? 景気はどうですか

② 「店」「会社、商社」

(ex) open[close] a business 開店[閉店]する

I bought[sold] out a business. 店を買い取った[売り払った]

He has a business in London. 彼はロンドンに店を持っている

③ 「(やるべき)務め、本分、義務、役目」

(ex) It's a student's business to study. 勉強が学生の本分だ

You should know your business. 君は自分の本分をわきまえるべきだ

Mind your own business. よけいな世話だ

Everybody's business is nobody's business. 🗨️ ことわざ。

共同責任は無責任

④ [通例否定文で] 「関係ある事、筋合い」「用件」

(ex) That's none of your business. それは君の知ったことではない

=That's no business of yours.

I have urgent business with you. あなたに急用がある

What's your business here? 何の用でいらしたのですか

Let's go about business. 用件に入ろう(取りかかろう)

⑤ [漠然とまたは軽べつ的に] 「事、事柄」=matter

「厄介なこと」

(ex) I'm sick of the whole business. 本当にいやになったよ
I have no business complaining[to complain] about the matter.
私にはそのことに不平を言う権利はない

最後に business を用いた決まり文句的な表現を紹介しましょう。

①mean business 「(人が)本気である」

(ex) Do you mean business? 君は本気なのか
Stop laughing! I mean business. 笑わないで! 本気なんだから

②on business 「仕事で、商用で、用事で」 ⇔ for pleasure

(ex) I'm going to kyusyu on business. 私は仕事で九州へ行きます

③out of business 「破産して、廃業して」

(23)but

but は、その語源は「～なしに」「～を除いて」なのですが、品詞も接続詞に始まり副詞、前置詞、関係代名詞と多岐に渡り、難単語の一つです。しっかりここでその意味と用法を整理しましょう。

まず等位接続詞の but から。

①「しかし、でも」

(ex) He is young but wise. 彼は若いが賢い

②[not A but B] 「AではなくてB」

(ex) A bat is not a bird but a mammal. コウモリは鳥でなくほ乳動物だ

③[not only A but also B] 「AだけでなくBもまた」

次に従属接続詞の but。

①[否定語(never等)～+but S+V...] 「～すれば 必ず…する」

=never～ without doing…

(ex) I never see this picture but I remember your father.

=I never see this picture without remembering your father.

私はこの写真を見ると必ず君のお父さんを思い出す。
It never rains but it pours. ☔ ことわざ。
降れば土砂降り → 二度あることは三度ある、泣きっ面にハチ

② 「～を除いて、～以外」

(ex) No one but she[her] would do such a thing.
彼女以外はだれもそんなことをしないだろう
☞her とすると but は前置詞。

次は前置詞の but です。意味は「～を除いて」「～以外に」「～の他は」で except や save で言い換えられます。

① [every, any, no(およびその合成語)や all, none, who, what, where等の後で用いて]

(ex) She ate nothing but bread and butter.
彼女はバターを塗ったパン以外何も食べなかった
He thinks of nothing but making money.
彼は金もうけのことしか考えない
Everyone but me[I] was tired. 私以外はみな疲れていた

② [first, last, nextの後で] 「～を含まないで」 =except

(ex) (the) last but one 最後から2番目
He lives next door but one. 彼は1軒おいて隣に住んでいる

③ [原形・to不定詞を伴って] 「～を除いて、～以外に、～の他は」

(ex) She did nothing but complain. 彼女は不平ばかり言っていた
=All she did was (to) complain.
We have no choice but to go. 我々は行くより仕方がない
=We cannot choose but (to) go.
I cannot (help) but laugh. 笑わずにはいられない
=I cannot help laughing.

次は関係代名詞の but。否定語の付いた名詞を先行詞として取り、「～しないところの」という意味になります。

(ex) There is no rule but has some exception. 例外のない規則はない
=There is no rule that does not have some exception.

=Every rule has some exception.

There is not one of us but wishes to succeed.

成功を望まない人は誰一人としていない

次は副詞の but。

①「ほんの～、ただ」 =only

(ex) He is but a child. 彼はほんの子供です

If I could but see him. 彼に会えさえしたらなあ

②[canと共に]「ただ～しか(できない)」

(ex) I can but wait. 私はただ待つだけだ

最後に but を用いた慣用表現もおさえましょう。

①but for A ⇔「～を除いて」という but に由来。except for A でも
=without A 言い換えられる。

(1)「(今)もしAがなかったら」 =If it were not for A
=Were it not for A

(2)「(あの時)もしAがなかったならば」 =If it had not been for A
=Had it not been for A

(ex) But for the thick trees, the bitter wind would blow the house to pieces.

深い木立がなければ家は激しい風に吹きとばされてばらばらになるだろう

②cannot (help) but do[原形]～「～せざるを得ない」 =cannot help doing～

(ex) I cannot (help) but smoke. たばこを吸わずにはいられない

③have no choice but to do[原形]～「～せざるを得ない」

「～するしか(選択の余地が)ない」

=There is nothing for it but to do[原形]～

(ex) I have no choice but to finish this work.

この仕事をやり終えるしかない

=There is nothing for it but to finish this work.

④anything but～「決して～ない、まったく～ない」 =not ~ at all

(ex) My wife is anything but a good cook. 私の妻は料理がまるきりへたです

⑤nothing but

(1)[nothing but A(名)] 「Aにすぎない、ただAだけ」

(ex) He is nothing but a child. 彼はほんの子供にすぎない

He drank nothing but water. 彼は水ばかり飲んでいて

(2)[do nothing but do[動]~] 「~ばかりしている」

(ex) He did nothing but cry. 彼は泣いてばかりいた

(24)care

care の『核』のイメージは「心配、気がかり」です。

(ex) Now that his son got married, he is free from care.

今はもう息子が結婚してしまったので、彼には心配がない

Care has made him look five years older.

気苦労で彼は5歳はふけこんだ

「心配、気がかり → 用心、配慮、注意」という意味にもなります。

(ex) The task requires more care. その仕事にはもっと注意が必要だ

更に転じて「世話、保護」「管理、責任」という意味にもなります。

(ex) In those days, we were busy with the care of our children.

その当時、私達は子供の世話で忙しかった

また「気がかり → 関心事、(やるべき)仕事、責任」という意味にもなります。

(ex) household cares 家事

My greatest care is money. 最大の関心事はお金です

That will be my care. それは私が引き受けます[私の責任です]

動詞の care については以下の2つの用法をおさえておくといいでしょう。

①care about A 「Aを気にする」

care+疑問詞節

(ex) I care about your health. That's why I'm telling you to stop smoking.

君の健康を心配しているんだ。だから煙草をやめろと言っているんだ
I don't care about what she says. 彼女が何と言おうと気にしません
Who cares what he will do? 彼が何をしようが誰かまうものか

②care for A

(1)[well等の副詞と共に]「A(子供・病人・動物等)の世話をする」

=look after A, take care of A

(ex) I will care for your children during your absence.

留守中お子さんたちのお世話はまかせてください

(2)[通例否定文・疑問文・条件節で]「Aが好きである」 =like

(ex) I didn't care for study. 私は勉強が好きではなかった

(3)[通例 would を伴う否定文・疑問文・条件節で]「Aを望む、Aが欲しい」

=want

(ex) Would you care for another cup of coffee?

もう1杯コーヒーはいかがですか

(4)「Aを心配する、Aに関心がある」

= care about A

(25)case

case の『核』のイメージは「偶然落ちてきたもの」です。

亶ちなみに「箱」という case は別語源。

そこから以下のような意味が生まれました。

①「場合」

(ex) in this case この場合

②「実例、事例」 =instance

(ex) a typical case of careless driving 不注意運転の見本

a case in point 好例

③[be the case]「真相、事実、実情」 =fact

(ex) That is not the case. それは本当ではない

=That is not true.

Is it the case that he has met with an accident?

彼が事故にあったのは事実ですか

④ 「(…の)症例、病状」

「(…の)患者」

(ex) There were three cases of rabies last month alone.

先月だけで狂犬病患者が3人出た

emergency cases 急患(救急の患者)

⑤ 「事件、問題(の人)」

(ex) a case of murder 殺人事件

=a murder case

⑥ 「訴訟(事件)、裁判」

(ex) win[lose] a case 勝[敗]訴する

最後に case を用いた慣用表現をまとめておきましょう。

① as is often the case with A 「Aにはよくあることだが」

(ex) As is often the case with him, Tom was not at home.

トムにはよくあることだが、家にいなかった

② case by case 「一件一件(慎重に)」

(ex) Why not act as the case may be? ケースバイケースで行動したらどうだい

愈case by case は「一件一件(ずつ)」「その都度、場合に応じて」の意味だが、

頻度的には(特に話し言葉では)あまり高くなく、as the case may be(場合に応じて)等の方がよく用いられる。

「それはケースバイケースだよ」のような文では case by case は使えない。

(ex) That[It] depends (upon each individual case).

それは個々の事情[状況]によるね

等と言う。

③ in any case

(1) 「どんな事情にせよ、ともかく」 =anyway

(ex) In any case, get out. とにかく出てってくれ

(2) 「少なくとも」

(ex) The influence of education, or in any case the influence of parents, is great.

教育の影響、あるいは少なくとも両親の影響は大きい

④ in case S+V～

(1) 「もし～ならば」「万一～の場合には」 =if S+V～

(ex) Don't wait to start, in case I miss the train.

私が列車に乗り遅れた場合は待たずに出発してください

Ⓢ in case S+V～の部分を文頭に置くことはない。

(2) 「～だといけないから」「～の場合に備えて」 =just in case S+V～

(ex) You must take your sweater in case it snows[should snow].

雪になるといけないから、セーターを持って行きなさい

⑤ just in case 「万が一のために、万が一に備えて」

(ex) A telegram addressed to you came last night, but I opened it just in case.

君あての電報が昨夜届きましたが、万が一のために私が開いてみました

⑥ in no case 「どんな場合であっても決して～ない」

(ex) In no case are you allowed to play catch in this park.

いかなる場合でもこの公園内でキャッチボールをしてはいけない

Ⓢ in no case が文頭に置かれると直後の主節は疑問文の語順になる。

⑦ in the case of A 「Aの件について言えば」「Aに関しては」

(ex) In the case of Jack, he has nothing to do with it.

=In Jack's case, he has nothing to do with it.

ジャックに関しては、彼はそれとは無関係だ

(26) challenge

challenge の『核』のイメージは「挑む(挑みかかる)」です。

そこから以下のような意味が生まれました。

① 「(～に)挑む、挑戦する」

「(人・能力等を)試す」

「(やる気等を)促す」

會「お前に負けないぞ」「できるものならやってみろ」と挑んでくるイメージ。

(ex) He challenged me to have a karate bout.

彼は私に空手の試合を申し込んできた

會「空手の試合をするようにと私に挑んできた」ということ。

The question challenged the research team to tackle it.

その問題は調査チームに取り組む気を起させた

會challenge O(人) to do[願]～ で「Oに～するよう促す」。

「物事が人に挑んできた結果として、人にやる気を出させる」ということ。

② 「(陳述・資格等に対してその妥当性を)疑う、問題にする、異議を唱える」

會「おかしいじゃないか」と挑みかかるイメージ。(動詞の)question や doubt
で言い換えられる。

(ex) Nobody in the company challenged the boss's prospects for the future.

社内の誰も社長の将来見通しに異議を唱えるものはいなかった

The police challenged the truth of her story.

警察は彼女の話が本当かどうか疑った

③ 「(弁明・説明・証拠等を)強く要求する」

會「有るなら出してみろ」と挑みかかるイメージ。

(ex) This problem challenges us to find a new solution.

この問題は私たちが新しい解決法を見出すことを必要としている

會challenge O(人) to do[願]～ で「Oに～するよう要求する」。

④ 「(物事が賞賛・注意・努力・興味等を)喚起する、促す、値する」

會「オレがいるじゃないか」と声を出して物事が挑んでくるイメージ。

(ex) His work should challenge first place.

彼の作品は第1位にすべきだ

His new ideas challenged interest.

彼の新しい考えは興味をそそった

This plan challenges attention. この案は注意して検討するべきである

この challenge が名詞として用いられると具体的には以下のような意味になります。

① 「(競技などへの / ~しようという)挑戦」

(ex) I accepted a challenge to play tennis.

私はテニスの試合の申し込みに応じた
a challenge cup[flag] 優勝杯[旗]

② 「(やりがいのある)課題」

「努力目標」

「(やっかいな)問題、難問」

「やりがい、張り合い(のある仕事)」

會「人に挑みかかってくるようなもの・事」ということ。そのような物事は、それを受けとめる人間次第で「厄介な問題」にも「やりがい(張り合い)のある仕事」にもなる。

(ex) They faced[tackled] a challenge. 彼らは難題に取り組んだ

He was able to meet[cope with] the challenge.

彼は難題にうまく対処することができた

Nancy wants a task with more challenge.

ナンシーはもっとやりがいのある仕事を求めている

Economic revival is seen as one of the challenges today.

経済復興こそ今日の課題の1つと見なされている

③ 「(妥当性・資格等への)異議、疑念、説明要求、拒絶」

(ex) His speech is beyond challenge. 彼のスピーチは文句のつけようがない

この challenge の現在分詞 **challenging** は「(人に)挑みかかってくるような」から転じて

「興味をかきたてる(ような)」「意欲をそそる(ような)」「やりがいのある」
「刺激的な」「挑戦的な」「骨の折れる」

といった意味になります。

(ex) a challenging job やりがいのある仕事

a challenging course 難しいコース[科目]

ちなみに **challenged** は「神・運命からの挑戦を受けている → 心身に障害のある」という意味になる。**the challenged** で「心身に障害のある人」という意味。

(27) check

check という単語、なんとも意味が多いですね。名詞だけでもこれだけの意味があります。

① 「検査、点検、テスト」

(ex) The employees made a careful check of [cn] the machine.
従業員はその機械を綿密に検査した

② 「(突然の)阻止、妨害、停止」

「阻止する人[物]」

(ex) Bad weather gave a check to crop production.

悪天候で作物の生産が伸び悩んだ

☞ give [put] a check to A で「Aを阻止[抑制]する」。

We met with a check. 私達は妨害にあった

A change of wind acted as a check on the spread of the forest fire.

風向きが変わったので山火事は広がらずにすんだ

③ 「(レストラン等の)会計伝票、勘定書」 =bill

(ex) She signaled to the waiter for her check.

彼女は勘定書を持って来るようウェイターに合図した

Check, please. 御勘定をお願いします

④ 「小切手」

(ex) He sent the store a check for \$100.

彼はその店に100ドルの小切手を送った

I cashed the check. 私はその小切手を現金に換えた

⑤ 「(手荷物などの)合い札、預かり証」

(ex) a baggage check 荷物の合い札

a check for my coat コートの預かり証

- ⑥ 「チェック(模様)、格子じま」
 「格子じまの織物」
 [形容詞的に] 「チェックの」
 (ex) a check pattern チェックの模様
- ⑦ [チェス用語] 「王手」 =checkmate
 (ex) The king is in check. キングに王手がかけている

更に動詞としても以下のような意味があります。

- ① 「～を検査する、点検する、調べる」
 「(確認のために)～を照合する、チェックする」
 (ex) Would you please check these figures?
 これらの数字が合っているか調べていただけますか
 He checked his watch and it was noon. 彼は時計を見たら正午だった
- ② 「～を阻止する、食い止める」 =stop
 (ex) The sandbags helped to check the floodwaters.
 砂袋が洪水を食い止めるのに役立った
- ③ 「(感情等を)抑制する」
 (ex) She couldn't check her anger. 彼女は怒りを抑えることができなかった
 He checked himself. 彼は自制した
- ④ [劇場・ホテルのクローク等で合い札と引き換えに] 「(所持品を)一時預けにする」
 (ex) Check your coat at the door, please.
 コートは入口でお預けください
- ⑤ [check in] 「(ホテルで)宿泊手続きをする」 ⇔ check out
 「(空港で)搭乗手続きをする」
 「(タイムレコーダーを押して会社に)出勤する」
- ⑥ [チェス用語] 「(相手のキングに)王手をかける」

なんともやになってしまいますね(これだけの意味を丸暗記しようと思ったら)。
 これを簡単に覚える方法はやはり『核』のイメージをつかむことです。check

とは、元々チェスの用語で「王手」の意味なのです。王手とは、王(king)の行く道をふさぎ、動きを止めて詰ませることですね。つまり check の『核』のイメージは「**～の動きを止める**」なのです。

それがわかると、「検査(する)」というのは、そこでいったん(検査対象の)動きを止めて、調べることですね。

ホテルのフロント等に check in するというのも、そこで(名前を書いたり本人確認をしたりして)宿泊者はいったん動きを止められますね。

「阻止」とはまさに相手の動きを止めること。「感情を抑制する」というのも、感情の動きを止めることです。

「(劇場・ホテルのクローク等で合い札と引き換えに)所持品を一時預けにする」という場合も、「劇場・ホテルに入る」という行為がそれによって一時止められますね。そして所持品を預けた場合、返してもらうための合札(預かり証・半券)を手渡されます。それが「小切手」「勘定書」「伝票」という意味の由来なのです。

「チェック柄」は、チェスの盤の枡目のデザインから来ています。

(28)claim

claim の『核』のイメージは「**大声で叫ぶ**」です。

スポーツの歓声以外で、通常人間が大声で叫ぶ場合というのは、自らの主張や要求を求めてのことが大半ですね。そこから claim には「**～を主張する**」「**(当然の権利として)～を要求する**」という意味が生まれます。

會日本語で「クレームをつける」といった場合、クレームには「不平・不満」という意味が含まれるが、英語の claim には「不平・不満(を言う)」という意味はないので注意(claim は「当然の権利としての要求」)。ちなみに、「不平・不満」は、英語では complaint であり、「(Aについて)不平・不満を言う」は complain (about[of] A)。

(ex) Both sides claimed their victory. 両者とも勝ったと主張した

The accused claimed that he is innocent.

被告は自分は無罪だと主張した

The parents claimed the boy to be their son.

その両親は、少年は自分の息子だと言い張った

The man claimed a reward for finding the wallet.

その男財布を見つけた謝礼を要求した

There are several problems that claim our attention.

注目に値するいくつかの問題がある

The big earthquake claimed many lives.

大地震が多くの生命を奪った

㊦「大地震が(当然の権利として)多くの命を要求した」が直訳。

claim はこのように「物事」を主語に取ることもある。

名詞として

「(~だという)主張」

「(当然の権利としての)要求(すること)」

「(要求する)権利、(主張し得る)資格」

という意味でも用いられます。

(ex) The victims made a claim for damages against the company.

被害者はその会社に損害賠償の請求をした

Has anybody made (a) claim to the briefcase?

そのブリーフケースの持ち主は出てきましたか

You have no claim to the property.

あなたにはその財産に対して何も要求する権利がない

You have no claim on her love. 君には彼女の愛を受ける資格がない

Mr. Black has the best claim to the honor.

ブラック氏こそ、その栄誉を受けるのに最も適している

This case has a special claim to remember.

今回の事件は特に記憶されてしかるべきだ

(29) coin

coin の『核』のイメージは「硬貨」です。

(ex) a gold[silver] coin 金[銀]貨

I paid in[with] coin. 私は硬貨で支払った

會集合的に「貨幣」「(漠然と)小銭」「金(かね)」という意味にもなる。

以下は coin を用いた慣用的な表現です。

(ex) two sides of the same coin 表裏一体の問題[事態]

the other side of the coin 物事の逆の面、逆の見方

動詞としても用いられ、その場合「(硬貨を)鑄造する」という意味になります。

(ex) The mint used to coin gold into dollars.

その造幣局は金でドル貨幣を造っていた

また動詞の coin は「(新語・うそを)作る、作り出す」という意味にもなります。

(ex) coin a word 新語を作る

a coined word 新造語

to coin a phrase 新しい言い方をすれば

(30)conduct

conduct の『核』のイメージは「正しい方向に導く」です。

會語源は「con(共に[=together]) + -duct(導く[=lead]) → 共に導く」。

この『核』のイメージを持っていれば、以下の様々な conduct の意味も、すべて納得がいくことでしょう。

- ①「(指導的立場から)～を運営[管理]する、指導する」「(業務などを)行う、遂行する」

(ex) He conducts a business. 彼は事業を経営している

The researchers conducted a survey[experiment].

研究者たちは、ある調査[実験]を行なった

The chairman conducted the conference.

議長は先頭に立ってその会議を進めた

- ②[conduct oneself +副詞句]「～にふるまう(=behave)」

④ 「自分自身を正しい方向に導く」ということ。

(ex) She conducted herself well till the last.

彼女は最後まで立派にふるまった

③ 「(楽団などを)指揮する」

(ex) conduct an orchestra オーケストラを指揮する

④ 「～を導く(=direct, lead)」 「～を案内する(=guide)」

(ex) My wife conducted her to[into] the seat. 妻は彼女をその席に案内した
a conducted tour ガイド付きの旅行

④ カタカナ英語でも「ツアーコンダクター」というが、a conductor は
「正しい方向に導く人」ということ。「車掌」「経営者」「支配人」「指揮者」も conductor と言う。

⑤ 「(熱・光・電気などを)伝導する」

(ex) Copper conducts electricity. 銅は電気を伝える

conduct は名詞としても使われます。

④ 動詞の場合は u に、名詞の場合は o にアクセントがくる。

その場合、

「正しい方向に(他者を)導くこと → 指導、運営、管理、案内」

「正しい方向へと(自身を)導びくこと[導いた結果] → 行動、行為」

と考えるといいでしょう。

① 「行動、ふるまい」

「(道徳上の)行為、品行」

(ex) My husband is quite above such conduct.

夫は決してそんなふるまいをする人ではありません

the rules of conduct 行動軌範

② 「(業務などの)遂行」

「運営、指導、管理(=management)」

(ex) the conduct of a business 事業経営

③ 「案内(=guidance)」

(ex) under the conduct of A Aの案内で

(31) confidence

confidence の『核』のイメージは「信頼」です。

◎ 「con(完全に)+fide(信頼する)+nce[名詞語尾]」が語源。

具体的には「自信」「確信」「信頼、信用」となりますが、英文中でそのうちのどの意味になるかは文脈判断となります。

① 「信頼、信用」 =faith

◎ confidence は理性・証拠に基づく信頼。trust は直感に基づく信頼。

(ex) He won[gain] her confidence. 彼は彼女の信頼を得た

I lost confidence in him. 彼を見そこなった

② 「確信」

(ex) I can say with confidence that the finding is wrong.

その調査結果は間違っていると確信を持って言えます

I have every confidence that he will pass the examination.

私には彼が試験に合格するという十分な確信がある

③ 「自信」

(ex) He is always full of confidence. 彼はいつも自信に満ちあふれている

I have perfect confidence in my ability.

私は自分の能力に絶対の自信を持っています

confidence には「秘密」「打ち明け話」という意味がありますが、これは「相手を信頼した結果した(打ち明けた)話」ということからきています。

(ex) I have no wish to hear confidences about it.

それについての秘密を聞きたいとは思わない

in confidence 内密に、内緒で

◎ 「信頼した関係の中で」ということ。

(32) contribute

contribute の『核』のイメージは「完全に与える」です。

④ 「con(完全に)+tribute(与える)」が語源。contribute A to B あるいは contribute to[toward] A という形で用いられることが多い。

「(組織・全体に自身の力・援助を)与える → ～に貢献【寄与】する、～に役立つ」という意味がそこからまず出てきます。

(ex) The scientist contributed greatly to the progress of science.

その科学者は科学の進歩に大いに貢献した

Her accumulated experience contributed toward overcoming difficulties.

困難を克服するのに彼女の蓄積された経験が役立った

Sunshine contributes to the health of the body. 日光は健康によい

時に悪い意味で「(ある結果に)寄与する → ～の一因となる、～を引き起こす」という意味で用いられることもあります。

(ex) Drink contributed to his ruin. 酒が彼の破滅を助けた

Too much salt can contribute to high blood pressure.

塩分の摂りすぎは高血圧をひき起こすことがある

a contributing factor 一因

「(お金・物を)与える → ～を寄付する、寄贈する、贈る」という意味にもなります。

(ex) She contributed money to[for] relieving the poor.

彼女は貧民救済にお金を寄付した

He contributed clothing to the disaster area.

彼は被災地に衣類を贈った

「(原稿を出版社等に)与える → ～を寄稿する」という意味にもなります。

(ex) The scholar contributed a paper to a magazine.

その学者は論文を雑誌に寄稿した

I contributed to a newspaper. 新聞に寄稿した

a contributed article 寄稿記事

最後に contribute が覚えられたところで、よく似た語の distribute と attribute についてまとめてみましょう。これらの語の中の tribute はやはり「与える」です。まず distribute は、「dis(分けて)+tribute」で「分けて与える」が語源です。そこから「(～を)分配する、配布する」「(～を)配達する」という意味が生まれました。

(ex) The organizer distributed pamphlets to the audience.
主催者は聴衆にパンフレットを配布した

更に「(広い所に種・肥料・塗料等を)まく、散布する、塗る」「[be distributed] (動物・植物等が)分布する」という意味にもなります。

(ex) He distributed seed over his field.
彼は畑に種をまいた
He distributed his paint evenly over the canvas.
彼はキャンバスにむらなく絵の具を塗った
a widely distributed animal 広く分布する動物

次に attribute ですが、語源は「at(～に)+tribute(原因を割り与える)」で、attribute A to B の形でよく用いられます。その場合「Aの原因をBに割り与える」が『核』のイメージになるのですが、AとBにどんな内容が来るかで和訳も調整する必要があります。具体的には以下ようになります。

attribute	A	to	B
	[結果]	→	[原因]
			⇒「A(結果)をB(原因)に帰す[Bのせいこる]」
	[性質]	→	[所有者]
			⇒「A(性質)がB(所有者)にあると考える」
	[作品]	→	[作者]
			⇒「A(作品)はB(作者)のものであると考える」

(ex) He attributed his success to the support of his wife.
彼は成功したのは奥さんの支えのおかげだと考えた
I attributed feelings of jealousy to her.
私は彼女が嫉妬心を持っていると考えた
The piece is usually attributed to Mozart.

この曲は普通モーツァルトの作とされている

(33)convention

convention は「con(一緒に)+vent(来る)+tion[名詞語尾]」が語源で、「みんなが一緒に集まって来るもの」ということです。

そこから「大会」「集会」という意味が生まれます。

(ex) the Democratic National Convention 民主党全国大会

I'll join the annual convention. 私は年次大会に参加します

また「みんなが一緒に(集まって)行っているもの → 慣習・慣行・しきたり」という意味にもなります。

(ex) the conventions of everyday life 日常生活のしきたり

In Western countries, it is convention for men to open doors for women.

西洋の国々では、男性が女性のためにドアを開ける慣習になっている

convention の形容詞形が **conventional**。意味はまず「慣習に基づく」「因習的な」というのがあります。

(ex) conventional morality 因習的道德

conventional ways 従来のやり方

そこから「従来の → 決まりきった → 陳腐な、型にはまった」という(悪い)意味に派生します。

(ex) a conventional opinion 月並みな意見

a conventional phrase (言い古された)きまり文句

(34)credit

credit の『核』のイメージは「信用(する)」です。

(ex) We can give credit to that statement.

その言葉は信用できる

I put[placed] credit in what he says. 私は彼の言葉を信用した

また「信用されるような人が持っているもの → 名声・名誉・功績」という意味にもなります。

(ex) a man of credit 名声のある人

The credit should go to him. それは彼の功績となるべきものだ

He has lost credit with his friends. 彼は友達の間で評判を落とした

Credit should be given where credit is due.

名誉はそれにふさわしい人に与えられるべきだ

この credit を用いた慣用的な表現に以下のようなものがあります。

① do credit to A 「(物事が) A (人)の名誉となる」

=do A credit

(ex) His honesty does him credit. 彼の正直さは見上げたものだ

His new work does credit to him.

彼の新しい仕事は彼の名誉となるものです

② get[take] credit for A 「Aの(に対する)功績を認められる」

(ex) He got credit for the discovery of a new star.

彼は新星発見の功績を認められた

③ give A credit for B

(1) 「A(人)がBであると思う」

(ex) I gave him credit for being a more capable fellow.

彼はもっと有能な男だと思っていた

(2) 「B(物・事)をA(人)の功績にする」

(ex) They gave her credit for the success of the party.

彼らはパーティーの成功は彼女の手柄(功績)だとした

動詞として credit A with B で「A(人)がB(性質)を持っていると信じる」「B(行為)をA(人)の功績とする」という意味でも使われます。

(ex) I don't credit her with loyalty.

彼女に誠実さがあるとは思わない

He is credited with the discovery of the lake.

彼がその湖を発見したと言われている

They credited the invention to him. その発明は彼によると考えられている

④credit B to A となることもある。

もちろん「クレジットで～を買う」とカタカナ英語にもなっている「信用貸し」「掛け売り」「クレジット」という意味も credit にはあります。

(ex) No credit is given at this store. 当店では掛け売りはいたしません

Cash or credit? 現金ですかクレジットカードですか

④店で店員が客に聞くセリフ。

interest-free credit 無利子信用貸付

(35)cross

cross の『核』のイメージは「交差する」です。

④あるものと他のものが十字に横切るということ。

文字通りの「交差する、横切る」という動詞の意味が cross にはありますね。

(ex) We crossed the road[river]. 私達はその道を横切った[川を渡った]

A look of surprise crossed her face. 驚きの色が彼女の顔をよぎった

④上例は比喩的な用法と言える。

「交差させる」という意味にもなります。

(ex) Don't cross your legs in a crowded train.

混んだ電車内で足を組んではいけません

転じて「横線を引く」「(人と)すれ違う」「(手紙などが～と)行き違いになる」という意味にもなります。

(ex) Don't forget to cross your t's. t の字の横棒を引くのを忘れないように

Your letter crossed mine. あなたの手紙は私のと行き違いになりました

また「お互いの利益・目的の方向性が行き違う[ぶつかる] → ～に逆らう、～を邪

魔する」という意味にもなります。

(ex) I was crossed in love. 恋路のじゃまをされた

It is not wise to cross your boss. 上司にたてつくのは賢明でない

cross は名詞として「十字架」「十字形(記号)」という意味がありますが、これらは『核』のイメージから簡単に類推できますね。また十字架は苦難の象徴なので、cross にも「苦難、試練」という意味があります。

(ex) You must carry your cross. 君は苦難に耐えねばならない

No cross, no crown. 苦勞なくして栄冠なし ☞ ことわざ。

イディオムとして **cross off** で「(勘定などを)帳消しにする」という意味がありますが、これは、「帳簿に横線を引いて、その請求分を無しにする」ということ。cross には形容詞の用法もあり、『核』のイメージ通りの「交差した」という意味もあります。

(ex) a cross street 交差(する)道路

形容詞の cross の意味として「不機嫌な、怒っている、意地悪な」という意味がありますが、これは「互いの感情の方向が行き違う → 感情が対立し合う[ぶつかり合う] → 不機嫌な、怒っている、意地悪な」となったのです。

愈何かと感情がぶつかり合う相手というのは、こちらからみれば意地悪に見えるし、穏やかでない(つまり不機嫌、あるいは怒っている)ように見える。

(ex) The teacher was cross with us for forgetting our homework.

先生は私達が宿題を忘れたので不機嫌だった

a cross word 意地悪なことば

Father was very cross about the broken vase.

割れた花瓶のことで父はとても機嫌が悪かった

Why are you cross with me all the time?

なぜあなたはいつも私に意地悪なの

(36)curious ☞ 名詞形は curiosity(好奇心)。綴りに注意。

curious の『核』のイメージは「興味深い(性質の)」です。

curious は「人」が主語の場合、「(人が物事に対して)興味を深く持っている → 好奇心が強い(ある)、詮索好きな」という意味になります。

☞ 良い意味にも悪い意味にも用いる。

(ex) When young, I was a curious child. 幼い頃私は好奇心の強い子だった

I am curious to know how he finished it.

彼がどうやってそれをやり遂げたのかを知りたい

You should not be too curious about others' lives.

他人の生活をやたらと詮索すべきでない

逆に「物事」が主語の場合、「(物事が)興味深い → 好奇心をそそるような、不思議な、奇妙な、変わっている、珍しい」という意味になります。

☞ この場合、interesting や strange, odd で言い換えられる。

(ex) a curious sight[sound] 奇妙な光景[物音]

It is curious that he was not there. 彼がそこにいなかったなんて変だ

curious to say で「不思議なことには」という決まり文句もあります。これは strange to say で言い換えることができます。

(ex) Curious to say, the document was never found anywhere.

奇妙なことにその書類はどこにも見つからなかった

(37)custom

custom の『核』のイメージは「慣れ親しむこと」です。

☞ 「cu(共に)+stom(慣れる)」が語源。

そこから「慣れ親しんだ行為 → 習慣」という意味が生まれます。

☞ habit との違いは、habit は「個人の癖のようになった習慣」を表し、custom は

① 「社会・集団の固定した習慣(慣習)」

② 「個人の固定した習慣」≒habit ☞ この意味では habit の方が一般的。

を指す。

(ex) We should keep[follow, observe] up an old custom.

昔からの慣習を守るべきだ

the custom of shaking hands 握手する習慣

It is her custom[habit] to jog a little before breakfast.

朝食前に少しジョギングをするのが彼女の習慣です

また「(お店等に)慣れ親しむこと → (お店等への)愛顧、引立て、ひいき」、また「(お店等に)慣れ親しんでくれている人 → 顧客、取引[得意]先」という意味になります。

④ custom は集合的に「顧客」という意味を表す。一人一人の「顧客」は customer と言う。

(ex) Thank you for your custom. 御引立ありがとうございます

He lost his custom. 彼は得意客を失った

また形容詞として「ひいきの顧客の注文の → あつらえの、オーダーメイドの、特別注文の、注文品を扱う」という意味にもなります。

④ 「あつらえの」は custom-made、made-to-order とも言う。逆に「既成の」は ready-made と言う。

(ex) a custom tailor 注文服の仕立屋

custom clothes[suit] 注文服

customs で「関税」「税関」という意味にもなりますが、これには以下のような由来があります。

昔(中世の時代)、田舎や漁師町に住む農民・漁民が都市部に産物を売りに行くと、その度ごとに(都市に入って物を売るための)通関税を払わなければなりません。毎日同じ道を通って都市に入り出店することが習慣であり、その度に習慣的に決まってお金を徴収されるのが通関税で、それが customs となり、今では関税(外国から輸入する貨物に対して賦課する租税)が customs と言われるようになったのです。また税関(港・空港・国境などで、関税等の賦課・徴収、輸出入貨物の取り締まりなどを行う部署)も (the) Customs と言います。

(ex) pay customs on wine ワインの関税を払う

pass[get through, go through] (the) Customs 税関を通過する

a Customs officer 税関の役人

(38)date

date の『核』のイメージは「日付(を示す・与える)」です。

會自動詞の場合は「日付が示されている(与えられている)」が『核』のイメージ。
まず名詞の date の「日付」「年月日」「日時」「日取り」という意味は、『核』のイメージ通りですし、大丈夫かと思えます。

(ex) The date of my son's birth is Jan. 10, 1999.

うちの息子の生年月日は1999年1月10日です

會date は「年月日、月日、日、年」について用いる。「月」だけについては用いない。

What's the date today? 今日は何日ですか

=What date is it today?

會曜日についてきく場合、つまり「今日は何曜日ですか」は What day (of the week) is (it) today? という。

また「時代」という意味にもなります。

(ex) A lot of paintings of very early date were discovered.

多くの古い時代の絵画が発見された

The church is a building of Elizabethan date.

その教会はエリザベス朝の建物だ

これ以外に「会合の約束(-appointment)」、あるいは会話などでは「デート」「デート相手」という意味で用いられたりもします。

(ex) I have[make] a date for dinner with my client at noon.

クライアントと正午に会食の約束がある[をする]

My daughter went out on a date. 娘はデートに出かけた

She doesn't hesitate to keep her date waiting.

彼女は平気でデート相手を待たせる

それ以外では date を用いた決まり文句をおさえておきたいですね。

①bring A up to date: 「A(物)を最新のものにする」

「A(人)に最新の情報を与える」

(ex) My teacher brought us up to date on what is happening in the Middle East.

先生は私達に中東で起こっていることについての最新情報を教えてくれた

②out of date: 「時代遅れで[の]、旧式で[の]、期限切れで[の]」

(ex) Such expression is out of date now.

そのような言い回しは今はもう時代後れだ

☞go[become] out of date で「時代後れになる」。

This driver's license is out of date. and you can't drive a car.

この免許証は期限が切れているので、車の運転はできません

③to date: 「今まで(の)、今日まで(の)」

(ex) This movie is his best work to date.

この映画は現在までの彼の最高傑作だ

④up to date: 「最新(式)の」

「現代的な」

「最新の情報を載せてある」

(ex) This PC is up to date. このパソコンは最新式です

date が動詞として使われた場合、他動詞では「日付を示す(与える)」が『核』のイメージとなり、そこからまず「(手紙・書類等に)日付を入れる」「~の年代を測定【推定】する」という意味が生まれます。

(ex) The letter is dated June 1, 2011.

その手紙の日付は、2011年6月1日となっている

The researchers dated the bone to about 10,000,000 years ago.

研究者らは、その骨を一千万年前のものと推定した

自動詞の場合、date は **date from A(時・歳・年)** という形で用いられることが多く、その場合「Aの日付がある」「Aに始まる」という意味になります。

(ex) The document dates from July 1. その文書は7月1日の日付になっている

This university dates from the late 13th century.

この大学は13世紀後期に始まる

更に **date back to A(時代・年)** で「Aに(起源が)さかのぼる」という表現もあります。

(ex) The castle in our city dates back to the Age of Civil War.

私たちの町の城(の建設)は、戦国時代までさかのぼる

日本語で「デートする」とよく言いますが、アメリカの口語で date を同じ意味で用いることはあります。

(ex) She has been dating a handsome young man.

彼女はハンサムな青年とデートしている[付き合っている]

(39)decline

decline の『核』のイメージは「下に傾く」です。

◎「de(下に)+cline(傾く)」が語源。

「下に傾く → 傾く、下り坂になる」という意味があります。

(ex) The mountain road declined sharply. その山道は急な下り坂になった

The sun declined toward the west. 太陽が西に傾いた

「数・量・値段が下に傾く → 減る、下がる」という意味にもなります。

(ex) The birthrate is rapidly declining in Japan.

日本では出生率が急速に低下しつつある

「勢いが下に傾く → 勢いがなくなる、衰える」という意味にもなります。

(ex) My father's health is declining slowly. 父の健康は徐々に衰えて来ている

以上の decline は名詞としてそれぞれ「衰微、衰え、減退」「低下、(価格の)下落」「晩年」「下り坂」「墮落」といった意味でも用いられます。

(ex) He lived in Paris in the decline of his life. 彼は晩年パリに住んだ

a sharp decline in the stock market 株式相場の急落

The birthrate is on the decline. 出生率は下がっている
the decline and fall of the Roman Empire ローマ帝国の衰亡

decline には「拒む」「辞退する」という意味もありますが、これは「下に傾く → 下に顔を背ける → 避ける → 拒む、辞退する」となったと見るといいでしょう。

(ex) He declined to say more about it.

彼はそれについてそれ以上話すのを断った(拒んだ)

She declined his invitation to dinner with thanks.

彼女は彼の夕食の誘いを丁重に辞退した

④ decline は「(丁重に)辞退する」、refuse は「断固として拒否する」。

(40) deliberate

deliberate の『核』のイメージは「慎重に(誤差のないように)計る」です。

④ 「de(強意)+liberate(秤にかける)」が語源。

「物事を慎重に計る → 慎重に考える → 熟慮する」という(動詞の)意味が生まれました。

(ex) They are deliberating upon[about] the problems of education.

彼らは教育問題について熟慮していた

He was deliberating what to do next.

彼は次に何をなすべきか熟考中だった

また「物事を慎重にはかる → 慎重な」という意味の形容詞としても用いられます。

(ex) She is deliberate in everything she does. 彼女は何をするにも慎重だ

「慎重な → ゆっくりとした、落ち着いた」という意味でも用いられます。

(ex) He walked with deliberate steps. 彼はゆっくりとした足取りで歩いた

そして「慎重に(誤差のないように)計る」ということは、「行動を起こす前に前もってよく考える → 計画的な → 計算された、意図的な、わざとの」という(形容詞の)意味が生まれます。

(ex) deliberate murder 謀殺(計画的殺人)
deliberate lie たくらんだうそ
deliberate tax evasion 計画的脱税

(41)derive

derive は語源からイメージした方が簡単です「de(下に)+rive(=river 川、流れる)」で「下に流れてくる」ということです。

◎river を語源とする他の語としては rival がある。「ライバル」は「川の利用権を争っている人」が語源で、そこから「競争者、対抗者、好敵手」となったのだ。

derive from A で「Aに由来する、Aが起源である」という意味がありますが、上記の『核』のイメージがつかめれば、「Aから下へと流れてくる → Aに由来する」と簡単にその意味を覚えられますね。

(ex) This word derives from Greek.

この語はギリシア語に由来する(から出ている)

derive A from B で「BからAを引き出す、得る」という意味がありますが、これは「B=(川の)水源」「A=流れ出た結果」と考えるといいでしょう(from を「←」を表す記号と見るといい)。そしてこの表現では、「Aを引き出す」「Aを手に入れる」行為に力点があります。Aには「利益・楽しみ・安心・知識」等が来るのが特徴です。

(ex) She derived pleasure from reading. 彼女は読書から楽しみを得た

He was able to derive a lot of profit from the business.

彼はその仕事から多くの利益を得ることができた

(42)discharge

discharge の『核』のイメージは「(詰め込まれていたものを)外に出す」です。

◎「dis(反対・逆)+charge(積み込む) → 荷を降ろす」が語源。charge の項(「語感で覚える重要英単語」67ページ)も参照してみよう。

まずはその語源通りの「(人・荷物を)降ろす」という意味があります。

(ex) The taxi discharged its passengers at Nagoya Station.

タクシーは名古屋駅でお客を降ろした

They discharged the cargo from the ship. 彼らは船から荷を降ろした

=They discharged the ship of the cargo.

これ以外の discharge の意味をではまとめてみましょう。

① 「(～から人)解放する」「(人)解雇する、追放する」

會「拘束・雇用していた状態から外に出す → 解放する、解雇する」。

(ex) They discharged the criminal from the prison. 彼らは囚人を釈放した

He was discharged from the hospital. 彼は退院を許された

Mr. White was discharged from his post. ホワイト氏は解任された

② 「(義務・約束等を)果たす」

會「義務・負債を出し終える → 義務を果たす、負債を完済する」。

(ex) The secret agent fully discharged his duty.

そのスパイは義務を完全に果たした

I discharged my debt. 私は借金を払い終わった

③ 「(悪口等を)発する」「(物を)放出する」

會「詰め込んでいた不満・物を外に出す → 不平を言う、(物を)放出する」。

(ex) He discharged his discontent upon his parents.

彼は両親に不満をぶちまけた

The chimney discharged smoke. 煙突から煙が出ていた

The river discharges its waters[itsself] into the bay.

その川は湾に注いでいる

④ 「(弾・ミサイル・矢等を)発射する、放つ」

會「装填されていた弾等を外に出す → 発射する、放つ」。

(ex) The criminal discharged a rifle[gun] at the policeman.

犯人は警察官に向けてライフル[銃]を発砲した

(43)draft

draft の『核』のイメージは「引く」です。

元々の由来は「漁船が網を引く」ことにあります。

會そこから転じて「一網の漁獲高」という意味にもなる。網を引いて魚が積まれた結果船が重くなる。そこから「喫水(船が水中に沈み込む部分)」という意味も生まれた。

これ以外にさまざまな「引く行為」「引かれたもの」を draft は表します。具体的には以下になります。

①「下書き、線画、設計図」「草案(稿)」

會「線を引くこと → 下書き、線画、設計図」また「草案(稿)」という意味が生まれた。動詞として「下絵(書き)を書く、草案を書く」という意味にもなる。

(ex) He made a draft for his speech. 彼は演説の草案を作った
a draft for the engine[plane] エンジン[飛行機]の設計図

②「(牛・馬等が車を)引くこと」

(ex) beasts of draft 荷車用の牛馬

③「(酒類の)樽抜き」

會樽から酒を引き出すこと。ドラフトビールの draft は「加熱殺菌されていない生のビールを樽から抜き(取り)出す」こと。

(ex) We have beer on draft at this bar. このバーには生ビールを置いています

④「ひと飲み(の量)」

會水を胃袋に引き入れること。

(ex) He had a draft of water. 彼は水をひと飲みした
He drank a glass of wine at a[one] draft .
彼はコップ1杯のワインを一飲みで飲んだ

⑤「徴兵、招集」「選抜隊」

會若者を兵士として軍隊に引っ張ること。動詞としても用いられる。

(ex) a draft system 徴兵制度
Young men were drafted into the army.
若者達は徴兵されて兵役に就いた

⑥ 「(スポーツの)ドラフト制度」

會良い選手を自分のチームに引っ張ること。

⑦ 「(資金・食料等の)調達」

「手形、小切手」

會「手形、小切手」とはお金を引き出すもの。

(ex) a draft for ¥100,000 on UFJ bank

UFJ銀行払いの100,000円の為替手形

⑧ 「すきま風」

會引っ張られるように吹く風。

(44)element

element の『核』のイメージは「最も重要な本質(構成要素)」です。
そこから「(構成)要素」という意味が生まれます。

(ex) Diligence is an important element of success.

勤勉は成功の重要な要素だ

それから **be in one's element** で「自身を構成する要素の中にいる → 自分の本領を發揮できる」という慣用的な表現もあります。

(ex) He is in his element when talking economics.

彼は経済学の話をする時本領を發揮する

「複雑な総合体の構成要素 → 少数分子」そこから **an element of ~** で「少量、気味」といった意味でも用いられます。

(ex) the criminal elements in society 社会の犯罪分子

an element of surprise ちょっとした驚き

There is always an element of humor in what he says.

彼の言うことにはいつもユーモアがいくぶんこめられている

また「物質を構成する要素 → 元素」という意味にもなります。

(ex) Iron and oxygen are elements. 鉄や酸素は元素である
Hydrogen is lighter than any other element.
水素は他のどの元素よりも軽い

「自然界を構成する基本要素 → (the elements で)風・雨・寒さ等の)自然力、風雨
悪天候」という意味にもなります。

(ex) We were exposed to the elements. 私達は風雨にさらされた
a war of the elements 大暴風雨

また「学問の基本を構成する要素 → (学問の)初歩、(芸術 科学などの)基本、基本
原理」という意味にもなります。

(ex) He didn't even know the elements of statistics.
彼は統計学の基本さえわかっていなかった

この意味の element の形容詞形は elementary で elementary school と言えば「小
学校」のことです。

ちなみに elemental と言うと「要素[元素]の][基本[本質]的な][自然(力)の」
「ものすごい、絶大な」という意味になる。

(45)ever

ever の『核』のイメージは「いつでも」です。

たとえば evergreen と言えば「いつでも緑色 → いつまでも枯れない → いつまで
も新鮮な」という意味になります。

會同じように everlasting は「いつまでも長持ちする → 永遠な(の)」。

まず肯定文で用いられる『核』のイメージに近い用法の ever。

(ex) She was as kind as ever. 彼女は相変わらず親切だった

會「いつでも → いつも」。「いつもと同じくらい → 相変わらず」となる。

更にこの『核』のイメージから ever の他の用法を一つ一つ攻略していきましょう。

①[否定文で not を伴って]「全く～ない」=never

①「いつでも～ない → いついかなるときも～ない → **一度も～ない**」となる。

(ex) I haven't ever been to a foreign country.

私は外国に一度も行ったことがありません

①not ever は never で言い換え可能だが not ever と言った方が強意的となる。

②[疑問文で]「**これまでに、今までに、それまでで、これから**」

①「過去・未来のいつでも」ということ。

(ex) Have you ever been to a foreign country?

これまでに外国に行ったことがありますか

①「過去のいつのことでもいいのですが、外国に行ったことがありますか」ということ。

Shall we ever meet again? またいつかお会いすることがありますでしょうか

①「未来のいつでもいいのですが、またお会いできますでしょうか」ということ。

③[if節内で]「**いつか**」「**いずれ**」

(ex) Drop in on us if you are ever in London.

ロンドンにおいでになることがあったらお立ち寄りください

①if節内で「いつでも」から転じて「いつか」「いずれ」という意味になる。

④[比較構文で]「**今まで(に)**」

(ex) She worked harder than ever. 彼女は今までよりも熱心に働いた

ever は「いつでも」から転じて**強意・強調の副詞**として用いられることもあります。そのような例をいくつか挙げてみましょう。

(ex) My mother has been ill ever since the end of last year.

母は昨年の末からずっと病気です

①ever since は since の強調。

Jim hardly ever reads books. ジムはめったに本を読まない

①hardly[scarcely] ever は(頻度に関して)「滅多に～ない」という意味。

I seldom, if ever, go to church. 私はごくまれにしか教会に行きません

①if ever は seldom(めったに～ない)を強調・補足している。if ever を文

の形に戻せば even if I ever go to church となる。

How ever did you solve the problem?

一体どうやってその問題を解いたのですか

會疑問詞直後に置かれ、その疑問詞を強調する。「一体(全体)」等と訳す。

Japan will play an ever more important part in the world.

日本は世界でますます重要な役割を果すことになるだろう

會比較級の前に置かれ、その比較級を強調する。「更に、いっそう、ますます」等と訳す。

(46)exclude

exclude は語源から考えてみましょう。「ex(外に出して)+clude(閉じる)」が語源です。そこから「排除する」「締め出す」「除外する」という意味が生まれたのです。

會実 は clude は close と同じ。だから「閉ざす、閉じる」なのだ。これがわかると、同じ要領で「結論付ける」という意味の **conclude** は「con(共に)+(口を閉ざす) → 議論を終える → 結論を出す」となったとわかる。

include は in(中に入れて)+clude(閉ざす)で「含める、含む」。**including** は「～を含めて」。

seclude は se(離して)+clude(閉ざす)で「～を引き離す、閉じ込める」。

seclusive は「引っ込みがちな」。

※separate の se も同じ意味の接頭辞。

preclude は pre(前を)+clude(閉ざす)で「遮断する」。

(ex) Reporters were excluded from the scene.

報道陣はその現場から締め出された

In this case we cannot exclude the possibility of cancer.

この場合ガンの可能性は除外できない

He was excluded from the club for the scandal.

彼はスキャンダルを理由にクラブから除名された

この exclude の形容詞形が exclusive です。一つ一つその意味を見ていきましょう。

- ① 「排他的な、(施設等が)非開放的な」「選ばれた人だけが入れる」
「(グループ等が)特定の仲間以外とのつき合いを好まない」
會特に上流階級の人としか交際しない場合に用いる。
(ex) an exclusive club (入会資格の厳しい)高級会員制クラブ
- ② 「独占的な」「専用の」
(ex) exclusive rights 独占権
an exclusive interview (新聞・雑誌等の)独占インタビュー
- ③ 「(互いに)相容れない」
(ex) These two arguments are mutually exclusive.
この2つの議論は互いに相容れない
- ④ 「もっぱらの」「唯一の」
(ex) You should give your exclusive attention to the matter.
この問題にだけ注意を向けなさい
- ⑤ 「(店等が)高級の」「(商品等が)他では見られないような」
(ex) an exclusive resort hotel 高級リゾートホテル
- ⑥ 「～を除いて」「～を勘定に入れないで」 ⇔ inclusive
(ex) No.100 to No.200 exclusive 100番と200番は除いて100番から200番まで
- ⑦ [exclusive of A] 「Aを除いて」
(ex) The price of the article is \$100, exclusive of tax.
その品の値段は税を別にして100ドルだ

(47) face

face の『核』のイメージは「顔(を向ける)」です。
そこからまず名詞として以下のような意味が生まれました。

- ① 「表面」
(ex) the face of the sun[the moon] 太陽[月]の表面
- ② 「面子(めんつ)」

(ex) We suffered a loss of face. 我々は面目を失った

㊦lose (one's) face で「面目を失う」。save (one's) face なら「面目を保つ」となる。

もちろん上記以外に「顔」という『核』のイメージそのものの意味が face にはあることは誰でも知っているので、それはここでは割愛します。

次に動詞の face です。

① 「(建物等が～の方向に)向いている」

「(建物等が場所に)面している」

㊦「～の方向・場所に顔(=正面)を向けている → ～に向いている、面している」。

(ex) My house faces the park. 私の家は公園に面している

The house faces (to the) south. 家は南向きだ

He couldn't see me because he was facing the other way.

彼は別の方を向いていたので私が見えなかった

② 「(人・危険等に)臆せず立ち向かう」 =confront

「(困難・いやな事に)直面する、直視[正視]する、向き合う」

「(問題等を)正面から話し合う」

㊦「危険・困難・問題・いやな事に顔を向ける → 立ち向かう、向き合う、直視する」。

(ex) He faced facts[troubles, death]. 彼は事実[心配事、死]に直面した

The girl was facing a fierce dog.

女の子は恐ろしい犬と向かい合っていた

③ [can't face doing~] 「～する勇気がない、～する気になれない」

㊦「～することに顔を向けることができない → ～する勇気がない」。

[can't face O doing~] 「Oが～するのを正視できない」

(ex) I couldn't face seeing her. どうしても彼女に会う勇気がなかった

④ 「(危険等が)～の身に迫る、現れる」

[A(人) is faced with B(災難)] 「AはBに直面している」

㊦「危険等と面と向かう(ことになる) → 危険等が身に迫る、現れる」。

(ex) A difficult problem faces him.

=He is faced with a difficult problem. 彼は難問に直面している

This species is faced with extinction. この種は絶滅に瀕している

ちなみに **face value** という以下の2つの意味になります。

① 「(貨幣・証券等の)額面価格」 =apparent value

② 「文字 [見かけ] どおりの意味」

(ex) I accepted[took] her statement at its face value.

私は、彼女の言葉を額面通りに受け取った(=信用した)

(48)fashion

fashion の『核』のイメージは「作る(こと)」です。

會語源は factory や fact 等と同じ。factory は「作る所 → 工場」、fact は「作られた(行われた)こと → 事実」となる。

fashion に「方法、やり方」という意味がありますが、これは「作ること → 作り方 → 方法、やり方、様式」となったと見るといいでしょう。way や manner で言い換えられます。

(ex) in this[the Japanese] fashion こんなふう(に)[日本風に]

I learned English in my own fashion. 私は自己流で英語を学んだ

The man spoke in a strange fashion. 彼女は変わった話し方をした

=The man had a strange fashion of speaking.

「ファッション」というおなじみの意味も、「ある時代・ある地域の服装・行動などの様式 → 流行・流行り・ファッション」となったのです。

(ex) Young people tend to follow the fashion.

若者は流行を追いかけがちだ

It is not easy to set a[the] fashion.

流行を作り出すのは容易ではない

Mini skirts are in fashion again. ミニスカートがまた流行している

會in fashion で「流行している」。come into fashion は「流行し出す、

はやる」、go out of fashion は「流行しなくなる、すたれる」となる。

She's (all) the fashion. で「彼女は売れっ子だ」といった言い方もある。

fashion は動詞としても用いられ、「～を作る」という意味になります。

(ex) Tom fashioned a doll from a piece of wood. トムは木片で人形を作った

The experience of war fashioned the young man into a pacifist.

戦争体験がその若者を平和主義者にした

會上例は比喩的に「～を形成する」という意味で使われている。

(49) fine

fine の『核』のイメージは「終わり」です。finish、final 等と語源が同じ語なのです。「終り → 最後のもの、完成した → 申し分ない、見事な」と意味が発展したのです。ここから以下のような fine の持つ肯定的な意味が生まれました。

① 「立派な、見事な、すばらしい、美しい」

(ex) He is a fine musician [novelist, artist].

彼はすばらしい音楽家 [小説家・画家] だ

② 「(天気が)晴れた、好天の」

(ex) It's a fine day, isn't it? いい天気ですね

fine weather 晴天

③ 「元気で、健康で、快適な」

(ex) A: How are you? ご機嫌いかがですか

B: I'm fine, thank you. 元気です。おかげさまで

④ 「洗練された、上品な」

(ex) Mrs. Green has fine manners. グリーン夫人はマナーが洗練されている

⑤ 「細かい、細い」

會 「すばらしい → 仕事・物が緻密な → 細かい、細い」となった。

(ex) fine sand [dust, powder] 細かい砂 [ほこり、粉]

⑥ 「(混じり物がなく)純良な、精製した」

(ex) fine gold 純金

fine には「罰金」という意味の名詞があります。これも『核』のイメージから読み

解けます。つまり「(違反等を)金銭の支払いによって終わりにすること」ということです。

(ex) I paid a \$100 fine[a fine of \$100] for speeding.

私はスピード違反で100ドルの罰金を払った

また fine は「罰金を科す」という動詞としても使われます。

(ex) They fined her £5 for speeding.

彼女はスピード違反で5ポンドの罰金を科せられた

會fine A(人) B(金額) (for+動) で「Aに(～の理由で)Bの罰金を科す」。

He was fined for speeding. 彼はスピード違反で罰金を科せられた

(50)force

force の『核』のイメージは「(他者に作用を及ぼす)力、強さ」です。
そこから以下のような意味が生まれました。

①「(物理的な)力、力の強さ、勢い」

(ex) the force of gravitation[gravity] 重力

electric force 電力

The two cars bumped against each other with great force.

2台の車がものすごい勢いでお互いにぶつかった

②「(人間の肉体的・精神的)力、体力、腕力」「気力」「暴力」

(ex) He pulled the rope with all his force. 彼はカー杯ロープを引いた

a man of force and determination 気力と決断力のある男

by[with] force and arms 暴力によって

They used force to get into the house. 彼らは力づくで家に押し入った

③「支配力、影響力(を持つ人[物])」「(議論などの)説得力」「(文章などの)迫力」

(ex) an argument without much force あまり説得力のない議論

the force of public opinion 世論の力

He is a dominant force in the company. 彼はその会社の一大有力者だ

from force of habit 習慣から、いつもの癖で

There is force in what he says. 彼が言うことには説得力がある

④ [the force] 「軍事力」「兵力、武力」「勢力」

[the forces / the Forces] 「軍隊」「部隊」「艦隊」

(ex) the Air Force 空軍

ちなみに陸軍は the Army、海軍は the Navy。

⑤ 「(訓練を積み統率された)集団、団体」「一団、一隊」

(ex) the (police) force 警官隊

a force of doctors and nurses 医者と看護婦の一団

a member of the sales force 販売(部門)の一員

the labor force of a country 一国の労働者総数

⑥ 「(法律等の)効力、強制力」「施行、実施」

(ex) come into force (法律が)効力を発す、施行される

bring[put] a law into force 法律を施行する

in force (法律などが)有効で

また force は動詞としても用いられ以下のような意味になります。

① 「力(ずく)で~させる → 無理やり~させる」

(ex) I forced him to do the work. 私は彼に無理やりその仕事をさせた

☞ force O to do[彫]~、あるいは force O into doing~ で「無理やりOに~させる」。

I was forced to sign the paper. 私は書類に署名せざるを得なかった

☞ be forced to do[彫]~ で「~せざるを得ない」。

② 「力(ずく)で~させる → 無理やり押し付ける、強要する」

(ex) Don't try to force your opinion on me.

あなたの意見を押しつけないでください

③ 「力(ずく)で~する → 無理やり~する、手に入れる」

(ex) He forced a door[lock]. 彼はドアを押し破った[錠をこじ開けた]

I forced my way through the crowd.

私は無理に人込みをかきわけて進んだ

☞ force one's way で「無理やりかき分けて進む」。

He forced the window open. 彼は窓をこじ開けた

The police forced a confession from him.

警察は彼を無理やり白状させた

She forced a smile[tears]. 彼女は無理に笑った[泣いた]

余談ですが fort(とりで、要塞)も force と語源が同じです。『核』のイメージは「強いもの」。確かに「要塞」は強固な作りで敵の侵入を阻止する施設ですね。

(51)fortune

fortune の『核』のイメージは「偶然、幸運」です。

そこからまず「運」「(将来の)運勢、運命」「幸運」という意味があります。

(ex) I tried my fortune. 運だめしをしてみた

By good fortune she was not hurt. 運よく彼女は無傷だった

I will tell your fortune. あなたの運勢を占ってあげましょう

He had fortune on his side. 彼は幸運に恵まれていた

ちなみに「占い」のことを fortunetelling、「占い師」のことを fortuneteller と言います。

更に fortune は、「幸運をもたらしてくれるもの → 財産、富、大金」という意味が生まれました。

(ex) The man came into a fortune. その男は財産を得た

Mr. Lee made a[his] fortune from[by] investment.

リー氏は投資で財を成した

a man of fortune 財産家

(52)gather

gather の『核』のイメージは「一緒になる(する)」です。

そこから以下のような意味が生まれました。

- ① 「人・ものを一緒にする → 人・ものを集める、集合させる、かき集める」
 (ex) He gathered his children around him.
 彼は自分の周りに子供たちを集めた
 會以下のように自動詞として用いられると「一緒になる → 集まる」となる。
 (ex) gather around the fire 火のまわりに集まる
 A crowd gathered at the scene. 群集が現場に群がった
 Clouds are gathering in the west. 西の方に雲が出てきた
- ② 「果実・作物等を一緒にする → 果実等を摘む、採集する、作物を収穫する」
 (ex) They gathered (in) crops. 彼らは作物を取り入れた
 The girl gathered the apples in the basket.
 少女はリンゴを摘んでかごに入れた
 I gathered her some flowers. 彼女のために花を摘んでやった
 =I gathered some flowers for her.
 會gather A(人) B(果実) で「AにBを摘んでやる」。
- ③ 「速度・勢力等を一緒(一つ)にする → 速度・勢力を増す、加える」
 (ex) gather speed スピードを増す
 gather experience 経験を積む
 gather great wealth 巨万の富をためる
 The dusk is gathering. 夕やみが迫っている
- ⑤ 「情報等を一緒(一つ)にする → ~を推測する、理解する」
 (ex) What did you gather from his remark?
 君は彼の言葉から何を得ましたか
 I gather that they'll agree with us.
 彼らは私たちと同意見だと思う
 會gather that S+V~ で「~であると推量する」。
- ⑥ 「精力・知恵・思考等を一緒(一つ)にする → 集中する、(勇気を)奮い起こす」
 (ex) He gathered all his energies to move the stone.
 彼はその石を動かそうと精一杯の力を出した

そう言えば「ギャザースカート」は胴回りにひだを(一緒に)寄せ集めたスカート」のことですね。英語では gathered skirt と言います。

また **gathering** は gather の名詞形。そうすると gathering の以下の意味も簡単に
もうつかめることでしょう。

①「集まり、会合」

會「一緒になる(集まる)こと」ということ。

②「群集」

會「一緒になった(集まった)人々」ということ。

(ex) a large gathering of people 多くの人の集まり
a social gathering 懇親会

③「採集、収穫(集)」

會「一緒にする(集める)こと」ということ。

(ex) food gathering 食物採集

(53)given

given はもちろん give の過去分詞形ですが、以下のような意味で用いられることが
あるので要注意です。

まず形容詞として「定められた、一定の、既知の、特定の」という意味があります。
これは given が「与えられた」という直訳から転じて上記のような意味となったと
見るといいでしょう。イコール表現として particular などが挙げられます。

(ex) within the given time 定められた時間内に
at any given time いつでも
in any given place どこにでも
under a given condition 与えられた条件のもとで

ちなみに **given name** は「(親に)与えられた名前 → (個人の)名前」という意味です。
first name とも言います。名字は family name、last name 又は surname と言いま
す。

次に given は「前置詞」「接続詞」としての用法があります。つまり前置詞として
「**given A(名)**」、接続詞として「**given (that) S+V~**」という形で

「~と仮定して」

「～を考慮に入れると」

「～があれば」

という意味になることがあるのです。

(ex) Given that the diameter is 30cm, find the circumference.

直径を30センチとして、その円周を求めよ

Given her inexperience, she's done a good job.

経験がないことを考えれば、彼女はよくやったよ

Given the chance, he will do his best.

チャンスがあれば、彼は全力を尽くすだろう

これらは元々 If[when] S is[are] given … だったものが、分詞構文となって If [when] S is[are] 部分が省略されたと考えられると理解できるでしょう。

最後に **be given to A** で「Aにふける、Aの癖がある」という意味があります。

(ex) My husband was given to drinking. 夫は酒を飲んでばかりいた

I was much[so] given to daydreaming. 私には空想癖が大いにあった

They were given to violence. 彼らはいつも暴力に訴えた

これは give oneself to A(自分自身をAに与える → Aに身をまかせる、委ねる)の受動態と見るといいでしょう。

(54)handle

handle の『核』のイメージは「手で握る・つかむ(もの)」です。

まずカタカナ英語にもなっている「ハンドル」、つまり「取っ手、柄(え)」という意味がありますが、まさにこれは手でつかむものそのものですね。

會ただし、自動車の「ハンドル」は (steering) wheel、自転車の場合は handlebar と言うので注意。

(ex) the handle of a cup カップの取っ手

その handle が比喩的に用いられ、「物事の最初のつかみ所 → きっかけ、つけ込む機会、手がかり、口実」といった意味にもなります。

そして handle は動詞としても用いられますが、まず『核』のイメージ通りの「～を

手で握る、触れる」という意味があります。

(ex) Please do not handle the machine with wet hands.

濡れた手でその機械に触らないでください

そこから比喩的に転じ「～を手でつかむ → 扱う、操縦する、処理する、論じる」といった意味にもなります。

「(物・道具・機械等を)を扱う、操縦する」

(ex) The machine I bought the other day is difficult to handle.

先日購入したこの機械は扱いにくい

「(人)を扱う、遇する」

(ex) They handled us carefully. 彼らは我々を丁寧に扱った

「(事・問題等)を(うまく)処理する」

「(問題・議論)を論じる」 =discuss

(ex) It is difficult to handle the matter. その問題を処理するのは難しい

(55)hang

hang の『核』のイメージは「(上から下に)～をたらす・ぶら下げる」です。

會自動詞の場合は「(上から下に)たれる・ぶら下がる」が『核』のイメージとなる。

活用は hang - hung - hung.

まず他動詞の hang ですが、『核』のイメージ通りの「～をつるす、下げる、掛ける」「～を掛けて飾る」という意味があります。

(ex) He hung his hat on the hatrack. 彼は帽子は帽子掛けに掛けた

She hung curtains at the window. 彼女は窓にカーテンを掛けた

Children hung the cage from the eaves. 子供達は鳥かごを軒からつるした

hang one's head で「自身の頭をたらす → 頭を垂れる、うなだれる」という意味になります。

(ex) At the time I hung my head in shame.

その時私は恥ずかしくてうなだれた

「人の首をロープにつるす → 絞首刑にする、人を首吊りにする」という意味にもなります。その場合は hang - hanged - hanged という活用になります。

(ex) The criminal was hanged for murder. 犯人は殺人罪で絞首刑になった

The politician committed suicide by hanging himself.

その政治家は首つり自殺をした

Ⓜここから転じて、この hang は「～を地獄に落とす」という意味でよく会話などで用いられる。

(ex) Hang it all! こんちくしょう!

Hang you! くそくらえ、ちくしょう!

=Be hanged!

Well, I'm hanged! これは驚いた!

I'll be hanged if I know. 知っていたまるもんか(全然知らない)

Grammar be hanged! 文法なんかくそくらえだ!

また「～を…にぶら下げる → ～を…に引っかける[加える・取り付ける]、(責任・罪等を)…に着せる、なすり付ける」といった意味になることもあります。

自動詞の hang は、「(上から下に)たれる・ぶら下がる」から、まず「～に掛かっている」「ぶら下がっている」等の意味になります。

(ex) There was a world map hanging on the wall in the room.

世界地図がその部屋の壁に掛かっていた

Icicles were hanging from the roof of the house.

つららが家の屋根に下がっていた

The stockings were hanging loosely on my legs.

ストッキングはずり下がってしまっていた

Ⓜ「たれる → ずりさがる」。

「(花などが)頭を垂れる → しおれる」「絞首刑になる、首を吊って死ぬ」という意味にもなります。

(ex) The flowers in the garden hung down due to the hot sun.

暑さで庭の花はしおれた

The prisoner hanged yesterday.

その囚人は昨日絞首刑になった／その囚人は昨日首をつって死んだ

Hang in there! で「(あきらめずに)最後までがんばれ!」という激励の意味がありますが、これは「(最後まで)その状況の中にしがみついている → **頑張れ**」となったのです。

また **hang on one's lips[words]** で「~の言うことを熱心に聴く」という意味がありますが、これは「~の口[言葉]に接触してずっとぶら下がっている → **熱心に聞く**」となるわけです。

— hang+α —

④hang+αは

①「αの状態でぶら下げる、たらす」 ☞他動詞の場合。

②「αの状態でぶら下がる、たれる」 ☞自動詞の場合。

という意味になる。

(1)**hang down** … 「~を下に(down)ぶら下げる → ①~をぶら下げる〔他〕 ②ぶら下がる〔自〕」という意味になる。

(2)**hang on** … 「~に接触して(cn)ぶら下がっている → ①~にしがみつく、寄り掛かる〔他〕 ②~に頼る、依存する、~によって決まる〔他〕 ③(人の言うことを)熱心に聞く〔他〕 ④頑張る〔自〕 ⑤ちょっと待つ、(電話等を)切らずにおく〔自〕 ⑥(病気等が)長引く、なかなか直らない〔自〕」という意味になる。

(3)**hang out** … 「~を垂らして[垂れて]外に出す・出る(out) → ①外側にだらりとたれる〔自〕 ②身を乗り出す〔自〕 ③(旗・洗濯物等を)外に出す〔他〕」という意味になる。

(4)**hang over** … 「~を覆って(over)垂れる → ①~の上に漂っている〔自〕 ②(危険等が)~に迫っている〔自〕 ③(不安等が)~を苦しめる〔自〕 ④身を乗り出す、突き出る〔自〕 ⑤未決定のままである、続いている〔自〕」という意味になる。

④「~を苦しめる」から転じた名詞形の **hangover** は「二日酔い」という意味。

(5)**hang at** … 「~の所で(at)宙ぶらりんの状態にいる → (場所で)さまよう、

ぐずぐずする〔自〕」という意味になる。

(6) **hang about [around]** … 「～の周辺で (about [around]) ぶら下がっている →

- ① 近くにいる、うろつく、ぐずぐずする〔自〕
- ② (人)につきまとう(人と)付き合う〔自〕 ③ (病気・悪天候等が)長びく〔自〕 ④ 待つ、中断する〔自〕」という意味になる。

(7) **hang back** … 「うしろでぶら下がっている → ① (～を)嫌がる、躊躇する

- 〔自〕 ② 人の後ろからのろのろついて行く〔自〕 ③ 居残る〔自〕 ④ ～を元あったところに掛ける〔他〕」という意味になる。

(56) hot

hot の『核』のイメージは「熱い(暑い)」です。

そこから以下のような意味が生まれましたが、中にはカタカナ英語としても使われる意味があるので、類推も容易かと思います。

① 「(味が)ぴりっとする、辛い、ひりひりする(ような)」

「(色・臭い等が)強烈な、どぎつい」

(ex) This curry is too hot. このカレーは辛すぎる

hot pepper よくきくコショウ

② 「激しい、熱烈な」「(行動等が)熱を帯びた」「(人が)怒りっぽい」「興奮した」

(ex) a hot struggle 激戦

hot words 激しい言葉

I had a hot argument with my brother over the matter.

私はその問題で兄と激論をたたかわせた

She got hot with rage. 彼女はかんかんに怒った

She has a hot temper. 彼女は怒りっぽい

He is hot on baseball. 彼は熱烈な野球ファンだ

- ③ 「(ニュース・話題等が)新しい、最新の」 「ほやほやの、出たばかりの」
「(人・商品等が)人気のある、流行の」
「(本・映画等が)わくわくさせる、センセーショナルな」
「(ジャズ演奏が)熱狂的な、即興的な、ホットな」

(ex) hot news 最新のニュース

a book hot from[off] the press 出版されたばかりの本

- ④ 「(技術等が)優れている、秀でた」

(ex) a hot driver 腕のいい運転手

- ⑤ 「(電話等が)急用の」

☞カタカナ英語でも「二つの国の政府首脳間を結ぶ緊急連絡用の直通通信線」のことを「ホットライン」と言う。英語でもこれは hot line。

また副詞として「熱く」「激しく」「怒って」という意味にもなります。

合成語で hot-blooded と言うと「熱烈な、情熱的な」「血気にはやる」「怒りやすい」といった意味になります。

(57) identify

identify の『核』のイメージは「〜と同じと見る」です。
そこから以下のような意味が生まれました。

- ① 「(人・物が)誰[何]であるかわかる」

「(人・物を)確認する、認定する」

☞「AはBと同じだと見る(認める)」ということ。

(ex) The body has been identified as Jeff Brown.

死体の身元はジェフ・ブラウンと確認された

☞as は「イコール記号」と考えるといい。

She identified her fountain pen by the flaw on it.

彼女は付いている傷で自分の万年筆だと確認した

The police soon identified the criminal.

警察はすぐに犯人がだれであるか見分けた

② 「(人・物・事を)~と同一視する、同一のものとみなす」

「(人・物・事を)~と結びつけて考える」

會「AはBと同じもの(人)だと見なす(考える)」ということ。identify
A with B という形で用いられることが多い。

(ex) He identified himself with the middle class.

彼は自分は中流階級だと考えた

③ 「(物の存在を)つきとめる、発見する」

「(物が)~の身元を明らかにする」 ☞「~」には「人」が入る。

會「同一であるとみなした結果、~だと特定する、つきとめる」ということ。

(ex) The scientist finally identified the gene responsible for the disease.

学者はその病気の原因となる遺伝子をついにつきとめた

His uniform identified him as a policeman.

制服で彼が警察官だとわかった

④ [identify (oneself) with A] 「Aに賛同(共感)する、Aを支持する」

「Aと行動を共にする」

會「自分自身がAと同じ(考え・気持ち)だとわかった結果、共感する、行動を共にする」ということ。

(ex) Which one of Japan's historical characters do you identify yourself with?

日本の歴史上の人物であなたは誰に共感を覚えますか

I identified with the hero in this movie.

私はこの映画の主人公になったような気になった

(58) idle

idle の『核』のイメージは「空っぽの、無駄な(役に立たない・価値のない)」です。

「仕事もしないで無駄な(価値のない)時間を過ごす → (人が)怠けている、怠惰な、のらくらしている、何もしない、暇な(あいている)」という意味が生まれます。
愈生来の怠け者(lazy)というより、単に仕事が無くてぶらぶらしているというイメージ。

(ex) Ted is an idle student. テッドは怠惰な学生だ
Most students spend many idle hours during the summer vacation.
大半の学生は夏休み中多くの時間をぶらぶらして過ごす

また idle は人だけでなく、「(機械・施設・金等が)使用されていない、動いていない」という意味にもなります。

(ex) idle machines 遊んでいる[遊休]機械
idle money 遊んでいる金

更に「役に立たない、無用の、無益な」「つまらない」「根拠のない」という意味でも使われます。

(ex) idle rumors つまらないうわさ
愈「役に立たない → 信憑性のない → つまらない」。
He always makes an idle attempt. 彼はいつも無駄なことをやろうとする
It will be idle to try to persuade him.
彼を説得しようとしても無駄だろう

idle はまた動詞として「(時間等を)怠けて過ごす、無駄に使う」という意味にもなります。

(ex) Don't idle away your time. 時間の浪費をするな

カタカナ英語の「アイドリング(idling)」も「エンジンを空転させる」という意味で idle に由来しています。

それから「アイドル歌手」という場合の「アイドル」は idol。これが「偶像(視される人・もの)」という意味です。動詞形は idolize で「~を盲目的に崇拝する、心酔する、~を偶像化する」という意味になります。

(59) implement

implement の『核』のイメージは「満たす(一杯にする)」です。

罫 「im(中を)+ple(満たす)+ment(方法・もの)」が語源。

まず動詞として「(計画・契約・法律等を)実行する、果たす」という意味がありますが、これは「計画等を行動で満たす → 実行する」となったのです。

(ex) Once in office, the politician failed to implement his campaign promises.

ひとたび公職に就くと、その政治家は公約を果たさなかった

また名詞として「道具・用具・器具」「[implements] 家具一式」という意味がありますが、これらは「部屋・仕事を満たすもの」ということです。

(ex) farm implements 農具

writing implements 筆記用具

(60) institution

institution の『核』のイメージは「中に立っているもの」です。

罫 「in(中に)+stitute(立てる)+ion[名詞語尾]」が語源。

まず「社会の中に立っているもの → (大学・銀行・病院・刑務所等の)施設・機関」という意味があります。

(ex) an educational institution 教育機関、学校

a philanthropic institution 慈善団体

a mental institution 精神病院

a public institution 公共機関

そして「社会の中に立って(長く存在して)いるもの → しきたり、制度、慣行」という意味があります。

(ex) English political institutions 英国の政治制度

the institution of the family[marriage・slavery] 家族[結婚・奴隷]制度

また「社会の中に打ち立てること → 設立・(制度・法律等の)制定・創立・導入」という意味があります。

(ex) Some people objected strongly to the institution of the new law.
一部の人々はその新しい法律の制定[導入]に猛反対した

(61) invalid

invalid の『核』のイメージは「(力が)弱い」です。

①「in(否定)+valid(強い)」が語源。

まず「(体力が)弱い → 病弱な(人)、病人(向きの)」という意味になります。

②形容詞又は名詞になる。発音は[invalid]。

(ex) He has an invalid sister. 彼には病弱な妹がいる
an invalid diet 病人向きの食事

動詞として「(病気で)動けなくする」「病人として扱う」という意味もありますが、こちらの頻度はそう高くありません。

(ex) Since she was invalided by old age, she spent all her time in her room.
年老いて病弱になっていたので、彼女はずっと自室に閉じこもっていた

また「(論拠が)弱い → 根拠が薄弱な(がない)、説得力がない」「(法的根拠が)弱い → (法的に)無効な」という意味になります。

③この意味では形容詞のみ。発音は[invalid]。また反意語は valid で「正当な根拠のある」「(法的に)有効な、合法の」。

(ex) an invalid argument 根拠薄弱な言い分
The judge ruled the contract invalid. 裁判官はその契約は無効と裁定した
My passport was cut of date and invalid.
私のパスポートは期限切れで無効だった

(62) letter

letter の『核』のイメージは「(手書きの)文字」です。
実際、letter には「文字」という意味があります。

(ex) an initial letter 頭文字

in capital[small] letters 大[小]文字で

There are 26 letters in the English alphabet.

英語のアルファベットは26文字である

They carried out the plan to the letter.

彼らは計画を寸分違わず実行した

會 to the letter で「正確に、文字どおりに」という決まり文句。

そしておなじみの「手紙」という意味も生まれました。

會 「(手書きの)文字で書かれたもの」ということ。

(ex) I wrote a letter to her the other day and she answered it.

先日彼女に手紙を書いて、彼女はそれに返信してくれた

また letters で「文学」「学問」「学識」「文学的素養」「文筆業」という意味になることもあります。

(ex) art and letters 文芸

a man of letters 文学者、著述家

the profession of letters 著述業

(63) level

level の『核』のイメージは「水平」です。

『核』のイメージ通りの(「水平」という)意味が、名詞の level にはあります。

(ex) He brought the top of the table to a level.

彼はテーブルの表面を水平にした

形容詞として「水平な」「平らな」という意味にもなります。

(ex) This shelf is not level. この棚は水平になっていない
We walked on a level road. 私達は平坦な道を歩いた

更にそこから転じて「(水平面の)高さ」「(ある高さの)平面」という意味にもなりません。

(ex) 3,000 meters above (the) sea level 海拔3000メートル(の所で[に])
Keep it at your eye level. 目の高さになるようにそれを保ちなさい
=Keep it at the level of your eyes.

形容詞として「(〜と)同じ高さで」「(程度等が)同等で、同水準で」という意味にもなります。

(ex) a level race 互角のレース
The top of this tree is level with the roof.
この木のとっぺんは屋根と同じ高さだ
a level tablespoon of salt 大さじすり切り1杯の塩

また比喩的に「能力・程度等のある一定の同じ高さ → (知的・道徳的な)水準」「(達した)程度、段階、レベル、量」という意味にもなります。これがカタカナ英語にもなっているおなじみの「レベル」です(「水平 → 水準」と発展したわけです)。

(ex) at local[national] level 地域[国家]的段階で
at[on] a deeper level より深い段階で
Korea is well-known to the world for its high level of education.
韓国は教育の程度が高いことで世界によく知られている
Her violin playing is on a professional level.
彼女のバイオリン演奏はプロ並みだ

形容詞として「むらのない、均等な」「平静で分別のある」という意味にもなります。
愈「色・量・程度・思考が水平な → 偏(かたよ)りがない、均等な、冷静な」。

(ex) They kept a level head in a crisis. 彼らは危機に冷静を保った

そして level は動詞として用いられると「水平にする(なる)」が『核』のイメージとなり、以下のような意味が生まれます。

①「平らにする」「起伏をなくす」

① 「でこぼこな面を水平にする」。

(ex) We leveled the field before planting.

私達は植え付けの前に畑の地ならしをした

② 「(建物等を)取り壊す、解体する」「(人を)打ち倒す」

① 「建物・人を水平にする → 倒す」。

(ex) They leveled a building to[with] the ground. 彼らは建物を倒した

③ 「～を平等にする」「(差別等を)取り除く」「(調子・文体等を)一様にする」

① 「差別等を水平にする → なくす」。

(ex) He made efforts to level all social differences.

彼はあらゆる社会的差別をなくすべく努力した

④ 「(銃等を水平に)構える」「(非難等を)浴びせる」

(ex) The hunter leveled his gun at the deer.

猟師はその鹿に銃のねらいをつけた

He leveled severe criticisms against the government.

彼は激しく政府を批判した

(64) life

life の『核』のイメージは「生命(存)」です。

そこから以下のような意味が生まれました。非常に多様に意味が広がるので、しっかり整理しましょう。

① [不可算] 「生きていること、生命」 ⇔ death

(ex) He gave his life for his son. 彼は息子のために死んだ

How did life first begin? 生命はどのようにして始まったか

② [不可算] 「(集合的に)生物、生き物」

(ex) He majors in animal life. 彼は動物を専門に研究している

There is no life on the Mars. 火星に生物はいない

- ③[可算]「一生、生涯」
 「(物の)寿命、耐用[有効]期間」
 (ex) The life of this car engine is very long.
 この車のエンジンの寿命はとても長い
 They have known each other all their lives.
 彼らはずっと前から知り合いです
- ④[不可算。形容詞がつけば a ~ life も可]「生活、暮し(方)」「生き方」
 (ex) I love country life. 私は田舎の生活が好きだ
 She led[lived] a happy life with her son.
 彼女は息子と幸福な生活を送った
 ④lead[live] a ~ life で「~な生活を送る」。
- ⑤ [通例 lives]「(死者と対比して)人、人命」
 (ex) Many lives were lost in the fire. 火事で多くの人が死んだ
- ⑥[不可算]「活気、生氣、元氣、快活」
 「(生物の)活動、動き」
 「不可欠なもの(事)」
 (ex) a face bright and full of life 晴れやかで生氣がみなぎった顔
 take life 活気を帯びる
 She is all life. 彼女は元氣そのものだ
 Nuclear industries were the life of the area.
 原子力産業はその地域の生命[地域にとって不可欠な存在]だった
- ⑦[不可算]「活力源、生氣を与えるもの」
 [the life]「(~を)はなやか[にぎやか]にする人[物]」
 「(~の)中心人物、原動力」
 (ex) Photography is his life. 写真は彼の生きがいだ
 Sally was the life (and soul) of the party.
 サリーはパーティーの花形だった
- ⑧[不可算]「人生、この世に生きること」
 「現世」
 「世間」

(ex) Life is but a dream. 人生は夢にすぎない

◎この but は副詞で only と同じ意味。

You've seen nothing of life. おまえはまったく世間を知らないのだ

He made his name[mark] in life. 彼は世間で名を上げた(なした)

this life この世 ⇔ the other life あの世

⑨[不可算] 「(美術作品のモデルや主題となる)実物(実像)、本物」

(ex) as large as life 実物大の =life-size

This picture is painted from life.

この絵は実物のモデルを使って描かれたものだ

⑩《イディオム》

(1)[cannot~for the life of A(人)] 「どうしても~できない」

(ex) I can't for the life of me remember her address.

どうしても彼女の住所が思い出せない

(2)in life 1. 「生前、存命中」 2. 「この世で」

(3)That [Such] is life. 「人生とはそういうものだ」

=Life is like that.

(4)This is the life. 「これが人生というものだ、最高の気分だ」

(5>true to life 「本物そっくりの」

(6)life story 「伝記」

◎単に life でもいい。

(65)lift

lift の『核』のイメージは「~を上を持ち上げる」です。

◎自動詞の場合は「(上)に持ち上がる」が『核』のイメージとなる。

持ち上げるものは「物」だけでなく、「手・頭・目等」、また「人、人の地位・境遇等」、あるいは「気持ち・感情等」のこともあります。

(ex) The stone was too heavy for me to lift.

その石は重すぎて私には持ち上げられなかった
He lifted (up) his eyes to them. 彼は彼らを見上げた
She lifted her arm to say good-bye to him.

彼女は彼に手を上げて別れを告げた
By hard work, Mr. Brown lifted himself out of poverty.

ブラウン氏は一生懸命働いて貧困から脱した
The morning sunlight lifted my spirits. 朝の日光が私を元気づけた

☞「気持ち・精神を持ち上げる → 元気づける」。
The mist soon lifted. もやはまもなく晴れた
When my wife smiled at me, my black mood lifted.

妻がほほえんだので私の沈んだ気分も晴れた

lift は名詞としても用いられ、「持ち上げる[がる]こと」「(人を車に)乗せること、
乗せてもらうこと」「昇進、出世」「(精神の)高揚」といった意味で用いられます。
また「(スキー場の)リフト」、イギリスでは「エレベータ」という意味でも用いられ
ます。

☞アメリカでは「エレベータ」は elevator を用いる。

(ex) He gave the rock a lift. 彼はその岩を持ち上げた
Give me a lift in your car. 君の車に乗せてくれないか
The good news gave her a lift. その良い知らせに彼女は元気が出た

lift は、「持ち上げる」から転じて「~を持ち上げて取ってやる」つまり「(制限・
禁止等を)解除する」「(負担・責任等を)取り除いてやる」という意味にもなります。

(ex) All trade barriers between the two countries should be lifted.
二国間の全ての貿易障害は撤廃されなけれべきだ
The government lifted the ban on sales. 政府は販売禁止を解除した
You had better lift a burden from her shoulders.
彼女の肩の荷をおろしてあげた方がいい

(66) likely

likely の『核』のイメージは「~しそうな(ありそうな)」です。

そこからまず形容詞の以下のような意味が生まれました。

①[S is likely to V[動]~] 「Sは~する可能性がある、~しそうだ」

[It is likely that S+V~]

(ex) My grandpa is likely to live to ninety. 祖父は90歳まで生きられそうだ
=It is likely (that) my grandpa will live to ninety.

②「ありそうな、本当らしい」

(ex) The students made up a likely excuse for being absent.
その生徒は欠席のもっともらしい言い訳をでっち上げた

③「(~するのに)適当な、格好の」

④「本当にありそうな → まさにぴったりの → 格好の」。

(ex) This is a likely place for a picnic.
ピクニックにはここはもってこいの場所だ

④「有望な、見込のある、成功しそうな」 =promising

(ex) He is a likely young man. 彼は前途有望な青年です

次に副詞として以下のような意味が生まれました。

①「たぶん、おそらく」 =probably

(ex) Most[Very] likely, she will refuse the offer.
彼女はおそらくその申し出を断るだろう
He will likely be home tomorrow.
彼はたぶん明日は家にいるだろう

②likely as not 「たぶん、十中八九」

=more likely than not

(67)long

long の『核』のイメージは「長い(く)」です。

とはいえ形容詞の「長い」という long についてはほとんどの日本人は大丈夫でしょうから、形容詞の long を用いた慣用的な表現をまとめてみましょう。

①It will not be long before S+V～。「まもなく～するだろう」

(ex) It won't be long before he can speak English. won't=will not

すぐに彼は英語を話せるようになるだろう

②It was not long before S+V～。「まもなく～した」

(ex) It was not long before I realized the trick.

まもなく私はその計略に気付いた

①②の It～before は before long で言い換えられる。before long の long は名詞。

③Don't be long! (1)「ぐずぐずするな」 (2)「早く帰ってきて」

それから尺度で「縦が…」という場合、形容詞の long が使われます。

(ex) The board is two meters long. この板は縦が2メートルある

次に副詞の「長く」「長い間」という long の例をいくつか挙げてみましょう。

(ex) I have long wanted to see her.

私は長い間[前々から]彼女に会いたいと思っていた

①この long は for a long time で言い換えられる。

I'm very sorry to have kept you waiting so long.

長い間お待たせしてすみません

We played tennis all day long. 私たちは一日中テニスをした

②all と long がセットで「～の間中」という意味になる。

副詞の long を用いた慣用表現も紹介しておきましょう。

①So long! 「さようなら、じゃまたね」 =Good-bye

①親しい間で用いる。あまり長い別れには使わない。

②not ~ any longer 「もはや～ない」 =no longer

(ex) You are no longer a child. 君はもう子供ではない

I cannot wait any longer. もうこれ以上待てない

③as[so] long as S+V～

(1)「～する限り、～する間は」 [時] =while S+V～

=for as long as S+V～

(ex) As long as he's here, I'll have more work to do.

彼がここにいる限り私の仕事がふえるだろう

(2) 「～(し)さえすれば」【条件】 =if only S+V～

◎この as long as S+V～ は if only S+V～ と異なり、仮定法では用いない。

(ex) I don't care as long as you are happy.

あなたが幸せでありさえすれば私はかまわない

◎as long as には以下のような用法もある。

as long as A(時を表す名詞) 「Aの間、Aもの長い間」

(ex) She waited for him as long as five years.

5年もの間彼女は彼を待った

次に動詞の long ですが、long for A で「Aを切望する」「Aに憧れる」という意味があります。これは「(Aが欲しくて)長く感じる → 今か今かと待ちわびる → 切望する」となったのです。

◎「首を長くする(長くして待つ)」といった日本語からイメージするのも面白いかもしれない。

(ex) We are longing for the vacation. 我々は休暇を待ち焦がれている

She longs for your return.

彼女はあなたが帰ってくるのを待ちこがれています

この long は不定詞を目的語にとって、long to do[願]～ で「～することを切望する」という語法もあります。

(ex) I'm longing to hear from you. あなたからの便りをお待ちしております

(68) lose

lose の『核』のイメージは「失う(なくす)」です。

そこから以下のような意味が生まれました。

- ① 「(～を)失う、なくす、紛失する、落とす、置き忘れる」
 「(能力・体重・信用・興味・バランス等を)失う、維持できなくなる」
 (ex) I have lost my key[briefcase]. かぎ[書類鞆]をなくしてしまった
 ㊦lose の活用は lose - lost - lost.
 I lost my father when I was seven. 私は7歳のとき父を亡くした
 I lost my job as the bubble (economy) burst. バブル崩壊で失業した
 He lost the sight in an accident. 彼は事故で失明した
 Her face lost (its) color. 彼女の顔から血の気が失せた
 She has lost much weight. 彼女はとてもやせた
- ② 「(時間・労力・機会等を)無駄にする、浪費する」
 「損をする」
 (ex) I lost the chance of going abroad. 私は外国へ行く機会を逃した
 You have no time to lose. ぐずぐずしてはいられないよ
 We lost on that job. 我々はその仕事で損をした
- ③ 「(勝負等に)負ける、破れる」 ⇔ win
 (ex) The team lost the match to the Yankees by a score of 4-0.
 そのチームはヤンキースに4対0でその試合に負けた
 The party lost out in the election. その党は選挙で敗れた
- ④ 「(道・人等を)見失う、迷う」
 (ex) I lost his way in the dark. 暗がりで見失った
 ㊦lose one's way で「道に迷う」。be lost で「道に迷った、途方に暮れた」。
 The police lost her in the crowd. 警察は人込みの中で彼女を見失った
- ⑤ 「(～を)聞き損なう、見落とす、理解し損なう」
 (ex) I did not lose a word of what the teacher said.
 私は先生の言うことを1語も聞き漏らさなかった
 His voice was lost amid the cheers of spectators.
 彼の声は観客の声援の中でかき消された
- ⑥ 「(時計が)遅れる」 ⇔ gain
 (ex) The clock loses ten seconds a day. その時計は1日10秒遅れる
 My watch neither gains nor loses. 私の時計は進みも遅れもしない

⑦[lose oneself in A / be lost in A] 「Aに没頭する、Aにふける」

(ex) He was lost in his thought. 彼は瞑想にふけていた

She lost herself in a comic book. 彼女は漫画本に夢中になっていた

☞lose oneself / be lost で「道に迷う」「途方に暮れる、困り果てる」

という意味になることもある。

(ex) He lost himself in the woods. 彼は森の中で道に迷った

I was lost without my glasses.

眼鏡がなくてどうにもならなかった

⑧[be lost on[upon] A] 「Aには無駄である、Aには理解されない」

(ex) My hints were lost upon him. ヒントを与えても彼には無駄だった

My joke was lost on him. 私の冗談は彼に通じなかった

lose の過去分詞の lost の意外な意味としては「負けた」「死んだ」「破[死]滅した」「滅びた」「忘れ(去)られた」「(もはや)顧みられない」といったものがあります。

(ex) a lost battle 負け戦

a lost suit 敗訴

lost ships 難破船

a lost plane 損失した航空機

a lost article 遺失物

a lost-and-found office 遺失物取扱所

a lost city 忘れられた町

We gave up him for lost. 我々は彼を死んだものとしてあきらめた

☞give up A for lost で「Aを死んだものとしてあきらめる」。

(69)maintain

maintain の『核』のイメージは「保つ(維持する)」です。

そこから以下のような意味が生まれました。

① 「(人がある状態・行為等を)維持する、続ける、保つ」 =keep up A

(ex) Japan has maintained friendly relations with America.

日本はアメリカと友好関係を保ってきた

The bus maintained a speed of 60 miles an hour.

バスは時速60マイルを維持した

② 「(人が家族等を)養う、扶養する」 =support A

(ex) You are old enough to maintain yourself.

お前はもう自活してもいい年頃だ

He maintained a wife and three children on his small salary.

彼はわずかな給料で妻と3人の子供を養った

③ 「(人が意見等を)支持する、擁護する、守る」 =support A

會「意見等を心に保つ → 意見を支持する、擁護する」。

(ex) We maintained his opinion. 我々は彼の意見を支持した

You should maintain your rights. 君は自分の権利を守るべきだ

④ 「(手入れをして物を)保存する」 =keep A

「(物を)整備[保守]する」

會「良い状態で物を保つ → 保存する、保守する」。

(ex) This apartment house is well maintained.

このアパートは手入れがよく行き届いている

=This apartment is kept in good condition.

③ 「(人が~を[~だと])主張する、断言する」

會「意見・考えを心に保つ → その結果それを口にする → 主張する」。

Oには名詞以外にthat節もくる。また maintain O to be C で「OはCだと主張する」といった構文もある。

(ex) He maintains her innocence. 彼は彼女の無罪を主張している

=He maintains her to be innocent.

=He maintains that she is innocent.

(70)manage

manage の『核』のイメージは「うまく動かす・扱う(動かして・扱って処理する)」

です。

そこから以下のような意味が生まれました。

①「(事業・店・家等を)管理する、経営する」 =run

「支配する」 =control

「(チーム等の)監督をする」

(ex) The hotel is badly managed. そのホテルは管理が行き届いていない

He manages a business[firm]. 彼は事業[会社]経営している

His wife manages the big house.

彼の奥さんがその大きな家を切り回している

②「(機械・乗り物等を)操縦[運転]する・扱う」「(馬等を)御する・扱う」

「(人等を)うまく使う・扱う」

(ex) My big brother can manage the machine. 兄はこの機械を動かせる

Can you manage my horse? 私の馬をうまく乗りこなせますか

Alice knows how to manage her husband.

アリスは夫の扱い方を心得ている

③[canを伴って]「~をどうにかやり遂げる」

(ex) Nancy could manage a smile. ナンシーは何とか笑って見せることができた

④[manage to do[願]~]

(1)「どうにかこうにか~できる」「何とかうまく~する」

(ex) I managed to be in time for the meeting.

私はどうにか会合に間に合った

(2)[皮肉に]「まんまと~する(してしまう)」

(ex) The enemy has managed to fall into the trap.

敵のやつまんまと罠にはまったぞ

⑤[canを伴って]「(食物等を)平らげる」

「~をうまく手に入れる」

(ex) Can you manage another drink? もう1杯飲めますか

I wish I could manage a week's holiday. 1週間の休暇がとれたらなあ

⑥[自動詞として]「どうにかやっていく」

「事を処理する、やりくりする」

(ex) A: Would you like any help? お手伝いしましょうか
B: No, I can manage. いいえ、何とかできますから

I think I can manage on my own. 人に頼らずにうまくやれると思います
How will he manage without money?
金なしで彼はどうやっていくのだろうか

英語で manager を辞書で調べると、「(芸能人の)マネージャー」はもちろん、「経営者」「支配人」「管理人」「主事」「理事」「幹事」「主任」「部長」「局長」「(劇場の)興行主」「(スポーツチームの)監督」…等、いろんな訳語が現れ苦労しますが、要するに manager とは、「その組織をうまく(切り盛りして)動かしている人」ということなのです。その動かしている組織によって和訳がそれぞれ異なるだけのことなのです。

(71)manner

manner の『核』のイメージは「手」です。カタカナ英語で「マナー」と言えば「礼儀、作法」のことですが、これは「(人前での正しい)手さばき」から来ています。

(ex) table manners 食事の作法

⚠ 「礼儀、作法」と言う場合、manners とする。table manner とは言わない。

It is bad manners to eat from a knife.
ナイフで食べるのは不作法だ

これ以外の manner についてもまとめてみましょう。

①[a/the manner] 「方法」 =way
「(～の)やり方」

⚠ 我々が何か物を取ろうとする場合、(手が届く範囲であれば)手でそれをつかんで取る。「手」というのは物を取るという目的を達するための「手段」であり「方法」だ。「手」を語源とする manner が way(方法)の意味で用いられるのもこんな所に由来する。日本語でも「別の手(=方法)を使おう」「手さばきが良い」等と言ったりするように「方法、やり方」が「手」で表されることがある。また「方法」の別の言い方として「手段」「手法」等があるが、

これらにも「手」という字が付く。このあたりの感覚は、洋の東西を問わないのだろう。

(ex) I have had a common manner of living[life].

私はこれまでありきたりの生き方をしてきた

He always treats her in a poor[friendly] manner.

彼はいつもひどい[友好的な]やり方で彼女を扱う

②[通例 one's/a manner] 「扱い方」

「(～に対する)態度、物腰」

會 これらも「方法」から派生した意味だ。以下の英文の「気取った物腰(態度)」も、言ってみれば「気取った(振る舞いの)仕方・やり方」ということだ。「扱い方」というのも、「人・物を扱うそのやり方・方法」のことだ。

(ex) He spoke to me in a polite[grand] manner.

彼は丁寧な[気取った]物腰で私に話しかけてきた

I don't like her cold[mean] manner toward old people.

年寄りに対する彼女の冷たい[意地悪な]態度が気に入らない

③[manners] 「(ある国民・時代の)風習、習慣、風俗」

會 これも「方法」に由来する。「風習・習慣」とは「長年に渡ってその国民や集団によって行われてきた物事のやり方・方法」のことだ。

(ex) He studies manners and customs of the Japanese.

彼は日本人の風俗習慣を研究している

④[通例 a/the manner]

(1) 「(芸術・文学などの)流儀、様式、作風」

「～風、～流」

「マンネリズム」

會 これも「方法」に由来する。「様式」「作風」「～流(風)」というのは、それ独自の「描き方、書き方、やり方」のことだ。

(ex) a painting in the manner of Picasso. ピカソ風の絵

(2) 「(個人の)癖、やり方」

會 これも「方法」に由来する。「癖」とは、「その個人独特の物事のやり方、

振る舞いの仕方」のことだ。

(ex) The man had a strange manner of speaking.

その男性は話し方に変な癖[なまり]があった

manner だけでなく、man(i)がつく語は「手」と関係があります。たとえば manicure。「マニキュア」とは(マニキュア液等を塗ったりして手の)爪の手入れをすることですが、これは mani(手の)+cure[=care:手入れ・保護] なのです。

ちなみに pedicure は「(足の)爪の手入れをすること」だが pedi が「足(の)」という意味。自転車で足を乗せるところをペダル(pedal)というが、同語源である。

そうすると manual が「手動の」という意味も連想がすぐわきます。

manipulate は、「**手を使って巧みに～を操る**」が『核』のイメージ。そこから「(問題・事件などを)巧みに処理する」「(人・世論などを)巧みに操る」「(計算・報告などを)巧みに操ってごまかす」という意味が生まれました。

(ex) The politician manipulated people's feelings.

その政治家は人々の感情を巧みに操った

He manipulated stocks and made illegal profit.

彼は株を操作して不正利益を上げた

The government tries to manipulate public opinion.

政府は世論を巧みに操ろうとしている

She can manipulate a large tractor.

大きなトラクターを巧みに運転できます

The foreigner manipulated his chopsticks.

その外国人は箸(はし)を上手に使った

He manipulated accounts[figures, books].

彼は勘定[計算・帳簿]をごまかした

(72)mark

mark の『核』のイメージは「**印(をつける)**」です。

そこからまず名詞として以下のような意味が生まれました。ものすごくたくさん意味があるように見えますが、『核』のイメージが理解できればこれらは全て一つにつな

がってくるはずです。

① 「(物についた)印、跡、痕跡」

「傷跡、あざ、ほくろ」

「汚点」

「斑点」

(ex) a mark of the lash むちの跡

the marks in the snow 雪につけられた足跡

a burn mark 焼け焦げた跡

② 「(衣服等につけた)目印、標章」

「(家畜等への)焼き印」

(ex) a mark of his noble rank 彼の貴族の紋章

③ 「(産地・所有者・品質等を表示する)図案、記号、マーク、商標」

(ex) a manufacturer's mark 製造元マーク

④ 「(境界標識等の)位置を示すもの、指標、目印」

(ex) a nautical mark 航路標識

a boundary mark 境界標識

⑤ 「(筆記・印刷用の)記号、符号」

(ex) a question mark 疑問符

⑥ [a/the mark] 「(人の感情・状態等の)印、兆候、証拠」

(ex) a mark of (old) age 老年(老いの)きざし

as a mark of respect 敬意のしるしとして

⑦ 「影響、感銘、印象」

☞ 「～によって心に刻まれた印」ということ。

(ex) The movie left [made] a mark on me. その映画は私に強い影響を与えた

⑧ 「(学業・行状等の)成績(評点)、点、点数」

☞ 「学業・行動において結果として残した印 → 成績、点数」。

アメリカでは grade を用いる。

「評価」

☞ 「ある結果に対して他者から付けられた印 → 評価」。

(ex) I got high[low] marks. 私は良い[悪い]点を取った
My teacher gave me high marks. 先生は私を高く評価してくれた

⑨ 「水準、標準」

(ex) This is above[under or below] the mark. これは標準以上[以下]です
會「ある基準を示した印 → 水準・標準」。

⑩ 「特色、特徴」

會「ある人・物に刻みつけられた印 → 特徴・特色」。
(ex) the mark of a politician 政治家の特徴

⑪ 「的、標的、(努力・希望等の)目標、目的」

會「目標として刻まれた印」ということ。
(ex) He aimed at the mark. 彼は的を狙った
I hit the mark. 私は的的中させた、私は成功した

⑫ 《イディオム》

(1) beside[beyond/off/wide of] the mark 「(弾丸が)的を外れた、見当違いの」

(2) On your mark(s)! 「位置について」

會スタートの合図。

(3) make one's mark 「成功する(名を成す)、目立つ」

會「成功する(名を成す)」は make one's name とも言う。

次に mark が動詞として用いられると「印をつける」がその『核』のイメージとなり、具体的には以下のような意味になります。

① 「(～に)印[跡]をつける」

「傷跡を残す」「汚点をつける」

(ex) mark cattle 牛に印をつけて所有を示す
mark one's tools with one's initials 道具に頭文字を入れる

② 「(～に)注意する、留意する、注目する」「(～を)見守る」

會「(忘れないように・あるいは大事なものとして)～に印をつける → ～に注意(注視)する、注目する」。

(ex) You should mark well what is said. 言われたことをよく注意すべきだ
We mark a new trend in foreign affairs.
我々は外交政策の新しい流れに注目(注視)している

③ 「(～を)表す、示す」

① 「印をつける → ～を印として残す → ～を示す、表す」。

(ex) It marked the beginning of a new era.

それは新しい時代の到来を示した(幕開けとなった)

④ 「(～を)特色付ける、(～の特徴を)はっきりと示す、目立たせる」

「(～を)記念する」「(～を)祝う」

① 「目立つように印をつける → 特色付ける、目立たせる」。

「特別にある一日を際立たせる → 祝う、記念する」

(ex) Today's ceremony marks the 100th anniversary of our school.

今日の式典は我が校の100周年を記念するものです

The year was marked by disastrous events.

その年は悲惨な事件によって特徴付けられた → 悲惨な事件が目立った

marked は形容詞化し、名詞の前に置かれて以下のような意味としても用いられます。

① 「著しい」「明らかな」 =remarkable

(ex) a marked difference[change] 著しい差異[変化]

Export volume has shown a marked increase. 輸出量は著しく増加した

The party was a marked success. パーティーは明らかに成功だった

② 「注意されている」「印[記号]を付けた」

① よくカタカナ英語でも「マークされている人物」等と言ったりする。

(ex) a marked man 注意人物

a marked card 印のついたカード

この marked の副詞形が **markedly** で「著しく、きわだって、明らかに」という意味になります。

① 発音は[mɑːrkiðli]。同意語は remarkably。

(73)mass

mass の『核』のイメージは「大きなかたまり」です。

そこから以下のような意味が生まれました。

①「かたまり」

「集まり、集団」

(ex) masses of clouds 雲のかたまり

a mass of dough[iron] パン生地[鉄]のかたまり

②[a mass of~ / masses of~]「多数の~、多量の~」

罎「大きなかたまりの → 多数の、多量の」。

(ex) a mass of letters 手紙の山

masses of treasure たくさんのお宝

③[形容詞的に]「多量の、集団の」

「大衆の」

(ex) a mass murder 大量殺人

④[the mass]「大部分、主要部」

罎「ある物・集団の中の大きなかたまり → 大部分、主要部」。

(ex) the (great) mass of Japanese people 日本人の大部分

⑤[the masses]「(一般)大衆、勤労者層、庶民」

罎「社会の中の大きなかたまり → 一般大衆、勤労者層」。

(ex) the elite and the masses エリート階級と一般大衆

⑥「大きさ、容積、かさ」

(ex) The great mass of the monument surprised me. 記念碑の巨大さに驚いた

動詞として用いられた場合「固まりになる → 集まる、群がる」という意味になります。

(ex) People massed along the streets to watch the parade.

人々はパレードを見ようと沿道に集まった

(74)material

material の『核』のイメージは「物質(に関わる)」です。

そこから以下のような意味が生まれました。

① 「物質」 =matter

「物」 =stuff

「原料、材料」

㊦ 「物質 → (一般的に)物 → 原料・材料」と発展する。

(ex) raw material(s) 原料

building materials 建材

② 「(洋服等の)生地」

「服地」

㊦ 「洋服の材料 → 生地、服地」。

(ex) dress[clothing] material 服飾材料

③ 「(～の)資料、データ」

「(本等の)題材」

㊦ 「議論・研究や本を書くための材料 → 資料、データ、題材」。

(ex) I have material against ycu. 私には君に反論する資料がある

the material for a poem 詩の題材

teaching materials 教材

㊦ 「教材」という意味では具体的に数えられるので可算名詞になる。

④ 「道具、用具」

㊦ 「あるものを作るための材料 → 道具」。

(ex) sewing materials 裁縫用具

material は形容詞としても使われます。その場合、以下のような意味になります。

① 「物質の」

「物質的な」 ⇔ spiritual

「具体的な」

(ex) material civilization 物質文明

② 「肉体上の」

「肉体的な、官能的な」

(ex) material delights 肉体的快樂

material needs 肉体上の必要物

㊦ 具体的には「食物・衣服等」を指す。

③ 「(～にとって)重大な、大切な」

會「(食物・衣服含めた)物 → 大切な」。

(ex) This data is material to the next argument.

このデータは次回の議論にとって重要だ

He has material evidence. 彼は重大な証拠を持っている

(75)matter

matter の『核』のイメージは「(重量・価値として)重みのあるもの」です。
そこから以下のような意味が生まれました。

① 「(現在問題になっている)事・事柄」「問題」 =affair

會「(価値として)重みのあるもの → 重要な事・事柄 → 問題」。

(ex) My mother is always interfering with private matters.

母はいつも私事に干渉してくる

We have some important matters to tell you.

あなたに伝えたいいくつかの重要な問題があります

a matter of life and death 死活問題

money matters 金銭問題

A: What's the matter (with you)? You look pale.

どうしましたか。顔色が悪いですよ

B: Nothing is the matter (with me).

別になんでもありません

Something is the matter with this PC. このパソコンはどこか具合が悪い

=There is something the matter with this clock.

②[matters]「事態」「状況」

會「今現在、価値として重みがあるもの → 今話題となっている事 → (現在の)事態・状況」。

(ex) Matters are different in Japan. 事情は日本では異なります

She is likely to take matters lightly[seriously].

彼女は事態を軽く[深刻に]考えがちだ

③[主に否定文・疑問文で] 「重要性」 =importance

會「(価値として)重みのあること → 重要性」。

(ex) It's no matter to me which wins or lose.

どっちが勝っても負けても私には大したことではない

=It makes no matter to me which wins or lose.

④「物質」 ⇔ mind 精神

「材料、物、要素、成分」

「～質、～体、～素」 修飾語を前に伴う。

會「(実体として)重みのあるもの → 物質」。

(ex) Matter and energy compose the universe.

物質とエネルギーが宇宙を構成する

foreign matter 異物

⑤《イディオム》

(1) as a matter of course 「当然、もちろん」

(2) as a matter of fact 「実際のところ、実は」

(3) to make matters worse 「更に悪いことには」

matter は動詞としても用いられ、その場合「(価値・重要度において)重みがある → 重要だ」「問題だ」という意味になります。通例 it や what 等を主語にとり、また疑問文・否定文・条件文で用いられることが多いのが特徴です。

(ex) It doesn't matter to me whether he will come or not.

彼が来るかどうかは私にはどうでもいい

=It makes no difference to me whether he will come or not.

It matters little what he does. 彼が何をするかは大したことではない

What matters most is whether you will carry out your duty.

重要なことは君が自分の義務を果たすかどうかだ

(76)mean

mean の『核』のイメージは「意味する」「心の中で本気でそう(しようと)思う・意

「**図している**」です。

そこから以下のような意味が生まれました。

①[mean O(名・doing・that節)] 「(物・事・言葉等が～を)意味する、表す」

(ex) What does this word mean? この語はどういう意味ですか

=What is the meaning of this word?

Keep out! That means you. 入るな。君のことを言っているのだ

That means running a risk. そんなことをすれば危険を冒すことになる

②[mean O (M)] 「(言葉等を)～のつもりで言う、意図する、～を指して言う・言おうとする」

「(～を)本気で言う」

會「心の中で本気でそう(しようと)思って言う、それを口に出す」ということ。

(ex) What do you mean by that? どんなつもりでそんなことを言うのか

會「文句あるのか」というニュアンスを含むことが多い。

He means (to you) that he wants your help.

(つまり)彼は助けて欲しいと(あなたに)言っているのです

I mean it[that]. 私は(それを)本気で言っているのです

=I mean what I say.

This was meant as a joke. これはほんの冗談のつもりだった

=This was just a joke.

③[mean to do[原形]～] 「(本気で)～するつもりである」 =intend to do[原形]～

[S mean O to do[原形]～] 「Oに～させる[してもら]つもりである」

[S is meant to do[原形]～]

「Sは～するためのものだ、～することを意図されている」

(ex) I meant to call on you, but I couldn't[didn't].

あなたをお訪ねするつもりでしたができませんでした

The criticism was meant to hurt him.

その批評は彼を傷つけるのが目的だった

④[mean A for B] 「AをBに与えるつもりである」

會「本気でBのためにAを意図している」ということ。

(ex) This present is meant for you. この贈物はあなたに差し上げたいのです

⑤[通例be meant]

(1) 「(人が～になる)運命である」

會「神・運命によって～することを意図されて(運命付けられて)いる」ということ。

(ex) They were meant for each other.

二人は運命によって結びつけられていた

會「彼らは運命によって互いに向かい合うことを意図されていた」ということ。

(2) 「(物が～であることを)意図されている」

會「人によって～されることを意図されている」ということ。

(ex) Is this drawing meant for[to be] him?

この絵は彼を描いたつもりですか

This book is meant for children. この本は子ども向けだ

⑥[mean A(物) to B(人)] 「BにとってAの重要性を持つ」

會「意味する → 意味がある → 重要である・重要性を持つ」。

(ex) The honor means a lot[a great deal, much] to him.

彼にとって名声は非常に大事だ

Money means everything[nothing, little] to her.

彼女にとってはお金がすべてだ[お金などどうでもよい]

それから mean は形容詞・名詞になると「中間(の)・並(の)」がその『核』のイメージになります。

まず形容詞についてです。

(ex) We took a mean position. 我々は中間的(中道的)な立場を取った

the mean monthly rainfall 月平均降雨量

會「中間の → 並の → 平均の」。

更に形容詞の mean は「並の → どこにでもある → 大したことはない → (質・程度が)劣った、(身形・外見が)みすぼらしい」と意味が派生しました。

(ex) a man of mean intelligence 頭の悪い人

a boy of no mean intelligence 知能の優れた少年

會no mean で「優れた」「かなりの」という意味になる。

a man of mean birth 低い生まれの男

mean streets 貧民街、裏町

a woman of mean appearance みすぼらしい姿の女

またそこから更に転じて「(人間的に)劣った → (性格等が)卑しい、はずべき、卑劣な、意地の悪い、けちな」という意味にもなります。

She is mean to me. 彼女は僕に意地悪をする

Don't play me such a mean trick. 私にそんないやがらせをしないでくれ
a mean fellow 卑劣なやつ

What a mean thing to do! 何と下劣なことをやるんだろう

They have a mean opinion of him. 彼らは彼を軽べつしている

She is mean with money. 彼女は金銭にきたない

名詞の場合、まず「中間」という意味があります。

(ex) I sought a mean between two extremes. 両極端の中間(中道)を求めた

そして名詞の mean は means となると以下のような意味になります。

①「手段、方法」 =way, method, fashion

① 単数形、複数形共に means。

②「(生活の手段としての)財産、資力、収入」 =income

② 常に複数扱い。

これらは一見全く無関係のように見えますが、よく考えれば両者共に、手に入れたいと思う際に「その(手に入れたい)目標・目的物と自分との中間にある(介在する)もの、仲介するもの」ですね。ここに「中間」という『核』のイメージが生きているわけです。そしてよく考えれば、「財産」というのも、生活をするための「手段」でもありますね。

(ex) There are[is] no means of catching the animal.

その動物を捕える方法がない

The end justifies the means. ② ことわざ。

目的は手段を正当化する、目的のためには手段を選ばず

Mr. Brown is a man of considerable means. ブラウン氏はかなりの資産家だ

You shouldn't live beyond[within] your means.

収入以上[収入相応]の生活をしてはいけない

I don't have the means to buy a new car.

新車を購入するだけのお金はない

最後に「手段、方法」という意味の means を用いたイディオムを紹介しておきましょう。

①by all (manner of) means

(1) 「必ず、ぜひとも」

(ex) You should by all means read the novel. ぜひその小説を読むべきだ

Have your friend Jim around to lunch by all means.

君の友達のジムをぜひ昼食に連れて来なさい

④by all possible means で「あらゆる方法によって」といった意味もあるので注意。

(2) 「ぜひどうぞ」「もちろんですとも」 =certainly

④承諾の返事。

A: May I call on you? お訪ねしてよろしいですか

B: By all means. ぜひどうぞ

②by any means

(1) 「どうにかして」

(ex) I want to marry her by any means. 何とかして彼女と結婚したい

(2)[否定文で] 「どうしても～ない」

(ex) My parents wouldn't by any means grant my wish to study abroad.

両親は私の外国留学の願いをどうしても聞き入れてくれなかった

③by means of A 「Aによって」「Aを用いて」

(ex) Mammals breathe by means of lungs. 哺乳類は肺で呼吸する

Mary showed color slides by means of a projector.

メアリーは映写機を使ってカラースライドを見せてくれた

④by no (manner of) means 「決して～(し)ない」 =not ~ at all

=not ~ by any means

(ex) It's by no means easy to master a foreign language.

外国語に熟達するのは決して容易でない

最後にもう一つだけ、「～を意味する」という動詞の mean について補足事項を説明

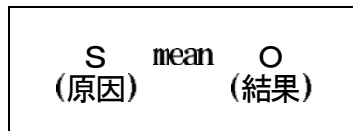
しておきましょう。まずこの英文ですが訳せますか？

(ex) Poor digestion means poor nutrition.

ちなみにdigestionは「消化」、nutritionは「栄養」です。「悪い消化は悪い栄養を意味する」ではなんともさまになりませんね。実は mean という動詞はその主語が「物事」を表す名詞だった場合、

「S＝原因」

「O＝結果」



の意味関係になることがあるのです。その場合(特に直訳で訳しづらい場合)には「Sが原因となってOが生じる(起こる)」などという訳をしてみるといいでしょう。上の英文でも

「消化不良＝原因」

「栄養不良＝結果」

という意味関係が成立しており、

「消化不良が原因となって栄養不良が生じる」

でうまく訳せてしまいます。他に例文をいくつかあげてみましょう。

(ex) This can mean drought. これは干ばつの前兆の可能性はある

上の英文は「これが原因となって(結果として)干ばつが起こる可能性がある」という意味だと分かります。

(ex) This bonus means that we can take a trip to Florida.

このボーナスが入ったのでフロリダへ旅行できる

上の英文は「このボーナスが原因となって、(結果として)私達はフロリダ旅行ができる」という意味だと分かります。

ただ場合によっては「S＝O」の意味関係になることもありますから注意は必要です。

(ex) Money means everything to them. 彼らにとって金は何より重要である

上の英文では「Money = everything」です。高校時代の文型の授業で、「SVOはS≠Oの意味関係になる」と習いましたが、この意味の mean はその例外と言えるでしょう。

(ex) She means the world to him. 彼女は彼にとってすべてだ

上の英文では「She = the world」です。

(77)merge & emerge

merge の『核』のイメージは「一つにする(なる)」です。

元々「水の中に飛び込んで潜る」が merge の語源で dive とよく似ています。あるものに飛び込んでもぐり込んだ結果として、「あるものと一つになる」わけです。

①他動詞の場合は「(別々のもの同士を)一つにする」となる。

①[A is merged in[into] B]「AはBと1つになる」「AはBに溶け込む、同化する」

(ex) My fear was merged in[into] curiosity.

私は好奇心のために恐怖を忘れた

Her sorrow was gradually merged in[into] anger.

彼女の悲しみはしだいに怒りに変わっていった

②「(2つの会社)を合併する、統合する」

(ex) They decided to merge the two branch offices into a single unit.

彼らは2つの支店を合併することに決めた

この merge に、接頭辞の e が付いたのが emerge です。e は「外に」という意味を表します。つまり emerge は merge(水の中に飛び込む)の逆。「(水の中から)外に飛び出す → 外に出てくる → 現れる」というなるわけです。

①「(暗所・低所等から)現れる、出てくる」

(ex) A plane emerged from behind the clouds.

飛行機が雲の陰から姿を現した

② 「(新事実等が～から)明らかになる」 「(問題等が～から)わかる」

[It emerges that S+V～] 「～ということが明らかになる」

(ex) No new clue emerged from the investigation.

その調査からは何も新しい手がかりが得られなかった

It emerged that the politician received a bribe.

その政治家がわいろを受け取っていたことが明らかになった

この emerge の親戚が **emergency** という名詞で、「突然現れたもの → 突発事件、緊急[非常]事態」という意味になります。

ちなみに emerge の直接の名詞形は **emergence** で「出現、発生」。

(ex) Please ring the bell in case of emergency.

万一の場合にはベルを鳴らして下さい

The government declared a state of emergency. 政府は非常事態を宣言した
an emergency door[exit] 非常口

(78)mind

mind の『核』のイメージは「考え(る)、記憶(する)、意図(する)」です。

この『核』のイメージからもわかるように mind は heart とはちょっと違います。

mind は body(肉体)に対する語で、人間の思考・感情・意志の働きをつかさどる部分を指し、中でも特に「思考・理解・記憶」等、知性的な部分を強調します。ですから「知性、知能」といった意味も mind にはあるのです。

(ex) He has a weak mind. 彼は知能が低い

それに対し heart は「心臓」が語源で、特に「情」を強調します。

(ex) She has a kind heart. 彼女は心が優しい

ついでに soul、spirit についても見ておくと、soul は肉体を離れても存在すると考えられる「霊(魂)」のことです。

もちろん soul が「精神(力)」「気迫」「熱情」「真髓」といった意味になることもある。

(ex) the souls of the dead 死者たちの霊

spirit は soul とほぼ同じ意味ですが、soul よりいっそう肉体からの独立を強調した語と言えます。肉体を持たない「精神」にも用います。

◎もちろん spirit で「気力」「気迫」「気分」といった意味になることもある。

(ex) the spirit of a law 法の精神

a forest spirit 森の霊

では『核』のイメージから発展した mind の様々な意味についてまとめてみましょう。

① 「(意識・思考・意志・感情の座としての)心、精神」 ⇔ body

(ex) She wanted peace of mind. 彼女は心の平安を求めている

Please compose your mind. どうか心を落ち着けて下さい

A sound mind in a sound body. 健全なる身体に健全なる精神(を)

◎ことわざ。特に教育の理想として掲げられる。

「ものの考え方[感じ方]」「気質」

(ex) a frame[state] of mind 気分

He has a logical mind. 彼は論理的にものを考えることができる

So many men, so many minds. 十人十色 ◎ことわざ。

② 「知力、知性」「思考力」 = head

⇔ emotion

(ex) He is a man of good mind. 彼は知性のある人です

What he said is beyond my mind. 彼の言ったことは私には理解できない

Use your fine mind properly.

あなたの良い頭を(道徳的に)正しく使いなさい

③ [通例a/cne's mind] 「意見、意向、考え」「本心、願望」「好み」

(ex) You had better change your mind. 考えを変えてみた方がいい

I read his mind. 私は彼の心を読み取った

public mind 世論

[cne's mind] 「注意、関心」

(ex) His mind is on baseball. 彼の関心は野球だ

④ 「記憶(力)」「回想」

(ex) from time out of mind (人の記憶にないほど)大昔から
He's trying to put the event out of his mind.
彼はその事件を努めて忘れようとしている
I can't get him out of my mind. 彼のことが忘れられない

⑤ 「正気」「平静、理性」

(ex) absence[presence] of mind 放心[平静]
awake to one's full mind 目覚めて気分がはっきりする、正気にかえる
She is out of her mind. 彼女は頭が変だ

⑥ 「(知性面からみた)人、(特に)優れた頭脳の持ち主」

(ex) the popular mind (集合的に)一般の人々
No two minds think alike. 人それぞれに考えが違う
The writer is one of the greatest minds of the time.
その作家は現代一流の知性人である

次に動詞の mind です。

① [通例命令文で] 「(人・物・事に)注意を払う、用心する」
「(人の話・忠告等を)注意して聞く、に従う」

(ex) Mind your step! 足元に気をつけて!
=Watch your step!
Mind you (that) you read questions twice.
いいかい、問いは必ず2度読むんだよ
㊦Mind you は「いいかい。よく聞きなさいよ」という意味。
Mind your parents' advice[words].
=Mind what your parents tell you.
ご両親の言うことをよく聞きなさい

② [通例否定・疑問文で] 「(～を)いやだと思っている、気にする」
「(人が～するのを)いやだと思う」

(ex) I don't mind your[you] smoking.
あなたがタバコをすってもいっこうにかまいません
=I don't mind if you smoke.
A: How do you like college life? 大学生活はどうだい
B: I don't mind it, but I do mind the expense.

まあ気に入っているんだが、費用が気になるよ
Do[Would] you mind if I smoke? たばこをすってもいいですか
=Do[Would] you mind my smoking?
I don't mind about that. そのことは気にしません

また **Do you mind?** で、いらだちを示して「やめてくれませんか」という意味になる
こともあります。

最後に mind を用いたイディオム(や決まり文句的なもの)をまとめておきましょう。

① **if you don't mind** 「よかったら、差し支えなければ」

(ex) Let me try if you don't mind. 差し支えなかったら私にやらせてください

② **mind one's own business** 「余計な口出しをしない」

(ex) A: What does she say in that letter? 彼女は手紙で何と言ってるんだい

B: Mind your own business. 余計なお世話だ

③ **mind you** 「いいか、よく聞けよ」

(ex) Mind you I've never been to a place like that.

いいかい、ぼくはあんな場所には1度として行ったことがないんだ

④ **Never mind.** 「気にするな」「どうってことはない」

⚠Don't mind. とは言わないので注意。

(ex) A: I lost my pen. ペンをなくしちゃった

B: Never mind; I'll buy you a new one.

気にするな、新しいのを買ってやるよ

⑤ **OO-minded** 「OOの気質の(な考え方をする)」

「OOに関心のある」 =OO-oriented

(ex) high-minded (心の)高潔な

evil-minded 邪悪な心の

a traditionally-minded Japanese 伝統的な考え方をする日本人

an open-minded attitude あけっぴろげな態度

mechanically-minded 機械いじりの好きな

politically-minded 政治志向の

a car-minded man 車に夢中の人

(79)nurse

nurse の『核』のイメージは「大切に世話する(育てる)」です。

會語源は「乳母」。nur は「乳を与える」という意味がある。nourish も同語源で「乳を与える → 育てる、栄養を与える」となった。

カタカナ英語で「ナース」と言えば「看護師」のことですが、看護師とは「病院で患者を世話する人」ですね。

(ex) Shall I call for the nurse? 看護婦を呼びましょうか

もちろん「乳母」「保母」「保育士」という意味も nurse にはあります。

會母親に代わって乳を飲ませる養育従事者は wet nurse。それ以外の保母や子守り専門の女性は dry nurse という。

(ex) The baby is (out) at nurse. その赤ん坊は乳母に預けられている

nurse は動詞として用いられると

- 「(～を)看護する、看病する」
- 「(赤ん坊に)乳をやる、授乳する」
- 「(幼児の)世話をする」

という意味でまず用いられます。

(ex) The mother nursed her sick son at home.

その母親は自宅で病気の息子を看護した

Nurse your cold. 風邪をお大事に

She is nursing a baby. 彼女は今赤ん坊にお乳をやっています

また「大切に育てる」から、以下のような意味にも派生します。

- 「(人・物・才能等を)大事に育てる」
- 「(～の)面倒を見る」
- 「(～を)大事に使う」

(ex) He nurses a young tree. 彼は苗木を育てている

Nurse the fire. 暖炉の火が消えないように注意しなさい

Villagers nursed their supply of water.

村人達は水の蓄えを大事に(少しずつ)使った

また赤ん坊の世話をすれば、当然赤ん坊を抱きますね。そこから比喩的に「(恨み・憎しみ・希望・愛情・考え等を)心に抱く」という意味も nurse には生まれました。

(ex) She has nursed her love[anger] for him.

彼女は彼に対する愛[怒り]を心にずっと抱いていた

He nursed the plan for a long time.

彼は長い間その計画を心の中に持っていた

(80)offense

offense の『核』のイメージは「～を傷つけること」です。

そこから「人の気持ちを傷つけること → (人の)気持を害する事[物]」更に「無礼、侮辱、いやがらせ、立腹」という意味が生まれました。

(ex) This is an offense to the ear[eye]. これは耳[目]ざわりな物だ

No offense (was meant). 悪気はなかったのです

If I gave you any offense, please forgive me.

何かお気に障ることをしましたらどうぞお許してください

She took offense at what I said. 私が言ったことで彼女は気を悪くした

He easily takes offense at trifles. 彼はつまらない事にすぐに立腹する

offense はまた「人を傷つける行為 → 攻撃」という意味にもなります。

(ex) Offense is the best defense. 攻撃は最大の防御なり

weapons of offense 攻撃兵器

a political offense 政治的攻撃

スポーツ用語でも「攻撃陣」のことを「オフense」と言いますね(英語でも offense という。ちなみに「守備陣」は defense)。

また「法・決まりを傷つける行為 → 罪、違反、反則」という意味でも用いられます。

(ex) a capital offense 死罪

a civil[criminal] offense 民事[刑事]犯

a traffic offense 交通違反

He committed an offense against the law. 彼は法律に違反した

この offense の動詞形が **offend** で「(～の感情を)傷つける、怒らせる」「(～に)不快感を与える」「(法・罪を)犯す、(～に)そむく」という意味になります。

(ex) Kim was deeply offended at his remarks.

キムは彼の言葉にひどく腹を立てていた

Those glaring colors offend the eye. あのぎらぎらした色は目障りだ

Those who offended for the first time were not punished.

初犯者たちは罰せられなかった

It offended against his principles. それは彼の主義に反していた

(81)once

once の『核』のイメージは「一度、一回」です。

そこから以下のような意味が生まれました。

まず副詞の once です。

①「一回、一度」

(ex) I've been to Europe once. ヨーロッパへ1度行ったことがある

②「かつて」

(ex) He once lived in New York. 彼は以前ニューヨークに住んでいた

會1.この意味では主に肯定文で過去の動詞と共に用いる。疑問文・条件文での「かつて」の意味は ever で表す。

(ex) Have you ever seen a panda? パンダを見たことがありますか

2.この意味では be動詞を除いて普通、動詞の前または文頭に置かれる。

動詞よりあとに置かれると「1度」「1回」の意になることが多い。

(ex) I read it once. 私はそれを1度読んだことがある

③《イディオム》

(1) more than once 「一度だけでなく、何回も」

- (2) once again 「もう一度」
- (3) once or twice 「二、三度」 =a few times
「何回か」 =once and again
- (4) once (and) for all 「(これを最後に)きっぱりと」
(ex) She gave up her attempt once for all.
彼女はきっぱりとその企てをあきらめた
- (5) once in a while 「ときどき」

次に名詞の once です。

- ① 「一回、一度」
(ex) Once is enough for me. 私には1度で十分だ
- ② 《イディオム》
- (1) at once
1. 「すぐに」 =soon
=right away
 2. 「一斉に、同時に」
(ex) Don't everybody talk at once! みんな一度に話すな
- (2) all at once 「突然、だしぬけに」 =suddenly
=all of a sudden
- (3) for once 「今度だけは」
(ex) Please forgive me for once. 今度だけは見のがしてください

最後に接続詞の once です。接続詞の once は「ひとたび～すると」という意味になります。

接続詞の場合、「once S+V~, S+V…」 「S+V~, once S+V…」 と、2つの「S+V」をつなぐ構造になるのが特徴です。

- (ex) She never wakes before seven o'clock, once she get to sleep.
彼女はいったん眠りについてしまったら7時前には決して目を覚まさない

(82) otherwise

otherwise の『核』のイメージは「in other ways[a different way]」です。

Ⓜただし、(in と共に用いる) way には「方法」以外に「点」という意味もある。

otherwise を「さもないと」の意味だと覚えている人は多いと思います。

この英文ならそれでもカンタンに訳せますね。

(ex) Make haste, otherwise you will be late for school.

急ぎなさい。さもないと学校に遅刻しますよ

しかしこの英文はどうでしょう。

(ex) Judy thought otherwise.

この英文、「ジュディはさもないと考えた」では全く意味不明ですね。こんなときに『核』のイメージが役立つのです。

上で述べたように(副詞の) otherwise の『核』のイメージは「in other way[a different way]」で、具体的には以下のような意味として整理すべきなのです。

① 「他(別)の方法で、違ったふうに」

Ⓜin a different way(方法) で言い換えられる otherwise.

(ex) Judy thought otherwise. 彼女はそうは考えなかった

※「ジュディは違ったふうに(別のやり方で)考えた」ということ。

You should have done otherwise. 君は他の方法ですべきだったのに

You would not have done it otherwise than your parents did.

あなたも両親がしたようにするほかなかっただろう

※otherwise than Aで「Aとは違った方法で(は)」。

② 「その他の点で(は)」

Ⓜin other ways(点) で言い換えられる otherwise.

(ex) Nancy has a freckled face, but otherwise she is a very cute girl.

ナンシーは顔にそばかすがあるがその他の点ではとてもかわいい子だ

The bedroom is a bit too small, but otherwise the house is

satisfactory.

寝室がちょっと狭いが、それを別にすればこの家は満足できる

After she retired, she was leading an otherwise happy and uneventful life in the country.

引退後、彼女はその他の点では幸せで平穩無事な田舎暮らしをしていた

otherwise には形容詞としての用法もあります。その場合 different とほぼ同じ意味と考えればいいでしょう。

(ex) Some are wise and some are otherwise in the world.

世の中には、賢い人もいればそうでない人もいる

(83)part

part の『核』のイメージは「(一)部分」です。

ただ「(一)部分」という意味は part ではおなじみで、以下の part の例文は理解しやすいはずです。

(ex) Mother divided the cake into three parts. 母はケーキを3つに分けた

The greater part of the people in the country are engaged in agriculture.

その国の国民の大部分は農業に従事している

Only (a) part of the bridge has been destroyed by the earthquake.

その橋の一部分だけが地震で破壊された

Part of the guests have arrived. 客が一部到着した

Music was part of his life. 音楽は彼の生活の不可分な要素だった

會上例のように「重要な一部 → 不可欠な要素」という意味になることもある。

「ある国(土地)の一部 → (ある国の一)地域、地方、地区」という意味になることもあります。

(ex) I'm a stranger in these parts. 私はこのあたりは不案内だ

What part of the States are you from? アメリカのどの地方のご出身ですか

part はこれ以外に「役割」「関係、関与」「側」「部品」といった意味にもなりません。

會ただ「役割」「部品」といった意味については「重要なパートを演じる」「パー

ツを組み立てる」等といったカタカナ英語から類推は容易だ。

(ex) He tried to do his part. 彼は自己の本分を尽くそうとした

He plays an important part in the company.

彼はその会社で重要な役割を果たしている

I want no part of[in] the project. その計画にはかかわりたくない

Neither part agreed to the mediation. どちらの側も調停に合意しなかった

auto parts 自動車部品

For my part, I have no objection to the plan.

私としてはその計画に異存ありません

☞for one's part で「～(の方)としては」。

動詞の part は自動詞の場合「(全体から分かれて)部分になる → 別れる、割れる」となります。他動詞の場合「(全体から分けて)部分にする → 分ける、切断する」となります。

(ex) The police parted the crowd. 警官は群衆をかき分けた

She parts her hair in the middle. 彼女は髪をまん中で分けている

They parted at the gate. 彼らは門のところで別れた

I parted with my old bicycle. 私は古い自転車を手放した

☞part with A(物) で「Aを手放す」。

I parted from my friend in anger. 私は友達とけんか別れをした

☞part from A(人) で「Aと別れる」。

(84)past

past の『核』のイメージは「過ぎ去った」です。

past は形容詞、名詞、前置詞、副詞と多様な品詞になる語です。整理してみましよう。

まず形容詞の past 。

(ex) past events 過去の出来事

☞「過ぎ去った → 過去の」。

Winter is past and spring has come. 冬が去って春が来た

during the past week (今までの) 1週間

a past mayor 前市長

會「過ぎ去った → 前の → 前任の、元の」。

次に名詞の past。「過ぎ去ったこと(もの) → 過去」という意味が基本です。

(ex) a thing of the past 過去の遺物、時代遅れの物[人]

We cannot undo the past. 過ぎ去ったことは取り戻せない

Rome has a glorious past. ローマには輝かしい歴史がある

會「過去のこと → (過去の)歴史」。

In the past, houses were built of stone. 昔は家は石造りであった

會「過去 → 昔」。

最後に前置詞と副詞の past です。「～を過ぎて(越えて)」「～のそばを通りすぎて」
「(範囲・能力・程度等を)過ぎて → ～を越えて、及ばない」といった意味があります。前置詞と副詞の違いは、後ろに(自身の)目的語になれる名詞があれば前置詞、無ければ副詞と見るといいでしょう。

(ex) a woman past middle age 中年過ぎの女性

She is past forty. 彼女は40歳を越している

It's five (minutes) past seven. 7時5分過ぎだ

會past の代わりに after を用いてもいい。ちなみに minutes を省略できるのは five, ten, twenty, twenty-five のときだけ。

The bank is on your right, just past the flower shop.

銀行は右手にあります。ちょうど花屋を通り過ぎたところです

What he did is past comprehension. 彼の行為は理解できない

She is past hope of recovery. 彼女は回復の見込みがない

He watched the cars drive past. 彼は車が走り過ぎて行くのを見ていた

The years flew past. その数年[年月]は飛ぶように過ぎ去った

(85)physical

physical の『核』のイメージは「自然の」です。

そこから以下のような意味が生まれました。

① 「身体の、肉体の」 ⇔ mental

◎ 「人間にとっての最も身近な自然の → 肉体の、身体の」。

ちなみに physique は「(特に男の)体格」。

(ex) physical beauty 肉体美

physical strength 体力

physical labor 肉体労働

② 「物理学の」「物理的な」「自然科学の」「自然法則の」

(ex) meteorology 物理象学

a physical phenomenon 物理的現象

③ 「物質の」「自然の」 = material

⇔ spiritual

(ex) the physical world 物質界

余談ですが **physician**(医者) と **physicist**(物理学者) を混同しないようにしましょう。ちなみに **physics** は「物理学」です。

(86)picture

picture の『核』のイメージは「絵(描かれたもの)」です。

そこから以下のような意味が生まれました。特に◎のついた意味はしっかり覚えておきましょう。

① 「絵」

② 「写真」

③ 「映画」

④ 「(鏡・水面に写った)像」「(レンズを通して結ばれた)映像」

(ex) the picture reflected in the pond 池に映った影

pictures and sound 音と映像

◎⑤ 「(テレビ・映画の)画面、画質」

(ex) You'll get a clear picture with this antenna on the roof.

このアンテナを屋根につけると画面がはっきりするでしょう

◎⑥ 「イメージ、姿、理解、合点」

(ex) Computerized corpora help to present an accurate picture of today's English.

コンピュータコーパスが今の英語の正確な姿を提示するのに役立っています

He gave me a picture of the incident.

彼は事件の生き生きと描写してくれた

I get the picture. よくわかったよ

◎⑦ [the picture] 「状況、事態、全体像」 =situation

(ex) Computers have changed the industrial picture.

コンピュータが産業の様相(状況)を変えた

⑧[a/the picture] 「(ある性質・状態を)具現したもの」

「模範」

「生き写し」

(ex) My father is the (very) picture of health. 父は健康そのものです

He is a perfect picture of the teacher. 彼は教師の鑑だ

picture には動詞としての用法もあり、以下のような意味になります。

① 「(～を)絵[写真など]で表す」「～を描く」

(ex) He pictured the mechanism. 彼はその仕組みを図解してくれた

He was pictured as a man playing the guitar.

彼はギターを弾く男性として絵にかかれていた

② 「(人・物・事を～だと)心に描く」

☞ imagine よりも「ありありと目に浮べる」といったニュアンスになる。

(ex) Can't you just picture him in woman's disguise?

女装している彼を想像してごらん

③ 「(～を)ありありと描写する」

(ex) The writer pictured the brutality of war.

その作家は戦争の惨状をありありと描写した

④ 「(小説・事件等を)映画化する」 =picturize

(87)plain

plain の『核』のイメージは「平らでごてごてしていない」です。

「平らでごてごてしていない → ①簡素[質素]な
②(人・容貌・衣服が)飾り気のない、地味な
平凡な
③(食べものが)あっさりした、味のついていない」

という意味になります。

(ex) My parents live a plain life. 両親は質素な生活をしている
She always wears a plain dress. 彼女はいつも地味な服を着ている
plain cloth 無地の布
I like plain food. 私はあっさりした食物が好きだ
He is a plain man. 彼は飾らない人間だ
會ときに「平凡な、不器用な」という悪い意味で用いることもある。
The lady I met at the party was rather plain in looks.
私がパーティで会った女性はあまりきれいではなかった

また「話・物事・表現が平坦でごてごてしていない → ①明らかな、明白な
②簡単な、わかりやすい
③率直な」

という意味にもなります。

(ex) This is a plain fact. これは明白な事実です
It is plain that he has lied to us..
彼が我々にウソをついたことは明白だ
Please speak plain. どうかはっきりしゃべってください
會上例のように、plain が「はっきりと」という意味の副詞として用いられる
こともある。
The foreigner spoke to her in plain English.

その外人は簡単な英語で彼女に話しかけた
To make it plain, I disagree to you.
率直に言って、あなたには同意できません

更に plain はここから比喩的に強調の意味で用いられ、「全くの、徹底した」といった意味にもなります。

(ex) plain stupidity 全くの愚かさ
His act was just plain kindness.
彼の行動はまったくの親切心から出たことだった

(88)plant

plant の『核』のイメージは「植え(付け)る」です。
まず plant と言えば「植物」「草木」「作物」がおなじみですが、これは「植えられたもの」ということですね。

(ex) tropical[wild] plants 熱帯[野生]植物
a carrot plant ジャガイモの苗

それからカタカナ英語でも「化学プラント」等と言うように plant には「工場(設備)」という意味があります。これは「人によって植えられた(設置・配置された)もの」ということです。

(ex) an automobile plant 自動車工場
a power plant 発電所

次に動詞の plant ですが、『核』のイメージ通りの「(～を)植える」あるいは「(種を)蒔く」という意味があります。

(ex) Spring is the best season for planting vegetable seeds.
春は野菜の種をまくのに一番よい季節です
He planted tulips in the garden. 彼は庭にチューリップを植えた

植物以外にも「魚」「思想・観念」等が目的語にとられることがあります。
兎「魚」の場合「(～を)放流[養殖]する」と訳す。

(ex) The teacher planted new ideas in pupil's minds.

先生は生徒達の心に新しい思想を植え付けた

They plant the river with salmon fry every year.

彼らは毎年川にサケの稚魚を放流する

また plant は、比喩的に「(～を)据えつける、配置[設置]する、仕掛ける」「(～を)(突き)立てる」「(打撃を)加える」といった意味に派生します。

(ex) The terrorists planted a bomb on a building.

テロリストは橋に爆弾を仕掛けた

I planted my feet on the ground. 彼は地面にしっかりと立っていた

The customer planted himself in a chair. その客はいすにどっかと座った

The robber planted a knife on the floor. 強盗は床にナイフを突き立てた

I planted a blow on his nose. やつの鼻に一発見舞ってやった

それから **transplant** は trans(別の場所に)+plant(植物・臓器等を植え付ける)で「(植物・臓器等を)移植する」という意味になります。

(ex) She transplanted the flower from a pot to the garden.

彼女はその花を鉢から庭に植え換えた

The doctor transplanted genes into the patient's cells.

その医師は患者の細胞に遺伝子を移植した

「人」「思想」「制度」等を目的語に取ることもあります。

(ex) He transplanted his family to Germany. 彼は家族をドイツへ移住させた

They transplanted their racist sentiments to Australia.

彼らは自分達の人種差別的な考え方をオーストラリアに移植させた

Many institutions were transplanted from Europe to Japan.

多くの制度がヨーロッパから日本に移植された

(89)positive

positive の『核』のイメージは「確定[断定]的な」です。

そこから以下のような意味が生まれました。

① 「積極的な」「前向きな」「楽観的な」「肯定的な」

會「断定的な → 迷い[躊躇]がない → 積極的な、前向きな」。

(ex) You should take a more positive attitude to life.

人生にもっと積極的になりなさい

a positive answer 肯定的な答え(返事)

② 「明確な、確かな」「はっきりした」

會「断定的な → 確かな」。

(ex) positive evidence 確かな証拠

③ 「自信のある」「確信した」「独断的な」

會「断定するような → 自信のある、確信した」。

(ex) I am positive about[of] my success. 私は成功する自信がある

=I am positive that I will succeed.

He is a positive sort of person. 彼は独断的な人間だ

A: Are you sure? 確かかい

B: Positive. もちろん

會上例のように、会話などで「承諾」を表し、Sure の意味で positive が使われることがある。

④ 「全くの」「完全な」「絶対的な」 ⇔ relative

會「断定的な → 完全な」。

(ex) a positive idiot 大ばか者

positive damage 大損害

(90)prevail

prevail の『核』のイメージは「大きな力を持っている」です。

會「pre(強意)+vail(強い)」が語源。

そこから以下のような意味が生まれました。

① 「(物事が)広く行き渡っている、普及している、流行している」

(ex) A serious form of flu prevails throughout the country.

悪性の風邪が全国ではやっている

The lunar New Year prevails in rural areas.

田舎では旧正月が行われている

② 「(～に)まさる、うち勝つ」

「(～より)優勢である、支配的である」

會 「(～より)大きな力を持っている → (～に)まさる、(～より)優勢だ」。

(ex) Good will prevail. 善はいずれ勝つ

We prevailed against[over] the enemy. 我々は敵に勝った

An air of harmony prevailed. 協調のムードがみなぎっていた

③ [prevail on A(人) to do[願]～] 「～するようにAを説き伏せる」

會 「大きな力をもってAが～する方向に仕向ける」ということ。

(ex) I prevailed on him to stay a little longer.

私はもう少し居るように彼を説得した

(91) prompt

prompt の『核』のイメージは「準備が出来ている」です。

prompt は「形容詞」「動詞」「名詞」「副詞」等の品詞がありますが、よく使われるのは形容詞と動詞の prompt です。

まず形容詞から見ていきましょう。以下の意味は『核』のイメージから容易に類推できると思います。

① 「迅速な、敏速な」「即座の、即時の」

「(商品が)即時引渡しの」

會 「準備が出来ている → 即座(すぐ)に～できる」。

(ex) a prompt solution of the problem 問題の敏速な解決

a prompt answer 即答

They made prompt payment. 彼らは即金で払ってくれた

② [be prompt] 「てきぱきしている」

[be prompt to do[願]～] 「すぐ～する、～するのが速い」

④「準備が出来ている → すぐ(素早く)～できる、てきぱきできる」。

(ex) She is prompt in her duties. 彼女は仕事が速い

He is prompt to obey[in obeying]. 彼はすぐ言うことを聞く

次に動詞の prompt です。

①「(～を)刺激する、励ます」

「(行動・考え・感情等を)起こさせる、促す、誘発させる」

[prompt O(人) to do[願]～]「Oが～するよう促す」

④「～する(準備が出来た)方向に仕向ける、促す」ということ。

(ex) Curiosity prompted me. 好奇心に駆られたのです

What prompted you to do such silly thing?

どんな考えからそんなバカなことをしでかしたのか

That has prompted me to the conclusion.

そういうことが元となって私はその結論に達した

What prompted her resignation?

何が原因で彼女は辞めることにしたのだろう

②「(言葉に詰まった人にきっかけの言葉を示して)助け船を出す」

「(役者に忘れたセリフを舞台袖から)教える」

④「セリフ、言葉が出るよう準備をさせる → 促す、教える」ということ。

(92)provide

provide の『核』のイメージは「前もって見る・予見する」です。

④「pro(前もって)+vide(見る)」が語源。

provide の意味の大きなところは「(～に)備える、準備する」「(～を)供給する、与える」「(～の)世話をする」「(～を)規定する」ですが、これは

「前もって予見する → (様々な状況に)備える、準備をする」

「前もって予見する → 物を備える → (物を)供給する」

「前もって不測の事態を予見する → (何かあったら)～の面倒を見る、世話をする」

「前もって不測の事態を予見する → (様々事態を想定し)～を規定する、定める」

となったと見るといいでしょう。では具体的に見ていくことにしましょう。

①「(必要なものを)供給[提供]する、与える、準備する」

(ex) The big tree provided shelter from the rain.

その大きな木が雨宿りの場所となった

Their garden provided fresh vegetables.

彼らの庭から新鮮な野菜がとれた

②[provide A(人) with B(物)]「AにBを与える、供給(提供)する」

[provide B(物) for A(人)] 「 " " 」

(ex) We provided the orphans with food. 私たちはその孤児らに食料を与えた

=We provided food for the orphans.

①with が省略され、「SVO₁O₂」になることもある。

(ex) They provide the house all the modern conveniences.

その家には現代の便利な設備すべてを備えてある

③[provide that S+V~]「~と規定する」

(ex) The contract provides that the rent (should) be paid at the end of the month.

その契約書によれば家賃は月末に払うことになっている

It is provided that the papers (should) be written in ink.

書類はペン書きのことに規定されている

④[provide for[against] A]「A(将来起こること)に備える、準備する」

①未来の出来事・安全等への準備の時は for、攻撃・不足等の非常時に備える時は against を用いる。

(ex) We have to provide for[against] a rainy day.

まさかの時に備えておかねばならない

⑤[provide for A]「Aを扶養する」

「Aに生活の必要物を供給する」

(ex) The couple had four children to provide for.

その夫婦は養うべき4人の子供がいた

The old pair are well[poorly] provided for.

その老夫婦は生活に不自由していない[困っている]

なお provide の重要な語法として **providing[provided] (that) S+V~** で「もし～なら」というものがあります。

(ex) Provided[Providing] (that) you come back before dark, you may go there.
もし暗くならないうちに帰るならそこに行ってもよろしい

これは(「～を規定する」という provide を用いた英文の)分詞構文で、元々以下のような英文だったと見るといいでしょう

If it is provided (that) you come back before dark, you may go there.
=If you provide (that) you come back before dark, you may go there.

これが分詞構文となり If it is が省かれたと見るといいでしょう (If you provide ~ の場合、If you が省かれ、provide が providing となる)。

(93)rate

rate の『核』のイメージは「**見積もる**」です。
そこから以下のような意味が生まれました。
まずは名詞の rate です。

①「割合、率」

(ex) In Japan the death rate from cancer is very high.

日本ではガンによる高い死亡率が非常に高い

the low birth rate 低い出生率

the rate of interest 利率

②「料金、値段」

(ex) hotel rates ホテルの料金

I bought this cell phone at a cheap rate. 安い料金でこの携帯を買った

What is the rate for this letter? この手紙の料金はいくらですか

③「速度、速さ」

「(仕事等の)進捗」

(ex) He drove at a steady rate. 彼は一定の速度で運転した

④[序数詞を伴って]「等級、格」

(ex) He often goes to a restaurant of the first rate.

彼はよく一流のレストランに出かける

會「一流のレストラン」は a first-rate restaurant でも可。

⑤《イディオム》

(1)at any rate

1. 「とにかく、どんなことがあっても」

(ex) The committee should investigate the cause at any rate.

委員会はとにかく原因を調べるべきだ

2. 「少なくとも」

(ex) He may not have succeeded, but at any rate he tried.

彼は成功しなかったかもしれないが、少なくとも努力はした

(2)at the rate of A 「Aの割合で」「Aの速度で」

(ex) The plane flew at the rate of 600 miles an hour.

その飛行機は時速600マイルの速度で飛行した

次に動詞の rate です。

① 「(～を…だと)評価する、見積もる」

(ex) I don't rate the film (very highly).

私はその映画を(あまり高く)評価しない

They rated the house at 80,000 dollars.

彼らはその家を8万ドル(の価値がある)と評価した

How do you rate yourself as a husband?

夫としてご自分に何点ぐらいつけますか

② 「(～に)値する、(～だけの)価値がある」

(ex) I think he rates a promotion. 彼は昇進する価値があると思う

The case doesn't rate mention on papers.

その事件は新聞に載るほどのことではない

③[rate C(形)] 「Cと評価される、みなされる」

(ex) His performance rated very high. 彼の演技は大変高く評価された

(94)reconcile

reconcile の『核』のイメージは「修復して一つにする」です。
そこから以下のような意味が生まれました。

①「(～を…と)和解させる」「(争いを)調停する」

會「関係を修復して一つにする」。

(ex) He became reconciled with his wife. 彼は奥さんと仲直りした
I reconciled him with his friend. 彼と彼の友人とを仲直りさせた
He reconciled a quarrel. 彼はけんかの調停をした

②「(～を)調和させる」「(～と)一致させる」

會「(相いれない)両者を一つにする」。

(ex) It is always difficult to reconcile words with actions.
言葉と行動を一致させるのは常に難しい
How can we reconcile our ideal with reality?
理想と現実をどうすれば一致させられるのだろうか

③[be reconciled to A / reconcile oneself to A]「Aに甘んじる」

會「Aと(自分が)一つになる → Aであることを受け入れる」。

(ex) She was reconciled to his fate. 彼女は自分の運命に甘んじた
He reconciled himself to accepting the past.
彼はその地位を甘んじて受け入れた

(95)relieve

relieve の『核』のイメージは「～を取り除いてやる」です。

會「～」は「責任・任務・重荷・苦痛・心配・退屈・単調さ・痛み」等といった負
(マイナス)の要素。

そこから以下のような意味が生まれました。

①[relieve A(人) of B(責・重・苦・痛)]「AからBをとり除いてやる、免除[解放]してや

る」

(ex) The medicine relieved her of her acute pain.

その薬のおかげで彼女の激痛は治まった

Her smile relieve the tension in the room.

彼女の笑顔の冗談で部屋の緊張がほぐれた

◎上例のように A(人) of は省かれることもある。

② 「(人を)安心させる、ほっとさせる、楽にする」

◎ 「人の不安・悩みを取り除いてやる」。

(ex) The news will relieve him. 彼はそのニュースを聞けば安心するだろう

I was relieved to hear that. 私はそれを聞いて安心した

No words can relieve his mind.

どんな言葉も彼の心を慰めることはできない

She relieved her feelings.

彼女は(泣いたりわめいたりして)うっぷんを晴らした

③ 「(困窮者を)救助する」「(被災地区等に)救援物資を送る」

「(包囲された町等を)救援する」

◎ 「困窮・困難・不足・敵を取り除いてやる」。

(ex) The Self-Defense Forces relieved the area after the flood.

自衛隊は水害のあとでその地区へ救援物資を送った

④ 「交替する、交替して(人を)休ませる」

◎ 「任務を取り除いていてやる」。

(ex) The staff member is relieved every two hours.

職員は2時間で交替になる

⑤ 「(～を)もっと面白くする」

◎ 「退屈・単調さを取り除いてやる」。

(ex) We relieved the dull evening watching TV.

我々はテレビを見て退屈な夕べを楽しくした

(96) resolve

resolve の『核』のイメージは「完全に解ける(解かず)」です。

會「re(完全に)+solve(解決する)」が語源。

そこから以下のような意味が生まれました。

① 「(～しようと)決意【決議】する」

[be resolved] 「(～しようと)決心している」

會「迷いが完全に解ける → ～しようと決める、決意(心)する」。

(ex) He resolved to quit drinking. 彼は酒をやめようと決意した

She resolved that nothing (should) hold her back.

何があってもあとには引くまいと彼女は決意した

I have resolved when to start. いつ始めるか決心はついている

I was resolved to become a teacher.

私は教師になろうと堅く決心した

The House resolved that it (should) take up the bill.

議会はその法案を採択することを決議した

He resolved on buying the land. 彼はその土地を買おうと決心した

② 「(問題・困難等を)解決する、解く」

「(疑い等を)晴らす」

會「問題・困難・疑いを完全に解かず → 解く、晴らす」。

(ex) They were able to resolve the problem. 彼らはその問題を解く事ができた

All doubts were resolved. いっさいの疑いが晴れた

③ 「(～を…に)分解する、溶解する」

會「～を完全に解かず → 分解する、溶解する」。

(ex) In the experiment the compound resolved (itself) into four elements.

その実験では、その化合物は4つの要素に分解した

Water can be resolved into oxygen and hydrogen.

水は酸素と水素に分解できる

この resolve は名詞としても用いられ、その場合「決心、決意」「不屈の意思」といった意味になります。

(ex) He made a resolve to work harder. 彼はもっと一生懸命働く決心をした

He is a man of great resolve. 彼は不屈の人

(97) resource

resource の『核』のイメージは「いざというときに頼りになるもの」です。
そこから resource には、以下のような意味が生まれます。

① resources となることが多い。

① 「資源、財源」「資産」

(ex) Japan is not rich in natural resources.

日本は天然資源に恵まれていない

They exhausted their financial resources.

彼らは財源を使い果たしてしまった

energy resources エネルギー資源

human resources 人的資源、人材

He has resource against loneliness.

彼は孤独に打ち勝つ精神力を持っている

①上例のように「個人の内面的な資産 → 資質」という意味にもなる。

② 「(いざという時の)手段、方策、頼みの綱」

(ex) We have no other resource but to borrow money.

我々は借金する以外手だてがない

as the last resource 最後の手段として

at the end of one's resources 万策尽きて、思い余って

③ 「(教授用などの)資料」

(ex) a resource(s) room 資料室、教材室

④ 「機知、臨機之才」

④ 「いざというときに解決策を考え出す(頼りになる)能力」ということ。

形容詞形は resourceful で、「(人が)機略に富んだ」「いざというときに解決策を考え出す能力のある」という意味になる。

(ex) a man of resource 機略縦横の人、やり手

⑤ 「慰め」「憂さ晴らし」「退屈しのぎ」

會「退屈なときに頼りになるもの」ということ。

(ex) Reading is one of my resources.

読書は私の退屈しのぎ(娯楽)のひとつです
a man of no resources 無趣味の人

(98) respect

respect の語源は「re(振り返って後ろを)+spect(見る)」ですが、「わざわざ振り返ってまで見る」のはそれが(自分にとって)大切なものだからです。そこから『核』のイメージとして「大切なもの(価値あるもの)として~を見る」と覚えておくといいでしょう。

そこから以下のような意味が生まれます。

① 「~を尊敬する」

會「(人・行動等を)大切なものとして見る → 尊敬する」。

(ex) I respect my parents. 私は両親を尊敬している

I respect his honesty[generosity].

私は彼の正直さ[寛容さ]を尊敬している

② 「~を尊重する、重んじる」

「~を考慮する、~に注意する」

「~を大事にする」

「(規則・道徳等を)守る」

會「(気持ち・意思・権利・規則等を)大切なものとして見る → 尊重する、大事にする、守る」。

(ex) We should respect other people's rights[feelings].

我々は他の人の権利[気持ち]を尊重すべきだ

You had better respect your word. 君は約束を守った方がいい

respect は名詞としても用いられ、以下のような意味になります。

會「尊敬、敬意」「尊重、考慮、重視」という意味では「~に対する」という意味で for を(自身の後ろに)取る。また「点」という意味では、「~における」

「～で」という意味で in を(自身の前に)取る。

①「尊敬、敬意」

(ex) We have respect for our boss[teacher].

私たちは上司[担任の先生]を尊敬しています

②「尊重、考慮、重視」

(ex) You must have respect for the traffic regulations.

交通規則を尊重しなければいけません

③「点」

會「大切なもの(価値あるもの)として～を見る」ことは、その対象に視点を向ける(焦点をあてる)こと。そこから「点」という意味が生まれる。

(ex) in this[that] respect この[その]点で

=in this[that] way[manner]

in some[many] respects いくつかの[多くの]点で

Her story does not agree with his in this respect.

この点で彼女の話は彼の話と食い違っている

④「関係(連)」

會あるものを尊重して見ることは、そのものに関わりを持つことに通じ、「関係(連)」という意味が生まれた。ただこの意味では respect は以下の表現に限られると言っていい。

1.have respect to A「Aと関係がある」

(ex) These remarks have respect to his proposal.

これらの発言は彼の提案に関係がある

2.with respect to A「Aに関して」「Aに関連して」

(ex) With respect to your proposal, we are sorry to say that we cannot agree to it.

お申し越しの件、遺憾ながら応じかねます

respect の形容詞形として **respectful**, **respectable**, **respective** がありますが、なかなか意味の区別が難しいですね。実は接尾辞についての知識も利用して、こんなふう to これらの語は覚えるといいのです。

まず **respectful** ですが、ful は「～でいっぱい of」という意味の接尾辞。つまり

respectful は「尊敬する気持ちがいっぱいこもった → (～に対して)丁寧な、敬意を払う」となるわけです。

(ex) He is respectful to his boss. 彼は上司に対して丁寧だ

We should be respectful of tradition. 我々は伝統を重んずるべきである

respectable の場合、able, ible という接尾辞は、動詞に付くと「～されうる」という受け身の意味を持ちます。つまり respectable は「(人から)尊敬されうるような → 立派な、ちゃんとした、きちんとした、相当な」となるわけです。

(ex) He is a respectable citizen. 彼は立派な市民だ

He came to the party in respectable clothes.

彼はきちんとした服装でパーティーにやってきた

a respectable price かなり高い値段

respective の場合、ive は「～に関する」という意味の接尾辞。そしてこの場合の respect は「点」を表します。つまり respective は「一点一点に関する → それぞれの」となるわけです。

(ex) The guests went to their respective rooms.

客はそれぞれの部屋へ行った

Teachers grade students according to their respective abilities.

先生は学生のそれぞれの能力に応じて評点をつける

このような覚え方は、他にも **considerable**, **considerate** の覚え方で役に立ちます。

considerable は、consider が「考慮する」。そして(consider という動詞に付いた) able は「～されうる」。つまり considerable は「考慮されうるような、考慮に値すべき → かなりの、相当な」となるわけです。

(ex) a considerable distance[income] かなりの距離[収入]

a considerable number of people 相当数の人

a considerable sum of money 多額の金

considerate の場合、ate は「～に満ちた」という意味の接尾辞。つまり considerate は「(人)を考慮する気持ちに満ちた → 思いやりのある、思慮深い」となるわけです。

(ex) He is considerate of others. 彼は他人に思いやりがある

It's very considerate of you to say so.

そんなことを言って下さるとはあなたはとても思いやりがある方だ

(99)room

よく英単語集等には「room は『部屋』以外に『空間』『余地』という意味がある」といったことが書かれていますが、実際には「空間」「余地」という意味の方が先であり、それが room の語源です。その空間が壁やら間仕切りによって仕切られれば、それが「部屋」となる(呼ばれる)だけのことなのです。そして仕切りがない状態では「(イメージとして描ける)決まった形」がないので、「空間・余地」という room は数えられない、つまり不可算名詞となります(この意味の場合 room は無冠詞で用いる)。逆に「部屋」という場合には、壁や間仕切りによって仕切られた結果として「(イメージとして描ける)決まった形」が生じ、数えられる、つまり可算名詞となるわけです(この意味の場合 room は冠詞・所有格・数詞などと共に用いる)。

(ex) This desk takes a lot of room. この机は大変場所をとる

The parking lot has room for 100 cars. この駐車場には車が100台入る

There's no room for you in my car. 私の車にはもうあなたは乗れません

There is plenty of room for improvement in your work.

君の仕事には改良の余地が大いにある

I want a room with a view. 見晴らしのいい部屋にしてください

Tom isn't in his room. トムは自室にいません

(100)rule

rule の『核』のイメージは「規定する(もの)」です。

そこから以下のような意味が生まれました。

まずは名詞の rule です。

①「規則、規定、ルール」

(ex) He always breaks a rule. 彼はいつも規則を破る

②「習慣、習わし」 =habit

會「行動・生活を規定するもの → 習慣、習わし」。

(ex) It is my rule to go to bed early. 早寝をするのが私の習慣だ

=My rule is to go to bed early.

=I make it a rule to go to bed early.

③[the rule]「普通のこと [状態]、通例」「原則」

會「当たり前のこととして規定されているもの → 普通のこと、原則」。

(ex) In the Middle Ages in Europe, illiteracy was the rule.

中世ヨーロッパにおいては、読み書きができないことが当たり前だった

④「支配、統治(権)」

「統治期間」

(ex) Korea was then under Japanese rule.

韓国は当時日本の支配下にあった

Japan is now under democratic rule.

現在日本は民主的な統治の下にある

during the rule of Elizabeth I エリザベス一世の治世中に

⑤[as a rule]「概して、一般に」

(ex) As a rule, people long for peace. 概して人々は平和を望んでいる

次に動詞の rule です。

①「(～を)支配する、統治する」

會「国・人等を規定する → 人・国等を支配する」。

(ex) Germanic peoples ruled most of Europe.

ゲルマン民族はヨーロッパの大半を支配した

This country was once ruled by the French.

この国はかつてフランス人に支配されていた

Silence ruled the hall. ホールは静まりかえっていた

Mr. White was ruled by his wife.

ホワイト氏は奥さんの言いなりになっていた

會be ruled by Aで「A(人)の言いなりになる」「A(感情)に駆られる」。

②「(感情等を)抑制する、抑える」

② 「意思によって感情等を規定する → 感情等を抑制する」。

(ex) He often cannot rule her passions[appetite].

彼は感情 [食欲] を抑えられないことがよくある

③ 「(判決等を)下す、裁定する」

② 「判決・判断を規定する → 判決、判断を下す」。

(ex) The police ruled him out of order. 警察は彼を違反と判定した

The judge ruled that she had to pay the fine.

裁判官は彼女が罰金を払わなければならないと裁決した

④ [rule out A] 「Aを除外する、拒否する」

② 「～を規定の外に(からはずして)置く → ～を除外する、拒否する」。

(ex) Don't rule out this proposal. この提案を拒否しないでください

We cannot rule out the possibility.

その可能性を除外することはできない

(101)save

save には前置詞、接続詞として「～を除いて」という意味があります。

(ex) all save him 彼以外は全部

We had no news save that she got there safely.

彼女がそこに無事に到着したという以外何の知らせもなかった

これは Kill them all save him. などと言葉を補ってみるとその由来が見えてきます。Kill them all save him. つまり「そいつらみんな殺せ! (が)彼は救え → 彼以外(彼を除いて)みんな殺せ」というふうに。

しかしながら、この save は古風な言い回しで、最近では except や but が多く用いられます。

(102)secure

secure の『核』のイメージは「心配(不安)がない」です。

① 「se(離れた)+cure(心配)」が語源。

そこから以下のような意味が生まれました。

まず形容詞の secure です。

① 「(場所・物等が)安全な、心配[危険]のない、安心できる」

① safe と比べると、安全さに客観的根拠があるという含みが強く「心配ご無用」という感じが強い。

(ex) He lived a secure life. 彼は安定した(不安のない)暮らしを送っていた

The fort was not quite secure from[against] enemy attack.

そのとりでは敵の攻撃に対し十分に安全ではなかった

② 「(人が)安心している」「(~を)確信している」

(ex) Do you feel secure about the future? 将来について心配ありませんか

He is secure of success. 彼は成功を確信している

① be secure of A で「Aを確信している」

I feel secure with you. あなたといると心強い

③ 「(物が)しっかりした、安定した」「(勝利等が)確実な」「(地位等が)不動の」「(戸・窓が)しっかり閉まった」

(ex) The building stands on a secure foundation.

その建物はしっかりした基礎の上に建っている

The window was secure. 窓はしっかりしめてあった

Their victory was secure. 彼らの勝利は確実だった

次に動詞の secure です。動詞の場合は「心配(不安)がない状態にする」がその『核』のイメージになります。

① 「(~を)手に入れる、確保する」

(ex) Their purpose was to secure peace.

彼らの目的は平和を確保することだった

She secured me a good seat. 彼は私のためにより席をとっておいてくれた

① secure O₁ O₂ で「O₁にO₂をとっておいて(確保して)あげる」。

② 「(~を)安全にする」「(~を…から)守る」

(ex) The walls secured the castle from the invasion of the enemy.

城壁が敵の侵略から城を守った

③ 「(～を)保証する」「(～に)担保を付ける」

(ex) I secured myself against risks. 私は傷害保険に入った

Freedom of speech is secured by the Constitution.

言論の自由は憲法で保証されている

The bank wanted to secure the loan against my house.

銀行はその貸出しに私の家を担保に要求した

④ 「(戸・窓・鍵等を)しっかり締める」

(ex) He secured the rope. 彼はロープをしっかり締めた

She secured all the locks. 彼女はかぎを全部かけた

(103)significant

significant の『核』のイメージは「意味(義)がある」です。

☞sign は「記号」。記号とは「意味を持つ(がある)印」のこと。そこから「意味がある」という意味が生まれた。

その『核』のイメージ通りの「意味のある、意義深い」という意味があります。

(ex) It was a significant event for his family.

それは彼の家族にとって意義深い行事だった

また **be significant of A** で「Aを意味する、表す」という意味にもなります。

(ex) This is highly significant of her intentions.

このことは彼女の意図を非常によく表している

Her gesture was significant of consent. 彼女の身振りは承諾を表していた

「意味ありげな、含みのある」という意味でも用いられます。

(ex) She said so with some significant look.

彼女は何か意味ありげな顔つきでそう言った

The speaker ended his talk with a significant word.

講演者は含みのある言葉で演説を締めくくった

「重要な意味を持つ → **重要な、大切な**」という意味にもなります。

(ex) The difference in our ages is not so significant.

私たちの年齢の差は大して重要ではありません

It was a significant step toward the political reform.

それは政治改革への重大な前進であった

「重大な意味を持つほどの → ①**かなりの、相当の** ②**著しい、際立った**」という意味にもなります。

(ex) The generator produces a significant amount of energy.

その発電機はかなりの量のエネルギーを生み出します

There was a significant increase in population.

目立った人口増加があった

A significant number of people were present in the stadium.

スタジアムにはかなりの数の人々がいた

(104) spoil

spoil の『核』のイメージは「**奪い取ってしまう**」です。

そこから以下のような意味が生まれました。

① 「(物・事を)駄目にする、台無しにする」

「(人の興味を)そぐ」

② 「あるものから、価値(良さ)・本来の性質・興味等を奪い取ってしまう → あるものを駄目にする、台無しにする、(興味を)そぐ」。

(ex) The heat spoiled the milk. 暑さでミルクがだめになった[腐った]

③ spoil の活用は spoil - spoiled[spoilt] - spoiled[spoilt]

The heavy rain spoiled the crops. 大雨で作物がだめになった

The picnic was spoiled by the nasty weather.

ピクニックは悪天候で台なしになった

Don't spoil his fun. 彼の楽しみに水をさすな

Ⓢ 「彼の楽しみを台無しにするな」ということ。

Fruit spoils if kept too long. 果物はあまり長くおくと悪くなる

Ⓢ 上例のように自動詞の場合は「駄目[台無し]になる」。

② 「(人等を)甘やかす、(人等を甘やかして)性格を駄目にする」

Ⓢ 「甘やかして人から本来の価値(良さ)を奪い取ってしまう → 人を駄目にする、甘やかす」。

(ex) a spoilt child だだっ子

Spare the rod and spoil the child. むちを惜しめば子供をだめにする

Ⓢ 「かわいい子には旅をさせよ」という意味のことわざ。

③ 「(人の欲求等に)非常に気をつかう、大切に扱う」

(ex) Spoil yourself! (何でも)自分の気に入ったようにしなさい

Ⓢ 「自分を甘やかしなさい → 自分の欲求(思い)のままにしなさい」。

The hotel spoils guests. そのホテルは客に大サービスをしてくれる

Ⓢ 「客を甘やかす → 客に大いにサービスをする」。

spoil は名詞としても用いられ、以下のような意味になります。spoils と複数形で使われることが多いですね。

① 「略奪品、戦利品」

Ⓢ 「～から奪い取ったもの → 略奪品、戦利品」。

(ex) The treasure was taken as spoils of war.

その財宝は戦利品として取られた

② 「(選挙で勝った政党が得る)官職の役得、利権」

Ⓢ 「選挙に勝つことによって政党等が奪い取ったもの → 役得、利権」。

③ 「掘出し物」「収集物」「賞品」

Ⓢ 「苦労して奪い取ったもの → 掘り出し物、収集物、賞品」。

(105)state

state の『核』のイメージは「(立っている)状態・姿勢」です。

Ⓢ state は status(立場・状態)、あるいは stand と語源が同じ。

その『核』のイメージ通りの「状態、ありさま、形勢、事情」という意味が state にはまずありますね。

(ex) My father is in a poor state of health.

父の健康状態はよくない

They decided to preserve the forest in its natural state.

彼らはその森を自然のままに保存することに決めた

The authority declared[proclaimed] a state of emergency.

当局は非常事態宣言を発令した

state には「国家」「州」という意味もありますが、これは「国、自治体として威風堂々と立っている状態 → 国家、州」となったのです。

(ex) The railroads of Japan were once owned by the state.

日本の鉄道は以前は国有であった

There are fifty states in the United States (of America) .

アメリカ合衆国には50の州がある

a state bank[library, university] 州立銀行[図書館・大学]

次に動詞として「(明確に意見等を)述べる、言い表す」という意味があります。

(ex) Please state your name and address.

あなたの名前と住所を述べて下さい

The prime minister stated that he decided to resign.

総理は辞意を決めたと述べた

この由来は、state は動詞の場合、元々は「(自らの立場[状態]を)はっきりと示す」でした。

Please state your name and address.

そうすると上記の英文は「あなたの名前と住所をはっきりと示して下さい → あなたの名前と住所を述べて下さい」となったと見るといいのです。この state の名詞形は **statement** で「陳述、言明、申し立て」「政府の声明」という意味になります。

(ex) He made a correct[false] statement. 彼は正確な[間違った]陳述を行った

a written statement 陳述書

a joint statement 共同声明

The government issued[made] a statement condemning the invasion.
政府は侵略を非難する声明を発表した

(106)store

store の『核』のイメージは「必要なものを供給する」です。

(ex) They stored their ship with provisions.

彼らは船に食料を積み込んだ

㊦「船に食料を供給した」ということ。

The farmers stored vegetables for winter use.

農家の人達は冬に備えて野菜を蓄えた

㊦「(自身・場所に)供給する → 蓄える、保存[管]する」へと転じる。

名詞として以下のような意味にもなります。

①「蓄え、蓄積、貯蔵、持ち合わせ」

(ex) Mice and squirrels lay in a store of food for the winter.

ネズミやリスは冬に備えて食料を蓄える

a store of books 蔵書、図書在庫

They have plenty of rice in store. 彼らは大量の米を蓄えている

㊦in store で「蓄えて(られて)、用意して」。

②[stores で]「(食料・衣料・武器等の)備え、用意、備品」

㊦「供給され[蓄えられ]た物」ということ。

(ex) military stores 軍需品

③「豊富、多量、たくさん」

(ex) She has vast stores of experience.

彼女は経験を豊富に積んでいる

a store of evidence たくさんの証拠

They had stores of food. 彼らには食料の蓄えがあった

㊦a (great/ good) store of A、stores of A で「多量のA」。

カタカナ英語でおなじみのストアー、つまり「店、商店」という意味は、「必要な物

を供給してくれる場所」ということです。

(107)strain

strain は「ひも」をイメージさせます。しかもそのひもは緩んでいません。『核』のイメージは「ピンと張る(引っ張る)」です。そこから「(ひもで)きつくしぼる」という意味にも発展していきます。具体的に以下のような意味が生まれました。まず名詞の strain から。

①「張りつめること、強く引っ張られている状態、張る力」

會「ひもなどがピンと張った状態」。

(ex) The rope will not bear the strain?

ロープは張る力に耐えられないだろう

②「(心身への)負担」「(極度の)緊張、重荷」「過労」

會「心がピンと張った状態」。又は「心をピンと張りつめさせるようなもの」。

(ex) I couldn't stand the strain of the job.

私はその仕事の重荷に耐えられなかった

This will be a great strain on her nerves.

これは彼女の神経には重圧になるだろう

He was suffering from mental strain.

彼は精神的過労で参っていた

③「(筋肉の)筋違い」

會「筋肉や筋が(限界を超えて)ピンと張った状態」。

次に動詞の strain です。

①「(針金・綱・糸等を)ぴんと張る、張りつめる」 =stretch

會「ひも(状の物)をピンと張る」「きつく縛る」。

(ex) The weight of the container strained the rope almost to the breaking point.

コンテナの重みで綱が切れんばかりだった

She strained the bandage over the wound. 彼女は傷口に包帯を巻いた

②「～を最大限に使う」「精いっぱい働かせる」

①「ピンと張る → 最大限に伸ばす → 最大限に使う」。

- (ex) I strained my voice. 私は声を張り上げた
She strained her nerves too much and got ill.
彼女はあまりに気を張りつめて病気になった
The man strained his eyes to see it more clearly.
その男はもっとはっきりそれを見ようと目を凝らした

③「(使いすぎて)～を痛める」「(筋を)違える」

①「限界を超えてピンと張る」。

- (ex) He strained her eyes by reading small print.
彼は小さい活字の本を読んで目を痛めてしまった
I strained a muscle in my leg. 足の筋を違えた

④「(意味等を)をこじつける」「(権力等を)乱用する」「(法等を)ねじ曲げる」

①「範囲を超えて(逸脱して)引っ張る」。

- (ex) The lawyer strained the truth. その弁護士は事実を曲げた
You are straining the meaning. 君は意味を曲解している

strain は「ひも」をイメージさせると言いましたが、「子々孫々ひものようにピンと(脈々と)つながっているもの → 血統、系統、種族」という意味がそこから生まれました。そして「そういった血統が(共通して持つ)特質 → 特徴、特質、種類、性質」という意味が生まれたわけです。

- (ex) He comes from a good strain. 彼は良家の出である
There is a strain of cynicism in him. 彼には冷笑的なところがある

また「話し方」「文体」「調子」という意味にもなります。これも「一本のひものように流れている(文章・話し方等の)性質、特徴」ということです。

- (ex) in the same strain 同じ調子で

さてついからですから strain の親戚を紹介しましょう。

それが stress(ストレス、緊張)、string(ひも・糸)、strict(厳しい、厳格な)。これらの語源はすべて「(ひもで)引っ張る(られた)」「(ひもで)縛る(締めつける)」です。

①string に関しては「ひも」そのもの。

straight, stretch も同じ語源です。straight は「引っ張られた → 真っ直ぐな(に)」。

stretch は「引っ張る → 伸ばす、広げる」となったのです。

他にも色々あり、restrict は re(後ろに)+strict で「後ろにきつく縛る → 制限する、限定する」となりました。

constrict は con(完全に)+strict で「完全にきつく縛る → 締めつける」。

distrain は dis(離す)+strain で「離れたところに物を引っ張る → (財産を)差し押さえる」。

restrain は re(後ろに)+strain で「後ろにきつく縛る → 束縛する、強いる」となるのです。

(108)strange

strange の『核』のイメージは「それ以前(これまで)に見た[聞いた]ことがない」です。

strange には「見知らぬ、見た[聞いた]こともない、初めての、未知の」という『核』のイメージそのままの意味がありますね。

會反意語は familiar(なじみがある、よく知っている)。

(ex) a strange country 未知の国

The town was strange to him. 彼にはその町は初めてだった

また strange には「奇妙な、変な、不思議な、一風変わった」という意味がありますが、それ以前(これまで)に見た[聞いた]ことがないからこそ、奇妙にも、変にも、不思議にも、一風変わっても(当人には)見える[聞こえる]わけです。

會反意語は ordinary(普通の)。

(ex) It was a strange accident. それは奇妙な事件だった

It is strange that he has not come to the party.

彼がパーティに来ないなんて不思議だ

「(場所・物・事に)不慣れな、不案内な、経験のない」という意味が strange にはまたあるのも、これで納得がいきますね。

(ex) I am still strange to the new school.

私はまだその新しい学校に慣れていない

それから「体の調子がおかしい」「落ち着かない」「不愉快な」という意味になることもあります。

(ex) I felt strange. どうも体の調子がよくなかった

strange は stranger で名詞として以下のような意味がありますが、「それ以前(これまで)に見た【聞いた】ことがないような人間」がその意味のベースです。

① 「見知らぬ人、他人」

「珍しい人」

(ex) He was a total[perfect] stranger to Nancy.

彼はナンシーにとってはまったく見ず知らずの人間だった

② 「(その土地に)不案内な人、不慣れな人」

(ex) I am a stranger here. 私は当地は初めてです

③ 「(～の)部外者」

「(～に)経験【なじみ】のない人」

(ex) My sister is quite a stranger to baseball.

姉は野球がまったくわかりません

(109)submit

submit の『核』のイメージは「～の下に置く、～の元に送る」です。

① 「sub(下)+mit(置く・送る)」が語源。

そこから以下のような意味が生まれました。

① [submit to A] 「Aに屈する、服従する」「Aに降参する」「Aを甘んじて受け入れる」「A(手術等)を受ける」

① これは submit oneself to A の oneself の省略と考えるといい。つまり「自分自身をAの下に置く(元へと送る)」から上記の意味が発展した。

(ex) They submitted to authority. 彼らは権威に服従【屈伏】した

He submitted tamely to our advice.

彼は我々の忠告をおとなしく受け入れた[忠告に従った]

He refused to submit himself to ridicule.

彼は断固としてあざけりに屈しなかった

會上例のように oneself を付けた表現もO.K.

②[submit A to B] 「AをBに提出する」

會「AをBの元に送る」ということ。

(ex) I submitted my homework on Friday. 私は宿題を金曜日に提出した

The final report was submitted to the board of directors.

最終答申は理事会に提出された

③[submit that S+V~] 「~ではないかと意見を申し述べる、提言する」

會「提案・意見等を公の元に置く → 提案・意見を申し立てる、提言する」。

(ex) I submit that your decision is wrong.

失礼ながらあなたの決定は間違っていると申し上げます

(110)sum

sum の『核』のイメージは「合計(する)」です。

會「一番高いところ」が語源。古代ローマ人はあるものの合計を、そのものの一番上に書いたことに由来する。ちなみに summit(頂上)のsumも「一番高いところ」という意味。

そこから以下のような意味が生まれました。

①[the sum (total)] 「(数量の)合計、総計、総額」

(ex) I calculate the sum total of the expenses. 私は費用の総額を計算した

會all sum 等とは言わないので注意。

What is the sum of 10 and 15? 10+15はいくつですか

②[the sum] 「(十分ではないが)すべて、総体」

會望ましくないことなどに用いることが多い。

(ex) That is the sum (total) of what he has done in the political world for the last 10 years.

それが彼が過去10年間政界でやってきたことの全てだ

③ [the sum (total)] 「大意、概要」

會「話の全体を合計した(まとめた)もの → 大意、概要」。

(ex) in sum 要するに、つまり =in short, to sum up

I know the sum (and substance) of the report.

その報告の概要は知っている

④ 「(ある)金額」

(ex) a large[small] sum of money 多[少]額の金

She spent large sums in Paris. 彼女はパリで大金を使った

sum は動詞としても用いられます。up とセットで用いられることが多いですね。

① 「～を合計する、総計する」

(ex) He summed up the bills from the grocery.

彼は食料品店からの勘定書を合計した

② 「～を要約する、かいつまんで言う」

會「様々な話の内容を合計する → 話等を要約する」。

(ex) It is summed up in a single word. それは1語に要約される

The judge summed up the case for the jury.

裁判官は訴訟の要点を陪審員たちに要約した

Sum up the contents in fifty words. 50語で内容を要約せよ

③ 「～を(素早く)理解する」

會「(人の)性格・事態のポイントをまとめる → 要旨・状況をつかむ → 理解する」。

(ex) I summed her up in a minute. すばやく彼女の人柄を見て取った

(111) suppose

suppose については、意味自体は「思う、想像する」と覚えておけば十分なのですが、その(意外な)語法をおさえておきたい語と言えます。

① Suppose (that) S + V ~

④suppose を用いた命令文から生まれた慣用的な言い回し。「提案」「命令」「問いかけ」の3つの可能性がある。

(1) 「～してみてもうどうだろう」 [提案]

(ex) Suppose we eat out this evening. 今晩は外で食事するのはどうだろう

④Let's do[願]～! よりも控えめな表現になる。

(2) 「～してくれませんか」「～だと想像してみてください」 [命令]

(ex) Suppose you make me a cup of coffee! コーヒー入れてもらえますか

Suppose this soccer ball is the earth.

=Suppose this soccer ball to be the earth.

このボールが地球だと仮定しよう

(3) 「～したらどうなるだろうか(どうしようか)?」 [問いかけ]

(ex) Suppose she does not come? もし彼女が来なかったら?

Suppose it starts raining, what'll we do?

もし雨が降ってきたらどうしよう

④suppose の直後の節内には「確実性の低い」内容の場合、仮定法の時制が用いられることがある。

(ex) Suppose you were in my place.

もし君が私の立場にあるとしたら(どうしますか)

Suppose you did the dishes first.

まず食器洗いを済ませたらどうかしら

②suppose[supposing] S+V~, S+V…「もし～なら、…だろうに」

(ex) Suppose[supposing] your father saw us together, what would he say?

君の父さんが僕達と一緒にいるのを見たら、なんて言うだろう

④ポイントは以下の3つ。

(1) 「supposed (that) S+V～」という形はない。

(2) 「Suppose (that) S+V～」は命令文なので、基本的に文頭で用いる。

(3) 仮定法で使うこともある。つまり事実に反する仮定をする場合、後続の節の時制は仮定法における時制の使い方と同じになる。

(ex) Suppose you were President, what would you do?

もし君が大統領だったらどうしますか

③be supposed to do[原形]～
=be expected to do[原形]～

(1) 「～すると思われている」

(ex) He is supposed to be innocent. 彼は無罪だと思われている
=It is supposed that he is innocent.

(2) 「～するはずだ、～することになっている」

(ex) You are not supposed to smoke in this room.
この部屋では禁煙になっている
會上例のように否定文で用いることが多い。

(3) 「～すべきだ」「～しなければならない」

(ex) I am supposed to leave now. もう出発しなければなりません
Everybody is supposed to observe traffic regulations.
誰もが交通規則を守らなければならない

(112)suspend

suspend の『核』のイメージは「下に吊るす」です。
そこから以下のような意味が生まれました。

① 「(～を)つるす、ぶらさげる」 =hang

會「何かにつっかけて下に吊るす」。

(ex) I suspended a lamp from the ceiling. 天井からランプをつるした

② 「(～を水中[空中]に)漂わせる」

會上から吊るしたように揺らめいて見えるところから。

(ex) The smoke was suspended in the air. 煙は空中に漂っていた
Fat particles was suspended in milk.
脂肪の粒子はミルクの中に浮いていた

③ 「(事業・活動等を)一時中止する、停止する」

會「事業・活動を宙ぶらりんの(動かない)状態にする」ということ。

(ex) They suspended payment. 彼らは支払いを停止した
All bus services were suspended by the hurricane.
暴風雨のためバスの運行はすべて止まった
a suspended game 一時停止試合
Ⓢ野球用語。残されたイニングを後日行う

④ 「(決定・執行等を見合わせる、保留にする)」

「(罰として人を)停職[停学]にする、出場停止にする」

Ⓢ「人・決定・執行を宙ぶらりんの状態にする」。首根っこをつかまれて前にも後ろにも進めない(動けない)状態のイメージ。人の場合、退学・解雇になったわけではないが、本来の活動ができない。

(ex) We suspended final judgment. 我々は最終判断を見合わせた
a suspended sentence 執行猶予の判決
The student was suspended from school. その学生は停学処分にされた

(113)time

time の『核』のイメージは「時・時間」です。
代表的な time の意味を挙げてみましょう。

①[不可算]「時間、時期、時刻」

Ⓢ「期間」「間」という意味では可算名詞。

(ex) He'll be back in a short time. 彼は間もなく戻るでしょう

②[可算]「～回、～度」

(ex) She cooks for the family three times a day.

彼女は1日に3回家族のために料理を作る

③[～ times]「～倍」

(ex) I have a hundred times as many books as you have.

僕は君の100倍もの本を持ってる

④[a time / times]「時代」 =age

「時勢、情勢」

「景気」

(ex) The English of Shakespeare is different from the English of our times.

シェークスピアの英語は我々の時代の英語とは違う
from ancient times 大昔から

最後に time を用いた慣用的な表現をまとめてみましょう。

1. at this time of day 「(一日の中の)この時間帯は」

(ex) We are very busy at this time of day.

一日の中のこの時間帯はとても忙しいです

2. The first[next / last] time S+V~, S+V…

「初めて[次に・最後に]~したときには…」

☞ The first[next / last] time をワンセットで接続詞と見るといい。

(ex) The first time I went to Paris, I didn't visit the Eiffel Tower.

初めてパリに行ったときには、エッフェル塔は訪れませんでした

3. It is the first time (that) S have+p.p.~

「Sが~するのは今回が初めてだ」

(ex) It is the first time he has been upset.

彼が動揺したのは今回が初めてだ

4. It is [about / high] time S+V(過去形)~

「[もうそろそろ / とくに]Sは~してもよい頃だ」

(ex) It is about time you went to bed. そろそろ寝る頃ですよ

5. (OO) ahead of time 「(OO)早めに」

☞ OO部分に「20分」「1時間」といった時間を表す表現がくる。

(ex) He arrived ahead of time. 彼は定刻前に着いた

Flight 202 from Narita arrived one hour ahead of time.

成田発202便は、予定より1時間前に到着した

6. by the time S+V~, S+V… 「~するころまでには…」

☞ by the time でワンセットで接続詞と見るといい。

(ex) I will have a house of my own by the time I retire.

退職する頃では自分の家が持てるだろう

7. at times 「時々」 =sometimes

(ex) At times I read books. 時々読書をします

8. at all times 「いつも」 =always

(ex) We must be ready for the unexpected at all times.

我々は不測の事態に常に準備していかなくてはならない

9. at any time 「いつでも」

(ex) You can come at any time. いつでも来ていいですよ

10. at a time 「一度に」「続けざまに」

(ex) I'll answer your questions one at a time.

一度に1つずつ君たちの質問にお答えします

I had to work for days at a time.

幾日も続けざまに働かなければならなかった

☞ at one time は「同時に」「一時は、かつて」。

(ex) I can watch TV and do my homework at one time.

私はテレビを見るのも宿題をするのと同時にできます

We had been friends at one time (or another).

私達はかつて友達だった

11. at the best of times 「一番いいときに」

(ex) You can come at the best of times. 一番いいときにお越しください

12. at the same time (1) 「同時に」 (2) 「それにもかかわらず、その一方で」

☞ 「それにもかかわらず」という場合、節頭や文頭で用いる。

(ex) They left at the same time. 彼らは同時に出発した

She laughed and cried at the same time.

彼女は同時に泣きかつ笑った(泣き笑いをした)

I hate him, but, at the same time, I pity him.

私は彼が憎いが、その一方で彼を哀れんでもいるのだ

13. in time 「やがて」

(ex) He graduated in time. やがて彼は卒業した

14. in time for A 「Aに間に合って」

(ex) We were in time for the meeting. 私達は会合に間に合った

15. **in no time** 「まもなく、ほどなくして」 「瞬時に」
 (ex) She copied it in no time. 彼女はたちまちそれをコピーした
16. **on time** 「ちょうど(間に合って)」
 (ex) The train arrived on time. 列車は定刻に到着した
17. **behind the times** 「時代後れの」
 ㊦ **behind time** は「遅刻して」。
 (ex) The measures is behind the times on some points.
 いくつかの点でその対策は時代後れです
18. **for the time being** 「しばらくの間」 「さしあたって」
 (ex) The money will do for the time being .
 その金で当分の間はやっていけます
19. **from time to time** 「時々」 =sometimes
 (ex) The man came to see her from time to time .
 その男はときどき彼女をを訪ねて来た
20. **keep up with the times** 「時代の流れに遅れないようについて行く」
 (ex) I try to keep up with the times.
 時代の流れに遅れないよう努力しています
21. **take one's time** 「ゆっくり時間をかける」
 (ex) Please take your time. どうぞごゆっくり(時間をおかけください)
22. **for the first time** 「はじめて」
 (ex) For the first time in her life she fell in love.
 彼女は生まれて初めて恋をした
23. **kill time** 「暇をつぶす」 「時間つぶしをする」
 (ex) I took up painting to kill time. 暇つぶしに絵をはじめました

(114) tongue

tongue は『核』のイメージは「舌」であり、代表的な意味も「舌」でいいのですが、

もう一つの意味として「言葉」「言語」という意味をおさえておきましょう。

(ex) The boy put[stuck] out his tongue. その少年は舌を出した
Surprise robbed her of her tongue.

驚きのあまり彼女は口がきけなくなった

She has a ready tongue. 彼女は口が達者だ

Japanese is my native[mother] tongue. 日本語が私の母国語です

④ native[mother] tongue で「母国語」。

The Greek tongue is very difficult to learn.

ギリシャ語の学習は大変困難だ

更に tongue を用いた慣用表現をおさえておきましょう。

① on the tip of one's tongue 「口先まで出かかって」「思い出しかけて」

(ex) Her name? Wait, wait, it's right on the tip of my tongue.

彼女の名前ですか。ちょっと待ってください。口先まで出かかっているんですが…

② hold one's tongue 「黙っている」

(ex) Hold your tongue till I finish explaining it.

私がそれを説明し終えるまで、黙っていなさい

③ a slip of the tongue 「失言、口を滑らすこと、言い損ない」

(ex) If I did say such a thing, it was just a slip of the tongue.

もし私がそのようなことを言ったとしたら、口が滑っただけのことです

(115) trial

trial の『核』のイメージは「試み(ること)」です。

そこから以下のような意味が生まれました。

① 「試み」「企て」

(ex) He passed the entrance examination on his second trial.

彼は2度目の試みでその入試に通った

The plane made a trial for landing. 乗組員は上陸を試みた

② 「試し、試験、試行」

(ex) the trial of a new car 新車のテスト

I did it by way of trial. 試しにそれをやってみた

He gave the machine another trial. 彼はもう一度その機械を試運転した

I gave him a trial. 試しに彼を雇った

◎trial には「試用[見習]期間」「試されている状態」という意味もある。

③ 「試練、苦難、辛苦」

◎「神・運命の人に対する試み → 試練、苦難」。

(ex) Can he stand the trial? 彼はその試練に耐えられるであろうか

Old age has many trials. 年を取ると苦労が多い

④ 「やっかい者[物]」

◎「人の忍耐の限度を試すような存在 → やっかい者[物]」。

(ex) The obstinate boy was a trial to his family.

その強情な子は家族にとっての困りものであった

⑤ 「裁判、公判」

◎「有罪無罪の判定を試される場」ということ。

(ex) a criminal trial 刑事裁判

the trial of a man for murder 殺人犯の裁判

He was put on trial. 彼は裁判にかけられた

◎bring A to trial / put A on trial で「Aを裁判にかける」。

なお、trial の動詞形が try なので、try には「～を裁判にかける」

「(事件を)審理する」という意味もあるので注意。

(ex) She was tried for murder. 彼女は殺人罪で裁判にかけられた

Who will try this case? この事件は誰が審理するのですか

⑥ 《イディオム》

(1) on trial

1. 「試しに、試験的に」

(ex) Relax: you are not on trial.

かたくならないで。試験されているわけじゃないから

I took him for a month on trial. 試しに彼を1カ月使ってみた

2. 「公判中で、審理中で」

(ex) The case is now on trial . その事件は今公判中です

(2)trial and error 「試行錯誤」

① 「試行錯誤」とは、望ましい結果を得るまで試みと失敗を繰り返してみる方法のこと。

(116)trick

trick の『核』のイメージは「策略」です。
そこから以下のような意味が生まれました。

① 「たくらみ、計略」

「ごまかし」

「幻覚、錯覚」

(ex) We tried tricks to deceive them.

我々は彼らをだまそうといろいろな策略を試みた

The criminal got money from the old man by a trick.

犯人はそのお年寄りをごまかして金をまきあげた

It was a mere trick of vision. それは単なる幻覚だった

It was not a trick of senses. それは気のせいではなかった

② 「芸当」「手品」「トリック」

(ex) a card trick トランプの手品

You cannot teach an old dog new tricks. ④ことわざ。

老犬に新しい芸は教えられない → 老人に新しいことは無理だ

③ 「(悪意のない)いたずら、わるさ」

(ex) Jack is always playing tricks on his classmates.

ジャックはいつも同級生にいたずらばかりしている

④ 「こつ」「(物事をうまくやる)秘けつ」

(ex) His father taught him the tricks of trade.

彼の父が彼に商売のこつを教えた

動詞として「(～を)だます、ごまかす」という意味にもなります。また以下のような語法もあります。

[trick A(人) into doing~] 「Aをだまして～させる」

[trick A(人) out of B(物)] 「AをだましてBを奪う」

(ex) He tricked her into marrying him. 彼は彼女をだまして自分と結婚させた
They tricked him out of his money. 彼らは彼をだまして金を奪った

(117)upset

upset の『核』のイメージは「～をひっくり返す」です。

罨「本来下のものを上(up)にして置く(set する)」ということ。

活用は upset - upset - upset

以下の upset は『核』のイメージから容易に想像がつかますね。

(ex) My little son upset the table.

うちの幼い息子はそのテーブルをひっくり返した

Their boat was upset. 彼らのボートは転覆した

更に「計画などをひっくり返す → 計画などを台無しにする、駄目にする」という意味にもなります。

(ex) The storm upset our plans. 嵐で僕らの計画はだめになった

また「人の心をひっくり返す → 人の心を乱す、狼狽させる」という意味にもなりません。

(ex) The bad news upset the family. 悪い知らせにその家族は狼狽した

Nancy was upset by his letter. 彼の手紙にナンシーは気が動転した

他にも「正常な状態をひっくり返す → ①胃腸の具合を悪くする

②機械の調子を狂わせる

③組織・秩序を混乱させる、乱す」

という意味でも使われたりします。

(ex) The raw oysters upset her stomach. 彼女は生ガキで胃の具合が変になった
My dog upset my room. うちの犬が部屋をごった返しにしまった
會時に upset は完全に形容詞化して用いられることもある。

(ex) He had an upset stomach. 彼は胃を悪くした
an upset toy box ひっくり返ったおもちゃ箱
His house was upset. 彼の家はごちゃごちゃに散らかっていた

(118)urge

urge の『核』のイメージは「せきたてる」「懇願する」です。
まず「せきたてる → 急がせる、駆り立てる、押し進める」と意味が発展します。

(ex) I urged his departure. 私は彼の出発を急がせた
He urged his horse on. 彼は馬をかり立てた
They urged forward the enterprise. 彼らはその事業を押し進めた
He urged himself on in spite of his weariness.
彼は疲れていたが自らをむち打って進んだ

また「せきたてる → ~するよう強く促す、勧める、催促する」という意味にもなります。

(ex) We urged him to resign. 我々は彼に辞任するよう強く勧めた
=We urged his resignation.
=We urged that he should resign.
My father urged me to study law.
父は私に法律の勉強をするようしきりに勧めた

また「~を強く勧める → ~を強く主張する、力説する」という意味にもなります。

(ex) He urged the need of haste. 彼は急ぐ必要のあることを力説した
The president urged an end to the arms race.
大統領は軍備競争の終結を強く説いた
The politician urged that the tax system (should) be reformed.
その政治家は税制度を改革すべきだと主張した

urge は名詞として用いられると「(自身の中の)強くせきたてるもの・思い → (～したいという)衝動」という意味になります。

(ex) I often feel an urge to quit my job and go abroad.
私はよく仕事を辞めて海外に行きたいという衝動にかられる

(119)utter

utter の『核』のイメージは「全部(すっかり)外に出す」です。

utter には形容詞と動詞がありますが、まず形容詞の場合、「全部(すっかり)外に出してしまった → 全くの、完全な、きっぱりした、断固とした」という意味になります。

(ex) utter darkness 真っ暗やみ
She is an utter stranger to me. 私は彼女を全く知らない

動詞の場合、『核』のイメージから以下の2つの意味になります。

①「(声・言葉等を)発する、出す」

會「声・言葉を全部(すっかり)外に出す」。

(ex) I couldn't utter a word under[from] the strain.
緊張で私は一言も言うことができなかった

②「(考え等を)述べる」

會「考えを全部(すっかり)外に出す」。

(ex) He uttered his ideas. 彼は自分の考えを述べた

(120)view

view の『核』のイメージは「見る」です。

そこから以下のような意味が生まれました。

①「眺め、景色、風景」

(ex) We took a house with a view. 見晴らしのいい家を借りた

② 「(物の)見方、考え方」「(個人的な)考え」

(ex) a view of life 人生観

in my view 私の考えでは

What are your views on this subject?

この問題に関するあなたのご意見 はいかがですか

③ 「視界、視野、視力」

(ex) Land came into view. 陸地が見えてきた

④ 「意図」「目的」

(ex) He had a view of going to Europe.

彼はヨーロッパへ行くことをもくろんでいた

It did not meet his mother's views.

それは彼の母の意図に反することだった

He went to university with a view to eventually becoming a politician.

彼は最終的には政治家になる目的で大学に進学した

☞with a view to doing~ で「~するために」。

⑤ 「見地、観点」 =viewpoint

(ex) From a medical point of view, she should quit smoking.

医学的見地からすれば、彼女は喫煙をやめるべきだ

view は動詞としても用いられ、その場合「(注意して)~を見る、眺める、調べる」という意味になります。

(ex) We went to view the house. 私たちはその家を見に行った

また view A as B で「AをBとみなす」という語法があります。

(ex) They are viewed as models. それらは模範[手本]と見られている

I view him as a conservative. 私は彼を保守主義者だと見ている

He views every minor setback[つまずき] as a disaster[大失敗].

どんな小さなつまずきでも大失敗のように思ってしまう

(121) volume

volume の『核』のイメージは「本」「量」です。

volume の語源は「巻物」という意味のラテン語で、それが「本・書物」（昔は書物は巻物だった）、更に「巻物の大きさ、太さ → 量、体積、容積」へと意味が派生していったのです。

① 「巻、冊」

① ② ③ ④ ⑤
⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕
㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚
㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟
㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵
㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺
㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄
㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉
㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎
㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓
㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘
㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝
㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢
㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧
㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬
㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱
㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶
㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻
㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀
㐁 㐂 㐃 㐄 㐅
㐆 㐇 㐈 㐉 㐊
㐋 㐌 㐍 㐎 㐏
㐐 㐑 㐒 㐓 㐔
㐕 㐖 㐗 㐘 㐙
㐚 㐛 㐜 㐝 㐞
㐟 㐠 㐡 㐢 㐣
㐤 㐥 㐦 㐧 㐨
㐩 㐪 㐫 㐬 㐭
㐮 㐯 㐰 㐱 㐲
㐳 㐴 㐵 㐶 㐷
㐸 㐹 㐺 㐻 㐼
㐽 㐾 㐿 㑀 㑁
㑂 㑃 㑄 㑅 㑆
㑇 㑈 㑉 㑊 㑋
㑌 㑍 㑎 㑏 㑐
㑑 㑒 㑓 㑔 㑕
㑖 㑗 㑘 㑙 㑚
㑛 㑜 㑝 㑞 㑟
㑠 㑡 㑢 㑣 㑤
㑥 㑦 㑧 㑨 㑩
㑪 㑫 㑬 㑭 㑮
㑯 㑰 㑱 㑲 㑳
㑴 㑵 㑶 㑷 㑸
㑹 㑺 㑻 㑼 㑽
㑾 㑿 㒀 㒁 㒂
㒃 㒄 㒅 㒆 㒇
㒈 㒉 㒊 㒋 㒌
㒍 㒎 㒏 㒐 㒑
㒒 㒓 㒔 㒕 㒖
㒗 㒘 㒙 㒚 㒛
㒜 㒝 㒞 㒟 㒠
㒡 㒢 㒣 㒤 㒥
㒦 㒧 㒨 㒩 㒪
㒫 㒬 㒭 㒮 㒯
㒰 㒱 㒲 㒳 㒴
㒵 㒶 㒷 㒸 㒹
㒺 㒻 㒼 㒽 㒾
㒿 㓀 㓁 㓂 㓃
㓄 㓅 㓆 㓇 㓈
㓉 㓊 㓋 㓌 㓍
㓎 㓏 㓐 㓑 㓒
㓓 㓔 㓕 㓖 㓗
㓘 㓙 㓚 㓛 㓜
㓝 㓞 㓟 㓠 㓡
㓢 㓣 㓤 㓥 㓦
㓧 㓨 㓩 㓪 㓫
㓬 㓭 㓮 㓯 㓰
㓱 㓲 㓳 㓴 㓵
㓶 㓷 㓸 㓹 㓺
㓻 㓼 㓽 㓾 㓿
㔀 㔁 㔂 㔃 㔄
㔅 㔆 㔇 㔈 㔉
㔊 㔋 㔌 㔍 㔎
㔏 㔐 㔑 㔒 㔓
㔔 㔕 㔖 㔗 㔘
㔙 㔚 㔛 㔜 㔝
㔞 㔟 㔠 㔡 㔢
㔣 㔤 㔥 㔦 㔧
㔨 㔩 㔪 㔫 㔬
㔭 㔮 㔯 㔰 㔱
㔲 㔳 㔴 㔵 㔶
㔷 㔸 㔹 㔺 㔻
㔼 㔽 㔾 㔿 㕀
㕁 㕂 㕃 㕄 㕅
㕆 㕇 㕈 㕉 㕊
㕋 㕌 㕍 㕎 㕏
㕐 㕑 㕒 㕓 㕔
㕕 㕖 㕗 㕘 㕙
㕚 㕛 㕜 㕝 㕞
㕟 㕠 㕡 㕢 㕣
㕤 㕥 㕦 㕧 㕨
㕩 㕪 㕫 㕬 㕭
㕮 㕯 㕰 㕱 㕲
㕳 㕴 㕵 㕶 㕷
㕸 㕹 㕺 㕻 㕼
㕽 㕾 㕿 㖀 㖁
㖂 㖃 㖄 㖅 㖆
㖇 㖈 㖉 㖊 㖋
㖌 㖍 㖎 㖏 㖐
㖑 㖒 㖓 㖔 㖕
㖖 㖗 㖘 㖙 㖚
㖛 㖜 㖝 㖞 㖟
㖠 㖡 㖢 㖣 㖤
㖥 㖦 㖧 㖨 㖩
㖪 㖫 㖬 㖭 㖮
㖯 㖰 㖱 㖲 㖳
㖴 㖵 㖶 㖷 㖸
㖹 㖺 㖻 㖼 㖽
㖾 㖿 㗀 㗁 㗂
㗃 㗄 㗅 㗆 㗇
㗈 㗉 㗊 㗋 㗌
㗍 㗎 㗏 㗐 㗑
㗒 㗓 㗔 㗕 㗖
㗗 㗘 㗙 㗚 㗛
㗜 㗝 㗞 㗟 㗠
㗡 㗢 㗣 㗤 㗥
㗦 㗧 㗨 㗩 㗪
㗫 㗬 㗭 㗮 㗯
㗰 㗱 㗲 㗳 㗴
㗵 㗶 㗷 㗸 㗹
㗺 㗻 㗼 㗽 㗾
㗿 㘀 㘁 㘂 㘃
㘄 㘅 㘆 㘇 㘈
㘉 㘊 㘋 㘌 㘍
㘎 㘏 㘐 㘑 㘒
㘓 㘔 㘕 㘖 㘗
㘘 㘙 㘚 㘛 㘜
㘝 㘞 㘟 㘠 㘡
㘢 㘣 㘤 㘥 㘦
㘧 㘨 㘩 㘪 㘫
㘬 㘭 㘮 㘯 㘰
㘱 㘲 㘳 㘴 㘵
㘶 㘷 㘸 㘹 㘺
㘻 㘼 㘽 㘾 㘿
㙀 㙁 㙂 㙃 㙄
㙅 㙆 㙇 㙈 㙉
㙊 㙋 㙌 㙍 㙎
㙏 㙐 㙑 㙒 㙓
㙔 㙕 㙖 㙗 㙘
㙙 㙚 㙛 㙜 㙝
㙞 㙟 㙠 㙡 㙢
㙣 㙤 㙥 㙦 㙧
㙨 㙩 㙪 㙫 㙬
㙭 㙮 㙯 㙰 㙱
㙲 㙳 㙴 㙵 㙶
㙷 㙸 㙹 㙺 㙻
㙼 㙽 㙾 㙿 㚀
㚁 㚂 㚃 㚄 㚅
㚆 㚇 㚈 㚉 㚊
㚋 㚌 㚍 㚎 㚏
㚐 㚑 㚒 㚓 㚔
㚕 㚖 㚗 㚘 㚙
㚚 㚛 㚜 㚝 㚞
㚟 㚠 㚡 㚢 㚣
㚤 㚥 㚦 㚧 㚨
㚩 㚪 㚫 㚬 㚭
㚮 㚯 㚰 㚱 㚲
㚳 㚴 㚵 㚶 㚷
㚸 㚹 㚺 㚻 㚼
㚽 㚾 㚿 㞀 㞁
㞂 㞃 㞄 㞅 㞆
㞇 㞈 㞉 㞊 㞋
㞌 㞍 㞎 㞏 㞐
㞑 㞒 㞓 㞔 㞕
㞖 㞗 㞘 㞙 㞚
㞛 㞜 㞝 㞞 㞟
㞠 㞡 㞢 㞣 㞤
㞥 㞦 㞧 㞨 㞩
㞪 㞫 㞬 㞭 㞮
㞯 㞰 㞱 㞲 㞳
㞴 㞵 㞶 㞷 㞸
㞹 㞺 㞻 㞼 㞽
㞾 㞿 㟀 㟁 㟂
㟃 㟄 㟅 㟆 㟇
㟈 㟉 㟊 㟋 㟌
㟍 㟎 㟏 㟐 㟑
㟒 㟓 㟔 㟕 㟖
㟗 㟘 㟙 㟚 㟛
㟜 㟝 㟞 㟟 㟠
㟡 㟢 㟣 㟤 㟥
㟦 㟧 㟨 㟩 㟪
㟫 㟬 㟭 㟮 㟯
㟰 㟱 㟲 㟳 㟴
㟵 㟶 㟷 㟸 㟹
㟺 㟻 㟼 㟽 㟾
㟿 㠀 㠁 㠂 㠃
㠄 㠅 㠆 㠇 㠈
㠉 㠊 㠋 㠌 㠍
㠎 㠏 㠐 㠑 㠒
㠓 㠔 㠕 㠖 㠗
㠘 㠙 㠚 㠛 㠜
㠝 㠞 㠟 㠠 㠡
㠢 㠣 㠤 㠥 㠦
㠧 㠨 㠩 㠪 㠫
㠬 㠭 㠮 㠯 㠰
㠱 㠲 㠳 㠴 㠵
㠶 㠷 㠸 㠹 㠺
㠻 㠼 㠽 㠾 㠿
㡀 㡁 㡂 㡃 㡄
㡅 㡆 㡇 㡈 㡉
㡊 㡋 㡌 㡍 㡎
㡏 㡐 㡑 㡒 㡓
㡔 㡕 㡖 㡗 㡘
㡙 㡚 㡛 㡜 㡝
㡞 㡟 㡠 㡡 㡢
㡣 㡤 㡥 㡦 㡧
㡨 㡩 㡪 㡫 㡬
㡭 㡮 㡯 㡰 㡱
㡲 㡳 㡴 㡵 㡶
㡷 㡸 㡹 㡺 㡻
㡼 㡽 㡾 㡿 㢀
㢁 㢂 㢃 㢄 㢅
㢆 㢇 㢈 㢉 㢊
㢋 㢌 㢍 㢎 㢏
㢐 㢑 㢒 㢓 㢔
㢕 㢖 㢗 㢘 㢙
㢚 㢛 㢜 㢝 㢞
㢟 㢠 㢡 㢢 㢣
㢤 㢥 㢦 㢧 㢨
㢩 㢪 㢫 㢬 㢭
㢮 㢯 㢰 㢱 㢲
㢳 㢴 㢵 㢶 㢷
㢸 㢹 㢺 㢻 㢼
㢽 㢾 㢿 㣀 㣁
㣂 㣃 㣄 㣅 㣆
㣇 㣈 㣉 㣊 㣋
㣌 㣍 㣎 㣏 㣐
㣑 㣒 㣓 㣔 㣕
㣖 㣗 㣘 㣙 㣚
㣛 㣜 㣝 㣞 㣟
㣠 㣡 㣢 㣣 㣤
㣥 㣦 㣧 㣨 㣩
㣪 㣫 㣬 㣭 㣮
㣯 㣰 㣱 㣲 㣳
㣴 㣵 㣶 㣷 㣸
㣹 㣺 㣻 㣼 㣽
㣾 㣿 㤀 㤁 㤂
㤃 㤄 㤅 㤆 㤇
㤈 㤉 㤊 㤋 㤌
㤍 㤎 㤏 㤐 㤑
㤒 㤓 㤔 㤕 㤖
㤗 㤘 㤙 㤚 㤛
㤜 㤝 㤞 㤟 㤠
㤡 㤢 㤣 㤤 㤥
㤦 㤧 㤨 㤩 㤪
㤫 㤬 㤭 㤮 㤯
㤰 㤱 㤲 㤳 㤴
㤵 㤶 㤷 㤸 㤹
㤺 㤻 㤼 㤽 㤾
㤿 㥀 㥁 㥂 㥃
㥄 㥅 㥆 㥇 㥈
㥉 㥊 㥋 㥌 㥍
㥎 㥏 㥐 㥑 㥒
㥓 㥔 㥕 㥖 㥗
㥘 㥙 㥚 㥛 㥜
㥝 㥞 㥟 㥠 㥡
㥢 㥣 㥤 㥥 㥦
㥧 㥨 㥩 㥪 㥫
㥬 㥭 㥮 㥯 㥰
㥱 㥲 㥳 㥴 㥵
㥶 㥷 㥸 㥹 㥺
㥻 㥼 㥽 㥾 㥿
㦀 㦁 㦂 㦃 㦄
㦅 㦆 㦇 㦈 㦉
㦊 㦋 㦌 㦍 㦎
㦏 㦐 㦑 㦒 㦓
㦔 㦕 㦖 㦗 㦘
㦙 㦚 㦛 㦜 㦝
㦞 㦟 㦠 㦡 㦢
㦣 㦤 㦥 㦦 㦧
㦨 㦩 㦪 㦫 㦬
㦭 㦮 㦯 㦰 㦱
㦲 㦳 㦴 㦵 㦶
㦷 㦸 㦹 㦺 㦻
㦼 㦽 㦾 㦿 㧀
㧁 㧂 㧃 㧄 㧅
㧆 㧇 㧈 㧉 㧊
㧋 㧌 㧍 㧎 㧏
㧐 㧑 㧒 㧓 㧔
㧕 㧖 㧗 㧘 㧙
㧚 㧛 㧜 㧝 㧞
㧟 㧠 㧡 㧢 㧣
㧤 㧥 㧦 㧧 㧨
㧩 㧪 㧫 㧬 㧭
㧮 㧯 㧰 㧱 㧲
㧳 㧴 㧵 㧶 㧷
㧸 㧹 㧺 㧻 㧼
㧽 㧾 㧿 㨀 㨁
㨂 㨃 㨄 㨅 㨆
㨇 㨈 㨉 㨊 㨋
㨌 㨍 㨎 㨏 㨐
㨑 㨒 㨓 㨔 㨕
㨖 㨗 㨘 㨙 㨚
㨛 㨜 㨝 㨞 㨟
㨠 㨡 㨢 㨣 㨤
㨥 㨦 㨧 㨨 㨩
㨪 㨫 㨬 㨭 㨮
㨯 㨰 㨱 㨲 㨳
㨴 㨵 㨶 㨷 㨸
㨹 㨺 㨻 㨼 㨽
㨾 㨿 㩀 㩁 㩂
㩃 㩄 㩅 㩆 㩇
㩈 㩉 㩊 㩋 㩌
㩍 㩎 㩏 㩐 㩑
㩒 㩓 㩔 㩕 㩖
㩗 㩘 㩙 㩚 㩛
㩜 㩝 㩞 㩟 㩠
㩡 㩢 㩣 㩤 㩥
㩦 㩧 㩨 㩩 㩪
㩫 㩬 㩭 㩮 㩯
㩰 㩱 㩲 㩳 㩴
㩵 㩶 㩷 㩸 㩹
㩺 㩻 㩼 㩽 㩾
㩿 㪀 㪁 㪂 㪃
㪄 㪅 㪆 㪇 㪈
㪉 㪊 㪋 㪌 㪍
㪎 㪏 㪐 㪑 㪒
㪓 㪔 㪕 㪖 㪗
㪘 㪙 㪚 㪛 㪜
㪝 㪞 㪟 㪠 㪡
㪢 㪣 㪤 㪥 㪦
㪧 㪨 㪩 㪪 㪫
㪬 㪭 㪮 㪯 㪰
㪱 㪲 㪳 㪴 㪵
㪶 㪷 㪸 㪹 㪺
㪻 㪼 㪽 㪾 㪿
㫀 㫁 㫂 㫃 㫄
㫅 㫆 㫇 㫈 㫉
㫊 㫋 㫌 㫍 㫎
㫏 㫐 㫑 㫒 㫓
㫔 㫕 㫖 㫗 㫘
㫙 㫚 㫛 㫜 㫝
㫞 㫟 㫠 㫡 㫢
㫣 㫤 㫥 㫦 㫧
㫨 㫩 㫪 㫫 㫬
㫭 㫮 㫯 㫰 㫱
㫲 㫳 㫴 㫵 㫶
㫷 㫸 㫹 㫺 㫻
㫼 㫽 㫾 㫿 㬀
㬁 㬂 㬃 㬄 㬅
㬆 㬇 㬈 㬉 㬊
㬋 㬌 㬍 㬎 㬏
㬐 㬑 㬒 㬓 㬔
㬕 㬖 㬗 㬘 㬙
㬚 㬛 㬜 㬝 㬞
㬟 㬠 㬡 㬢 㬣
㬤 㬥 㬦 㬧 㬨
㬩 㬪 㬫 㬬 㬭
㬮 㬯 㬰 㬱 㬲
㬳 㬴 㬵 㬶 㬷
㬸 㬹 㬺 㬻 㬼
㬽 㬾 㬿 㭀 㭁
㭂 㭃 㭄 㭅 㭆
㭇 㭈 㭉 㭊 㭋
㭌 㭍 㭎 㭏 㭐
㭑 㭒 㭓 㭔 㭕
㭖 㭗 㭘 㭙 㭚
㭛 㭜 㭝 㭞 㭟
㭠 㭡 㭢 㭣 㭤
㭥 㭦 㭧 㭨 㭩
㭪 㭫 㭬 㭭 㭮
㭯 㭰 㭱 㭲 㭳
㭴 㭵 㭶 㭷 㭸
㭹 㭺 㭻 㭼 㭽
㭾 㭿 㮀 㮁 㮂
㮃 㮄 㮅 㮆 㮇
㮈 㮉 㮊 㮋 㮌
㮍 㮎 㮏 㮐 㮑
㮒 㮓 㮔 㮕 㮖
㮗 㮘 㮙 㮚 㮛
㮜 㮝 㮞 㮟 㮠
㮡 㮢 㮣 㮤 㮥
㮦 㮧 㮨 㮩 㮪
㮫 㮬 㮭 㮮 㮯
㮰 㮱 㮲 㮳 㮴
㮵 㮶 㮷 㮸 㮹
㮺 㮻 㮼 㮽 㮾
㮿 㯀 㯁 㯂 㯃
㯄 㯅 㯆 㯇 㯈
㯉 㯊 㯋 㯌 㯍
㯎 㯏 㯐 㯑 㯒
㯓 㯔 㯕 㯖 㯗
㯘 㯙 㯚 㯛 㯜
㯝 㯞 㯟 㯠 㯡
㯢 㯣 㯤 㯥 㯦
㯧 㯨 㯩 㯪 㯫
㯬 㯭 㯮 㯯 㯰
㯱 㯲 㯳 㯴 㯵
㯶 㯷 㯸 㯹 㯺
㯻 㯼 㯽 㯾 㯿
㰀 㰁 㰂 㰃 㰄
㰅 㰆 㰇 㰈 㰉
㰊 㰋 㰌 㰍 㰎
㰏 㰐 㰑 㰒 㰓
㰔 㰕 㰖 㰗 㰘
㰙 㰚 㰛 㰜 㰝
㰞 㰟 㰠 㰡 㰢
㰣 㰤 㰥 㰦 㰧
㰨 㰩 㰪 㰫 㰬
㰭 㰮 㰯 㰰 㰱
㰲 㰳 㰴 㰵 㰶
㰷 㰸 㰹 㰺 㰻
㰼 㰽 㰾 㰿 㱀
㱁 㱂 㱃 㱄 㱅
㱆 㱇 㱈 㱉 㱊
㱋 㱌 㱍 㱎 㱏
㱐 㱑 㱒 㱓 㱔
㱕 㱖 㱗 㱘 㱙
㱚 㱛 㱜 㱝 㱞
㱟 㱠 㱡 㱢 㱣
㱤 㱥 㱦 㱧 㱨
㱩 㱪 㱫 㱬 㱭
㱮 㱯 㱰 㱱 㱲
㱳 㱴 㱵 㱶 㱷
㱸 㱹 㱺 㱻 㱼
㱽 㱾 㱿 㲀 㲁
㲂 㲃 㲄 㲅 㲆
㲇 㲈 㲉 㲊 㲋
㲌 㲍 㲎 㲏 㲐
㲑 㲒 㲓 㲔 㲕
㲖 㲗 㲘 㲙 㲚
㲛 㲜 㲝 㲞 㲟
㲠 㲡 㲢 㲣 㲤
㲥 㲦 㲧 㲨 㲩
㲪 㲫 㲬 㲭 㲮
㲯 㲰 㲱 㲲 㲳
㲴 㲵 㲶 㲷 㲸
㲹 㲺 㲻 㲼 㲽
㲾 㲿 㳀 㳁 㳂
㳃 㳄 㳅 㳆 㳇
㳈 㳉 㳊 㳋 㳌
㳍 㳎 㳏 㳐 㳑
㳒 㳓 㳔 㳕 㳖
㳗 㳘 㳙 㳚 㳛
㳜 㳝 㳞 㳟 㳠
㳡 㳢 㳣 㳤 㳥
㳦 㳧 㳨 㳩 㳪
㳫 㳬 㳭 㳮 㳯
㳰 㳱 㳲 㳳 㳴
㳵 㳶 㳷 㳸 㳹
㳺 㳻 㳼 㳽 㳾
㳿 㴀 㴁 㴂 㴃
㴄 㴅 㴆 㴇 㴈
㴉 㴊 㴋 㴌 㴍
㴎 㴏 㴐 㴑 㴒
㴓 㴔 㴕 㴖 㴗
㴘 㴙 㴚 㴛 㴜
㴝 㴞 㴟 㴠 㴡
㴢 㴣 㴤 㴥 㴦
㴧 㴨 㴩 㴪 㴫
㴬 㴭 㴮 㴯 㴰
㴱 㴲 㴳 㴴 㴵
㴶 㴷 㴸 㴹 㴺
㴻 㴼 㴽 㴾 㴿
㵀 㵁 㵂 㵃 㵄
㵅 㵆 㵇 㵈 㵉
㵊 㵋 㵌 㵍 㵎
㵏 㵐 㵑 㵒 㵓
㵔 㵕 㵖 㵗 㵘
㵙 㵚 㵛 㵜 㵝
㵞 㵟 㵠 㵡 㵢
㵣 㵤 㵥 㵦 㵧
㵨 㵩 㵪 㵫 㵬
㵭 㵮 㵯 㵰 㵱
㵲 㵳 㵴 㵵 㵶
㵷 㵸 㵹 㵺 㵻
㵼 㵽 㵾 㵿 㶀
㶁 㶂 㶃 㶄 㶅
㶆 㶇 㶈 㶉 㶊
㶋 㶌 㶍 㶎 㶏
㶐 㶑 㶒 㶓 㶔
㶕 㶖 㶗 㶘 㶙
㶚 㶛 㶜 㶝 㶞
㶟 㶠 㶡 㶢 㶣
㶤 㶥 㶦 㶧 㶨
㶩 㶪 㶫 㶬 㶭
㶮 㶯 㶰 㶱 㶲
㶳 㶴 㶵 㶶 㶷
㶸 㶹 㶺 㶻 㶼
㶽 㶾 㶿 㷀 㷁
㷂 㷃 㷄 㷅 㷆
㷇 㷈 㷉 㷊 㷋
㷌 㷍 㷎 㷏 㷐
㷑 㷒 㷓 㷔 㷕
㷖 㷗 㷘 㷙 㷚
㷛 㷜 㷝 㷞 㷟
㷠 㷡 㷢 㷣 㷤
㷥 㷦 㷧 㷨 㷩
㷪 㷫 㷬 㷭 㷮
㷯 㷰 㷱 㷲 㷳
㷴 㷵 㷶 㷷 㷸
㷹 㷺 㷻 㷼 㷽
㷾 㷿 㸀 㸁 㸂
㸃 㸄 㸅 㸆 㸇
㸈 㸉 㸊 㸋 㸌
㸍 㸎 㸏 㸐 㸑
㸒 㸓 㸔 㸕 㸖
㸗 㸘 㸙 㸚 㸛
㸜 㸝 㸞 㸟 㸠
㸡 㸢 㸣 㸤 㸥
㸦 㸧 㸨 㸩 㸪
㸫 㸬 㸭 㸮 㸯
㸰 㸱 㸲 㸳 㸴
㸵 㸶 㸷 㸸 㸹
㸺 㸻 㸼 㸽 㸾
㸿 㹀 㹁 㹂 㹃
㹄 㹅 㹆 㹇 㹈
㹉 㹊 㹋 㹌 㹍
㹎 㹏 㹐 㹑 㹒
㹓 㹔 㹕 㹖 㹗
㹘 㹙 㹚 㹛 㹜
㹝 㹞 㹟 㹠 㹡
㹢 㹣 㹤 㹥 㹦
㹧 㹨 㹩 㹪 㹫
㹬 㹭 㹮 㹯 㹰
㹱 㹲 㹳 㹴 㹵
㹶 㹷 㹸 㹹 㹺
㹻 㹼 㹽 㹾 㹿
㺀 㺁 㺂 㺃 㺄
㺅 㺆 㺇 㺈 㺉
㺊 㺋 㺌 㺍 㺎
㺏 㺐 㺑 㺒 㺓
㺔 㺕 㺖 㺗 㺘
㺙 㺚 㺛 㺜 㺝
㺞 㺟 㺠 㺡 㺢
㺣 㺤 㺥 㺦 㺧
㺨 㺩 㺪 㺫 㺬
㺭 㺮 㺯 㺰 㺱
㺲 㺳 㺴 㺵 㺶
㺷 㺸 㺹 㺺 㺻
㺼 㺽 㺾 㺿 㻀
㻁 㻂 㻃 㻄 㻅
㻆 㻇 㻈 㻉 㻊
㻋 㻌 㻍 㻎 㻏
㻐 㻑 㻒 㻓 㻔
㻕 㻖 㻗 㻘 㻙
㻚 㻛 㻜 㻝 㻞
㻟 㻠 㻡 㻢 㻣
㻤 㻥 㻦 㻧 㻨
㻩 㻪 㻫 㻬 㻭
㻮 㻯 㻰 㻱 㻲
㻳 㻴 㻵 㻶 㻷
㻸 㻹 㻺 㻻 㻼
㻽 㻾 㻿 㼀 㼁
㼂 㼃 㼄 㼅 㼆
㼇 㼈 㼉 㼊 㼋
㼌 㼍 㼎 㼏 㼐
㼑 㼒 㼓 㼔 㼕
㼖 㼗 㼘 㼙 㼚
㼛 㼜 㼝 㼞 㼟
㼠 㼡 㼢 㼣 㼤
㼥 㼦 㼧 㼨 㼩
㼪 㼫 㼬 㼭 㼮
㼯 㼰 㼱 㼲 㼳
㼴 㼵 㼶 㼷 㼸
㼹 㼺 㼻 㼼 㼽
㼾 㼿 㽀 㽁 㽂
㽃 㽄 㽅 㽆 㽇
㽈 㽉 㽊 㽋 㽌
㽍 㽎 㽏 㽐 㽑
㽒 㽓 㽔 㽕 㽖
㽗 㽘 㽙 㽚 㽛
㽜 㽝 㽞 㽟 㽠
㽡 㽢 㽣 㽤 㽥
㽦 㽧 㽨 㽩 㽪
㽫 㽬 㽭 㽮 㽯
㽰 㽱 㽲 㽳 㽴
㽵 㽶 㽷 㽸 㽹
㽺 㽻 㽼 㽽 㽾
㽿 㿀 㿁 㿂 㿃
㿄 㿅 㿆 㿇 㿈
㿉 㿊 㿋 㿌 㿍
㿎 㿏 㿐 㿑 㿒
㿓 㿔 㿕 㿖 㿗
㿘 㿙 㿚 㿛

彼の声明は多くの批判をまき起こした
The merchant bought cotton in volume. その商人は綿を大量に買った

(122)way

way の『核』のイメージは「道路」です。が、way は意味も用法も多種に渡り、学習者泣かせの単語です。ここでその用法を整理してみましょう。

①「道(のり)、方向」

(ex) The girl showed me the way to the station.

その女の子は駅への道を教えてくれた

My house is a long[good, great] way from the park.

私の家は公園から遠い[非常な、かなりの]距離です

She has come quite a way. 彼女は遠いところをわざわざやってきた

②「方法、手段、仕方」

(ex) The policeman saved her life (in) this way.

その警察官はこのように(こんなふうに)彼女の命を救った

①特に this, that を伴う場合には前置詞 in は省略されることが多い。

Don't look at me that way.

そんなふうに私を見ないで下さい

The man told his stories in a very unusual way.

その男は非常に変わった話し方をした

Will you show me the way to use this video camera?

このビデオカメラの使い方を教えて下さい

Tell me the best way of learning[to learn] a foreign language.

外国語を覚える最善の方法を教えて下さい

③「(有)様、様子」

(ex) This is the way it happened. それはこのように起った

That isn't the way I heard it. それは聞いた話とは違う

④「(個人の)習慣、癖」 =habit

[ways] 「行い、ふるまい」

(ex) He has a queer way of speaking. 彼は変な話し方をする
I don't like his way at all. 彼のやり方(流儀)は全く気に入らない
Never mind — it's only her way.
気にしないでくれ — 彼女はいつもあんなふうなんだ

⑤ [しばしばwaysで] 「風習、しきたり」 =custom

(ex) That[This] is the way of the world. そ[こ]れが世の習いだ
=That's the way.
=That's the way it goes[is].

會 「[人を慰めて]そんな(ことはよくある)ものだ、それが運命だ」という
意味で用いる。

the American way of living アメリカ風の生活様式(風習)

⑥ 「(～の)点、面、意味」

會前置詞 in とセットで使う。この way は respect, point で言い換えられる。

つまり、in とセットで用いる way には「方法」「点、面、意味」2つの可能性
があるのだ。

(ex) in every way どの点からみても
=all along the way
=in all ways

The position which I was offered was very attractive in some ways.

私が提供された職は、いくつかの点で大変魅力的なものだった

⑦ [one's way / a way]

(1) 「意思」

(ex) My brother always has[goes /takes] his (own) way.

兄はいつも自分の思い通りに振る舞う

(2) 「心得、慣れ」

(ex) My sister has a way with children. 姉は子供の扱いに慣れている

⑧ 《イディオム》

(1) all the way

1. 「はるばる」

(ex) My pen pal came all the way from Paris to see me.

私のペンパルは私に会いにはるばるパリから来てくれました

2. 「ずっと」

(ex) I ran all the way to the station. 駅までずっと走った

(2) in the way (of A) 「(Aの)じゃまになっている」

(ex) His pride always stood in the way of success.

彼の傲慢さがいつも彼の成功のじゃまをした

(3) under way 「進行中で」

(ex) The project was under way. その計画が進行中だった

(4) on the way (to A) 「(Aに)行く途中で」

(ex) I met him on the way to the museum. 美術館に行く途中で彼に会った

☞ on the way from A とすれば「Aから帰る(帰宅する)途中で」となる。

(5) by the way 「ところで」

(ex) By the way, do you know his sister is getting married?

ところで、君は彼のお姉さんが結婚するのを知っていますか

(6) give way to A 「Aに屈伏する、譲歩する」

(ex) We had better give way to their demand.

彼らの要求に屈した方がいい

(7) [動詞+ one's way] 「～しながら進む」

(ex) I made my way toward the center. 私は中心へと進んで行った

☞ make one's way は「出世する」という意味にもなる。

He pushed his way through the crowd. 彼は群衆を押し分けて進んだ

I felt my way in the dark. 私は暗やみを手探りで進んだ

(8) the way S + V ~

1. [S・O・Cになったり、前置詞の後ろで] 「～の仕方[方法]」「様子」「(あり)さま」

=hw S+V~

(ex) Tell me the way you did it. 君のやり方を教えてください

O₁

O₂

I don't like the way he smiles. 彼の笑い方がきらいだ

O

2. [S・O・Cにならない] 「～のように」 =as S+V~

(ex) You must do it the way he told you to.

彼があなたに言ったように君はそれをしなければならない

④the way は、(直後にS+Vを取る)接続詞的な用法から、次のような意味にも用いられるので注意。

1. 「～すること」

(ex) It was strange the way [=how] she said it.

彼女がそう言ったのは不思議だ

2. 「～から判断すると」

(ex) The way I see [=look at] it, he tells the truth.

私の見るところでは、彼は真実を言っている

3. 「どれくらい、どれほど」

(ex) No one can understand the way [=how much] I miss her.

彼女がいないのをどんなに寂しく思っているかだれにもわからない

4. [感嘆詞として] 「なんと」

(ex) The way [=How] you look! なんとという格好をしているの

5. [形容詞節を導いて] 「～のような」

④様態を表す as と同じ。直前の名詞を修飾する。

(ex) I like you the way you are. 今のそのままのあなたが好きだ

(9)by way of A 「Aを経由して」「Aを通して」 =via

「Aを手段として」「Aのつもりで」

「Aであると見せかけて、Aと自称して、Aという評判で」

(ex) The plane flew to LA by way of Honolulu.

その飛行機はホノルル経由でロスへ飛んだ

by way of apology 言い訳として

by way of greeting 出迎えるつもりで

I said it by way of a joke. 私は冗談のつもりでそれを言った

He is by way of being a famous scholar.

彼は有名な学者ということになっている

(10)have one's own way (in~) 「思い通りにする、自分勝手にやる」

(ex) He is always having his own way. 彼はいつも自分勝手にやっている

(11)get in one's way 「～のじゃまをする」

(ex) Don't get in my way if you want to go home early.

早く家に帰りたいなら邪魔をしないでください

(12) **in a way** 「ある意味では、ある点では」

(ex) What he said is right in a way. ある意味では彼が言ったことは正しい

(13) **in a ~ way** 「～なやり方(仕方)で」

(ex) in a big way 大々的に

in a small way 小規模に、つつましく

in one's own way 自己流で

(in) some way or other 何らかの方法で

(14) **in one's own way** 「～なりに」

(ex) In his own way, he showed his ability (to the full).

彼なりに(目一杯)実力を出してくれましたよ

(15) **in no way** 「全く～ない」

(ex) The two incidents are in no way related.

その2つの事件は全く関係がない

(16) **in the way of A** 「Aの点で(は)、Aに関しては、Aとしては」

(ex) Korea is the country without much in the way of natural resources.

韓国は天然資源に関しては乏しい国である

④ in the way that S+V~ で「～という点で(は)」という用法もある。

(17) **no way**

1. [依頼の返答として] 「いやだ、とんでもない、冗談じゃない」

(ex) A: Can you do that for me? ボクの代わりにそれやってくれる?

B: No way! 絶対イヤ!

2. [可能性を否定して] 「どんなことがあっても～ない」「絶対に～ない」

(ex) There is no way I will go with you. 君とは絶対行かないよ

=No way will I go with you.

3. 「まさか(そんなはずはない)」

(ex) A: She's 70? 彼女70歳だって?

B: No way! まさか!

(18) **way out** 「出口」

(ex) There seemed to be no way out of the difficulty we faced then.
その時私達が直面していた困難から抜け出る出口はないように思えた

(19) on one's way 「～しつつある」

(ex) He said on the phone, "I'm on my way."
彼は電話で「今から行くよ」と言った
◎この on は「進行」を表している。

(20) the other way round [around / about]

1. 「(向き・位置が)反対で、さかさまで」

(ex) You should sleep the other way around.
向きを反対にして寝た方がいい

2. 「(それとは)逆に[の]」 反対に[の] 「あべこべで[の]」

(ex) Do you know those who have a woman's body and a man's mind or the other way around?
体が女なのに心は男あるいはその反対というような人を知っていますか

(21) look the other way 「そっぽを向く」

(ex) She looked the other way when I spoke to her.
私が話しかけたら彼女はそっぽを向いた
◎look the other way は look[turn] away 等と言い換えられる。

(22) There is no way (that) S+V～ 「～ということはありません」

(ex) There is no way that I can help you in this situation.
このような状況であなたを助ける等ということはありません
◎There is no way to tell. で「誰にもわからない」という表現もある。

(23) go out of one's way to do [願]～ 「わざわざ～する」

(ex) He went out of his way to see me off.
彼はわざわざ見送りに来てくれた
=He took the trouble to see me off.

way には副詞としての用法もあります。副詞・前置詞・接続語を強めて「ずっと」「はるかに」「うんと遠くに」等といった意味になります。

(ex) way above [ahead] ずっと上に[前方に]

from way back はるか昔から(の)/ 遠方の地から(の)
 Animals that make and use tools have gone way beyond basic instinct.
 道具を作って使う動物は基本的な本能の段階をはるかに超えている
 way off ずっと遠い所に
 The bag is way too heavy. そのカバンはあまりにも重すぎる
 It was way before the war broke out.
 それは戦争の始まるずっと前のことだった
 The coat is way too long. この上着はひどく長すぎるよ
 Casual drug use is still way down from the late '70s.
 日常的なドラッグの使用は70年代末よりずっと減っている

(123)well

well の『核』のイメージは「かなり、相当」です。
 そこから以下のような意味が生まれました。まずは副詞の well からです。

- ① 「上手に、うまく、満足に、申し分なく」 ⇔ badly, ill
 (ex) She plays the violin well. 彼女は上手にバイオリンを弾く
 Well done! うまいぞ
- ② 「十分に、完全に、よく」
 (ex) Wash your hands well. 手をよく洗いなさい
 I know him very well. 彼をよく知っています
- ③ 「相当に、かなり」「ゆうに」
 (ex) He is well over fifty. 彼は50をかなり越えている
 I am well aware of the danger ahead.
 私は行く手の危険は十分に承知している
- ④ 「適切に、都合よく」
 (ex) That is well said. まさにそのとおり
 Well begun is half done. 始めよければ半ば成功したも同然 ☞ことわざ。
- ⑤ 「裕福に、安泰に」

(ex) The family lived well in the village.

その一家は村で裕福に暮らしていた

⑥「親切に、好意的に」

(ex) He treated me well enough. 彼はとても親切にしてくれた

Nobody thinks well of her. だれも彼女のことをよく思っていない

次に形容詞の well です。

①「健康で、丈夫で、元気で」 ⇔ sick, ill

(ex) You look well. 健康そうに見えますね

I'm not feeling very well. あまり体調がよくありません

②「申し分なく、満足して、好都合な、良い」

「幸運な」

(ex) It is well that you came. 君が来てよかった

He is well enough as a scholar. 彼は学者として申し分ない

I am very well where I am. 今のままで十分満足です

All's well that ends well. 終わりよければ万事よし ④ことわざ。

④最初の well は「良い」という形容詞。文末の well は「よく、申し分なく」という意味の副詞。that は関係代名詞で、that節は All を(先行詞として)修飾している。

今度は間投詞の well です(間投詞の well には様々な意味合いがあるので、ここでは代表的なものを挙げておきます)。

①[驚きを表して]「まあ、おや、えっ」

(ex) Well, well! They got divorced. おやまあ、彼ら離婚したんだって!

②[安心を表して]「やれやれ」

(ex) Well, he came home at last. やれやれ、彼がやっと家にやって来た

③[あきらめ・譲歩などを表して]「おやおや、さてさて」

(ex) Well, it can't be helped. まあ、仕方ないよ

Very well, then, I'll do it myself.

わかりました。なら自分でやります

④上例のように「不満足な同意」を表すこともある。

④[話題の続行・転換]「さて、ところで」

(ex) Well, what do you want? ところでご用はなんですか
Well, then? それでどうした

well には名詞で「井戸、泉」という意味がありますが、これは上記の well とは語源が別です(「ぶくぶくわき出る水」が語源)。

(ex) sink a well 井戸を掘る
The well is dry. 井戸に水がなくなった

ここから「わき出る、吹き出る」という動詞の well が生まれました。

(ex) Tears welled up in her eyes. 涙が彼女の目にわき出た

最後に(副詞の)well を用いたイディオムをまとめてみましょう。

①may well do[彫]~

(1)「~する可能性が高い」「おそらく~するだろう」

會「推量」の may を well が強調した表現と考えた方がいい。

(ex) The answer may well be right. その答えはたぶん正しいだろう

(2)「~するのはもともとだ」

會「容認」の may を well が強調した表現と考えた方がいい。

(ex) You may well be proud of your son.

君が息子さんのことを誇りに思っているのももともとだ

=It is natural that you should be proud of your son.

=You have good reason to be proud of your son.

②may[might] as well do[彫]~ (as do[彫]...)「(…するくらいなら)~した方がましだ」

(ex) You may as well come with me. 私と一緒に来た方がいい

You may as well do it now as (do it) later, since you must do it anyway.

後でそれをするくらいなら今した方がいいよ。いずれにしてもしなくちゃいけないんだから

You might as well throw away your money as lend it to him.

彼に金を貸すくらいなら捨ててしまった方がましだよ

會might だと仮定的なこと、つまり「実際には~しない」ことが might

as well の後にくる。上例でも、実際に「金を捨てる」等ということはしない(がそれと同じくらい無駄なことだと言っている)。

③ just as well 「幸いである」 「最も適当だ、一番いい」

(ex) It would be just as well to left before dark.

暗くなる前に出発の方がよかろう

It's just as well that she wasn't informed.

彼女に知らせなかったのはよかった

④ as well 「その上～も(また)」

(ex) Ted is taking the graduate course as well.

テッドは大学院へも行くつもりでいる

Tom learned German, and Japanese as well.

トムはドイツ語を学びその上日本語も学んだ

⑤ A as well as B 「BだけでなくAもまた」

(ex) Ben speaks Spanish as well as he writes it.

ベンはスペイン語を書くのと同じようにうまく話す

Mary went to London as well as Paris.

メアリーはパリだけでなくロンドンへも行った

⑥ be well off

well off は well-off とも書く。

(1) 「裕福である」 ⇔ be badly off 「暮らし向きが悪い」 「貧乏だ」

「豊富である」

(ex) The family was very well off in those days.

当時その一家は暮らし向きがとてもよかった

We're well off for supermarkets around here.

このあたりにはスーパーマーケットが多い

(2) 「順境にいる」

(ex) You don't know when you're well off.

(人は自分が)順境にあるときはそれがわからないものだ

⑦ speak well of A 「Aのことを誉める」 ⇔ speak ill of A 「Aの悪口を言う」

(ex) He is spoken well of around here. 彼はこのあたりでは評判がいい

⑧do well 「成績が良い」「うまくいく」

(ex) He's doing well at school. 彼は学校の成績がいい
They are doing with his furniture business.
彼らは家具の商売がうまくいっている

(124)while

while の『核』のイメージは「時間」です。

以下は名詞の while(を用いたイディオム)で、まさに「時間」という意味で使われています(a は some、つまり「いくらかの、ある一定の」という意味で用いられている)。

①once in a while 「ときどき」

會「ある一定の(いくらかの)時間の中で一回 → 時々」。
(ex) Once in a while he would become oddly stubborn.
時折彼は妙に偏屈になることがあった

②in a while 「まもなく」「ちょっとしてから」

會「ある一定の(いくらかの)時間の後で → まもなく、ちょっとしてから」。
(ex) I'll see you in a while. ちょっとしてから会いましょう

③for a while 「しばらくの間」

會「少々の時間の間 → しばらくの間」。
(ex) He did not say anything for a while. 彼はしばらく何も言わなかった

④after a while 「しばらくした後に」

會「ある一定の(いくらかの)時間の後に → しばらくした後に」。
(ex) After a while, the child went to sleep.
しばらくしてその子供は寝入った

⑤quite a while 「かなり長い時間[間]」

(ex) It'll take quite a while to restore it.
それを修復するにはかなりの時間がかかるでしょう
會quite a+名詞 で quite a が①「かなり(の)」②「本当に(すばらしい)」とい

う意味になることがある。

(ex) That was quite a party. それは本当にすばらしいパーティーだった

⑥It is worth (one's) while doing[to do]～ 「(人が)～することは価値がある」

(ex) It is worth (your) while to read[reading] the book.

その本は(君が)読む値うちがある

⑦be worth one's while 「人が時間[労力]をかける価値がある」

①A is worth B で「AはBの価値がある」が下敷きになっている。

(ex) The work is worth your while.

その仕事は君が骨をおってみる値うちがある

⑧all the while 「その間ずっと」

①直訳は「その時間の(間の)全てにおいて」。

(ex) He pretended to be asleep all the while.

彼はその間中眠ったふりをしていた

②all the while S+V～ で「～している間ずっと」という語法もある。

⑨all this while 「今までずっと」「この長い間ずっと」

①直訳は「この時間の(間の)全てにおいて」。

(ex) What have you been doing all this while?

今までずっと何をしていたの

while は接続詞にもなります。接続詞の場合は、「2つの出来事が同時に(同時進行的に)起こっている・存在している」というのが『核』のイメージです。

一般的に接続詞の while には以下の3つの意味が知られています。

- ① 「～する[している]間に[は]」
- ② 「～(だ)けれど」「～のに」「～の一方」
- ③ 「その一方(で)」

このうち特に②と③は、同時進行的に起こっている両者を対立的・対比的にとらえているだけのことなのです。具体的に例文で見ましょう。

① 「～する[している]間に(は)」 ⇨when

(ex) I met Mr. Green, while I was in London.

私はロンドンにいる間にグリーン氏に会った

They prepared for a trip while their children were sleeping.

彼らは子供たちが眠っている間に旅行の準備をした

While he is cur boss, we must obey him.

彼が私たちの雇い主である間は、私たちは彼に従わねばならない

② 「～(だ)けれど」「～のに」「～の一方」 ≒though, although

(ex) While I understand what you say, we must finish our work.

君の言うことはわかるけれど、私達は自分の仕事を仕上げねばならない

While I admit that it is difficult, I do not think it impossible.

それが困難なことは認めるが不可能だとは思わない

③ 「その一方(で)」 ≒but, whereas

(ex) Tom was poor, while his brother was very rich.

トムは貧乏だったが、その一方彼の兄は大金持ちだった

He loves his daughter, while she hates him.

彼は娘を愛している。その一方彼女の方は父親をきらっている

㊦③の whileは、例文のように文章の後半で(カンマと共に)用いられやすい。

(125)will

will の『核』のイメージは「意志・願望」です。

そこから名詞の will には以下のような意味が生まれます。

① 「意志(力)」

(ex) Jack has a strong[weak] will. ジャックは意志が強い[弱い]

He is a man of iron will. 彼は鉄の意志を持った人だ

Where there's a will, there's a way. ㊦ことわざ。

意志ある所には道がある / 精神一到何事か成らざらん

He was laid off against his will. 心ならずも彼は解雇された

㊦against one's will で「意志に反して、不本意にも」。

These resources may be used at will.

これらの資源は自由に使えます

㊦at will で「自由に、意のままに」。

②[one's/the ~] 「(～したいという)願望、決意、意地」

(ex) the will to win 必勝の信念

He seems to have lost the will to live.

彼は生きる意欲をなくしてしまったようだ

③「遺言」「遺書」

會「死んだ人の意志 → 遺言、遺書」。

(ex) He did not leave a will. 彼は遺書を残さなかった

We executed his will. 我々は彼の遺言を執行した

④[good will] 「善意」 ⇔ ill will 「悪意」

(ex) There are many people of good will in the world.

世の中には善意の人が数多くいる

This is a present given out of goodwill.

これは善意の贈り物です

次に助動詞の will ですが、その『核』のイメージは「**ほぼ確実に(100%)そうなる
だろう・そうする**」という予測・意志です。

具体的な will の意味を見ていきましょう。

① [(現時点での)予測・推量] 「～だろう」

(ex) It will rain tomorrow. 明日は雨が降るだろう

② [(現時点での)強い意志・固執] 「～するつもりだ」

(ex) I will do my best. 私はベストを尽くすつもりです

The door won't [=will not] open. そのドアはどうしても開かない

會上例のように won't [=will not] が強い拒絶の意思を表すことがあり、

「物」も主語にとることがある。

③ [現在の習慣(習性)・一般的傾向] 「～するものだ」

「どうしても～したがるものだ」

(ex) Accidents will happen. 事故は起こるものだ

Boys will be boys. 子供は子供だ → 男の子の腕白は仕方がない

Oil will float on water. 油は水に浮く

會上例は油の習性を強調した英文と言える。普通、自然法則で繰り返される動きには「現在時制」を用いる。

(ex) The sun rises[×will rise] in the east. 太陽は東から昇る

上記の助動詞としての will はすべて『核』のイメージから理解できます。

(126)wonder

wonder の『核』のイメージは「未知のものに対する驚き」です。

そこから以下のような意味が生まれました。

まず名詞の wonder です。

①「驚異(の念)」

「驚嘆、驚き」

會不可算名詞。

(ex) The scientists gazed at the new invention in wonder.

科学者たちは驚異の目でその新しい発明品を見つめた

I felt wonder at seeing the Grand Canyon.

グランドキャニオンを見て驚嘆の念に打たれた

②「不思議なもの[こと]」

「驚くべきこと[もの・人]」

「奇観、奇跡」「奇跡的な行為[事件]」

會可算名詞。

(ex) the seven wonders of the world 世界の七不思議

He is a linguistic wonder. 彼は語学の天才だ

What a wonder! 不思議なことがあるものだ

Hard work will do wonders.

一生懸命勉強すれば驚くほど成果が上がるだろう

It is no wonder he refused the proposal.

=No wonder he refused the proposal.

彼がその申し出を断ったのは少しも不思議ではない

會It is no wonder (that) S+V~ で「~は少しも不思議ではない」。

口語では No wonder (that) S+V~ とも言われる。

ちなみに It is a wonder that S+V~ は「~は驚くべきことだ[奇跡]

だ]」という意味になる。

(ex) It is a wonder (that) the boys survived.

少年たちが生存していたのは奇跡だ

次に動詞の wonder です。

①[wonder 疑問詞句(節)] 「～(したらよい[なの])だろうか(と思う)」

「～か知りたいと思う」

[wonder if[whether]節] 「～か(どうか)なと思う」

(ex) I wonder why he is in such a hurry.

彼はなぜあんなに急いでいるんだろう

We wondered how the thief unlocked the door.

我々は泥棒がどうやってドアを開けたのだろうと思った

He wondered what to say to her.

彼は彼女に何と言うべきだろうかと思った

I wonder if[whether] there is a man free from faults.

欠点のない人間なんているだろうか

I wonder if you will come to our home tomorrow.

明日私どもの家においでいただけますでしょうか

②[wonder that節] 「～ということに驚く」「～とは不思議だ(と思う)」

(ex) I wonder (that) they did not get angry to hear that.

彼らがそれを聞いて怒らなかったのは不思議だ

以上は他動詞としての wonder の語法でしたが、自動詞の wonder の以下のような語法もおさえておきましょう。

①「～について不思議に思う、驚く」

(ex) I wondered at his calmness in such a crisis.

そんな危機に臨んでも彼が平静なのに驚いた

②[wonder to do[原形]～] 「～して驚く」

(ex) I wondered to see him with Mary.

彼がメアリーと一緒にいるのを見かけて驚いた

③[wonder about A] 「Aについて怪しむ、変だ(と思う)」

(ex) What are they wondering about? 彼らは何を怪しんでいるのか

(127) wrong

wrong の『核』のイメージは「正常ではない」です。
そこから以下のような意味が生まれました。

① 「(道徳的に)悪い、不正な」

(ex) a wrong deed 悪い行為

Lying is wrong. うそをつくことは悪い

It was wrong of you to have doubted your son.

君が自分の息子を疑ったのは良くなかった

② 「不適當な」

(ex) She wore the wrong dress for a party.

彼女はパーティーにはふさわしくない服を着ていた

What's wrong with telling her the truth?

彼女に本当の事を言ってどこがいけないんだ

③ [the wrong~で] 「間違った、正しくない」

(ex) She came on the wrong day. 彼女は日をまちがえて来た

You've got [You have] the wrong [×different] number.

(電話で)まちがい番号です、違う番号におかけですよ

④ 「逆の、裏の」

(ex) He was wearing one of his socks wrong side out.

彼はくつ下の片方を裏返しにはいていた

☞ wrong side cut は inside cut とも言える。

The box is wrong side up. その箱は逆さまです

☞ wrong side up は upside down とも言える。

⑤ 「具合が悪い、調子が悪い」「故障して」

(ex) There's something wrong with this computer.

このコンピュータはどこか故障している

=Something is wrong with this computer.

④ There's something wrong with A で「Aはどこか具合が悪い」。
What's wrong with you? 君はどこが悪いのか

※参考文献

- 「英語に強くなる多義語二〇〇」(ちくま新書 佐久間治 1998,2,20)
「英語の不思議再発見」(筑摩書房 佐久間治 1996,5)
「あの手この手のボキャブラリー増強法」(研究社 佐久間治 2002,2,28)
「THE OXFORD DICTIONARY of ENGLISH ETYMOLOGY」(OXFORD)
「ONLINE ETYMOLOGY DICTIONARY」(Oxford University Press 1966)
「英語語源辞典」(研究社 寺澤芳雄 1999,12)
「ジーニアス英和大辞典」(大修館書店 小西友七 南出康世 2002,8,30)
「語根中心英単語辞典」(大修館書店 瀬谷廣一 2001,12,1)
「辞典ではわからない英単語の使い方事典」(三修社 ケリー伊藤 1990,12)
「新編 英和活用大辞典」(研究社 1995,4)
「ランダムハウス英和大辞典」(小学館 1993,11)